

世界思想社 図書目録

2025年用



出版の道を志して

私は、戦時中、人生についての煩悶の解決を、青年の誰もがそうであるように、哲学や宗教や思想などに求めた。また、兵役の名において、いつ戦争に駆り出され死ぬかわからないという精神的苦痛や、無理な納得を強いられたため、人生についての書籍に接し、読み且つ考えたことであった。敗戦直前期であったので、書籍や雑誌が現在のように氾濫していたわけではなく、書店における新刊の棚はガラガラで、そこには戦争便乗の本と古本しかなかったのである。古本屋を漁りまわり、大阪だけでなく、京都、大津などの近郊まで探したものである。友人や図書館から借りたりもした。そしてなんとか死生についての了解点に達しかけたとき、太平洋戦争の敗戦を迎えたのであった。

私は、このように書籍や雑誌の有難さを身をもって知る体験をし、この過程を通じて、ベートヴェンの音楽の美とか、俳句や和歌など詩句による自然美や人生美、そして西田哲学からくる東洋的・宗教的な世界観や人生観を学んだ。さらに一歩すすんで人間として創造すること、すなわち創作することを知り、また親鸞の行信一体の思想、そして老荘思想や禅思想などにも触れて、美の追究、創造の追究、そして真理の追究をする大切さを知った。

一方で、私は、争いや戦争を抑止するためには、学問の進歩と広い教養の必要なことも学んだ。これらを人間が学んで身につけておれば、少なくとも戦争や争うことの否定につながると考えた。これが、私が出版の道を志した理由である。

しかしながら、一本の道を真っすぐ歩むことは難しく、少なからぬ紆余曲折があり、現在に至っている。自らの出版成果を反省してみると、まさに冷汗三斗の思いである。

1949年に当社がはじめて出版した恒藤恭著『法的人格者の理論』を恒藤恭教授や瀧川幸辰教授に、「永遠の一步」と自書した栞をはさんで献本したときの「志」を忘れず、このときの志を永続して達成する努力をこれからも永続して実行していきたいと思う。

創業者高島國男（1924-2009）のことは（1998年、抜粋）

思索と出版理念

学生の頃は、誰もが経験するように、人生観の確立や現実社会を知ろうとして、多くの書を読み、かつ、考えるものである。私は、西欧の文学とくにドイツのロマン文学とか、ロシア文学の暗さなどに興味をもったりし、また哲学や自然科学の面からも、人間や地球や物質を知ろうとした。音楽ではベートーヴェンの交響曲とくに第九の雄大の極ともいえる創造者と人間との織りなす至高の調べに、そして終結章にでてくるシラーの歓喜の詩に、魂も融け込むような感を抱き、地球上における最高にして理想の世界を現出した交響曲と思ったものである。一方、西田哲学に人間の根本問題についての解決を求めようとし、西田哲学が最終的に辿りついた「絶対矛盾的自己同一」とか、「場所の論理」などを禪の境地に通ずる心境の世界として捉え、人間存在の本質に近づこうとした。

そのうちに親鸞教を知るようになり、『教行信証（化身土巻）』における第四十八願のなかの「三願転入」の弁証法的止揚に興味を持つようになった。それは、法蔵が仏にむかって衆生救済のために四十八の誓願を立てて、そのうちの第十九願において、衆生が浄土へ往生しようと諸功德を修し、それによって仏の来迎を期待するといういわゆる臨終現前の願というのがある。この願は、合目的で功利性があるから邪定聚（じゃじょうじゅ）として、まず否定される。つぎの二十願へ移り、念仏行をすることで浄土往生を願う。しかし、まだ自力念仏の域を出ないので不定聚として捨てられる。さらに十八願にかえり純粋な信樂（しんぎょう）、即ち信ということは、仏から与えられた他力である念仏行ということになる。ここではじめて真実の信ということになり、現生（げんしょう）不退として動かぬものとなる。この念仏は親鸞教の宗旨即ち「むね」である。ここに真の本願が得られるわけである。さらにまた、この本願を成り立たせるためには、第十七願の諸仏称揚の願または諸仏咨嗟（ししゃ）の願ともいわれるこの願は、諸仏それは即ち衆生でもあるが、念仏の「名（名称）」を唱えて仏を讃えることである。ここで、第十八願の信と、第十七願の行とで念仏の「体」となるわけである。これは仏仏相念ともいわれ本願成就ということになる。

この現実世界に生きるには、人間はそれぞれの名（名称）を持つ。また論文や書籍などにも名称があるわけで、本旨や主義などが「名称」と一致するのは理想であり、当然でもある。私は、戦争や争いのない世界が理想であるとして、真理の扉を開くための深い学問と、広い世界観をつくるための教養を身につけることが大切であると考え、人文・社会科学の出版を志した。このために、たとえ無神論に深い関心をもつものであっても、その根本思想の思考としては、真理への道程ともいえる「三願転入」に強く引かれることもある。その結果として私の「思想」とその「名称」を一致するように、「世界思想社」と名づけた。1948（昭和23）年秋のことであった。

ジャンル別索引

「学ぶ人のために」、「世界思想ゼミナール」、「基礎ゼミ」、および単行本は、右の13ジャンルに分類しています。ただし、品切書目は巻末に別掲しています。検索は「書名索引」および「著訳編者名索引」をご利用ください。

学ぶ人のために



学ぶ人

人間を取り囲む森羅万象に「なぜ」を発するとき「学び」が始まるだろう。ただ単に細かな知識を満遍なく羅列するのではなく、探究することへの興味を呼び起こし、魅力を伝える、初学者や一般の読書人に向けた定番の入門書シリーズ。

世界思想ゼミナール



ゼミナール

入門を越え、学問の深奥へ向け、歩みをすすめよう。第一線の執筆者が最先端の研究をわかりやすく読者に示し、古典的素材から現代的トピックまで、人文・社会科学を中心に自然科学を含め、真の教養を養う。

基礎ゼミ



基礎ゼミ

資料を読み、仲間と議論し、意見をワークシートに書いて、学問を体験的に学ぼう。レポートやグループワークに初めて触れる学生の、アクティブな学びを引き出す教科書シリーズ。

単行本

電子書籍



（電子版あり）

電子書店にて電子書籍を配信しています。
品切書目にも電子書籍でお読みいただけるものがあります。

法律・政治

経済

社会

メディア・マスコミ

ジェンダー

人類学・民俗学

教育

心理

哲学・思想・宗教

歴史

日本語・日本文学

外国語・外国文学・芸術

環境・自然科学

教養みらい選書

こどものみらい叢書

日常を拓く知

世界思想社 現代哲学叢書

社会学ベーシックス

本目録の価格・在庫は2024年11月現在のものです。その後に、価格変更・品切になる場合がございます。
表示価格は消費税（10％）込の定価です。（：在庫僅少）

政治
法律経
済社
会メディア
マスコミジェン
ダー人
類学教
育心
理宗 教
思想学歴
史日本
文学外国
文学環
境
科学教
養
書こ
ども
の
書日
常
を
知世界
思想
書社
会
学

法律・政治



黒田 賢治 著

(電子版あり)

戦争の記憶と国家——帰還兵が見た殉教と忘却の現代イラン

四六判上製／254頁
3,520円／2021年
978-4-7907-1760-7

1980年代、8年に及んで続いたイラン・イラク戦争。戦死した兵士たちの記憶はいかに保たれ、忘れられるのか。支配体制や「軍」を支えている原動力とは何か。ある帰還兵への緻密な聞き取りから、現代イランの国家と人々を描く。

福井 英次郎 編

基礎ゼミ

基礎ゼミ 政治学

A5 判並製／192頁
1,980円／2019年
978-4-7907-1724-9

選挙・メディアなど身近な話題から貿易・環境など地球規模の課題まで、政治の営みをゲームやディベート、ディスカッションを通じて体験的に学べる入門書。主要な論点とそれに対する自分の意見をワークシートにまとめ、政治学の考え方を身につける。

木村 静子 著

随想——昭和を生きたひとりの女性法学研究者

A5 判上製／112頁
3,080円／2016年 国
978-4-7907-1684-6

女は空気や水にとどまらず草や木になることもできる——昭和2年、京都の商家に生まれ、京都大学初の女性助教授となった著者が、好奇心に導かれるままに、臆さず迷わず歩んだ半生を振り返る。強い意志と信念にしたがって生きる女性の姿とは。

木村 静子 著

犯罪論集——犯罪構成と故意・過失

A5 判上製／264頁
6,380円／2016年 国
978-4-7907-1683-9

刑法の犯罪構成論において、故意と過失の限界を何処に求めるべきか。多彩なドイツ語文献をひもとく、その本質を追い求めた労作。京都大学で瀧川幸辰教授の薫陶を受けて始まった、著者の約半世紀にわたる研究生活の集大成。

大野 真義・森本 益之・加藤 久雄・本田 稔・神馬 幸一 著

刑法総論〔新装版〕

A5 判上製／434頁
4,620円／2015年 国
978-4-7907-1660-0

犯罪とは何か、刑罰はなぜ科されるのか——近代刑法の変遷と成立、意義および機能から、刑法総則規定の基礎理論をわかりやすく解説。法学部生・法科大学院生にお薦めの基本書。2011年発行の第1版の内容をそのままに、〔上製・新装版〕で再刊。

大野 真義 著

罪刑法定主義〔新訂第二版〕

A5 判上製／368頁
7,480円／2014年
978-4-7907-1644-0

刑法の大原則であり、刑法学を学ぶ者にとっての基本的課題である罪刑法定主義の歴史的・思想的系譜を明らかにし、この原則の概念と本質を解明する著者多年の労作——初版後の実定法の変化を踏まえ新たな文献の追加と叙述の補訂を施した新訂版。

家 正治・岩本 誠吾・桐山 孝信・戸田 五郎・西村 智朗・福島 崇宏 著

ゼミナール

国際関係〔全訂版〕

四六判並製／288頁
2,530円／2014年
978-4-7907-1640-2

国際社会が当面する地球的規模の課題——平和、開発／発展、人権、環境——に人間の視点から取り組む初版以来のスタイルを維持しつつ、グローバル化の進展という不変の背景、9.11同時多発テロ後の変化を視野にアップグレードした全訂版。

大野 真義・加藤 久雄・飯島 暢・島田 良一・神馬 幸一 著

刑法各論

A5 判並製／472頁
4,620円／2014年
978-4-7907-1631-0

各論の「基本」がよくわかる概説書。時代の要請にともなう法解釈も変化していくなかで、その基本となる概念を成り立ちからとらえ、刑罰法規における考え方を丁寧に解説。判例も数多く収載し、学部生・法科大学院生におすすめの基本書。

松村 信夫・三山 峻司 著

著作権法要説〔第2版〕——実務と理論

A5 判上製／468頁
4,620円／2013年
978-4-7907-1584-9

平成24年改正に対応。好評だった初版に最新判例を追加し、著作権法の理論と実務の基点を簡便に解説した法律書。立法趣旨や通説的見解の解説、裁判例分析を通して法理を平易に解明し、入門からビジネスまでカバーする。読みやすい二色刷。

本間 愼・畑 明郎 編

福島原発事故の放射能汚染——問題分析と政策提言

四六判並製／256頁
2,420円／2012年 国
978-4-7907-1577-1

除染という移染、移住か避難か、汚染ガレキ処置の現状、市街地・農用地汚染、脱原発へ舵をきったドイツとの比較……。未曾有の深刻な事態下の被災地に市民・研究者・ジャーナリストが立ち実態を直視し対策を考え、政策提言する調査研究報告。

畑 明郎 編

深刻化する土壌汚染

四六判並製／264頁
2,200円／2011年
978-4-7907-1503-0

土壌汚染をめぐる問題が全国で多発している。編著者たちが直接関わった土壌汚染問題の事例を踏まえて、市街地土壌汚染、農用地土壌汚染、アメリカや中国における土壌汚染の実態を検討し、根本的な問題解決策を提言する。

家 正治・小畑 郁・桐山 孝信 編

セミナー

国際機構〔第四版〕

四六判並製／340頁
2,530円／2009年 国
978-4-7907-1442-2

冷戦の終焉、社会主義圏の崩壊、グローバル化の急展開、市民・NGOの台頭、テロリズムの蔓延など国際社会の変動の中、あるべき世界秩序構想のため国際機構はどのような役割を果たすことができるか。国連を中心にその構造と機能を概観する。

畑 明郎・杉本 裕明 編

廃棄物列島・日本——深刻化する廃棄物問題と政策提言

四六判並製／266頁
2,200円／2009年
978-4-7907-1437-8

産廃不法投棄事件、廃棄物焼却問題、産廃リサイクル問題、廃棄物問題、廃棄物処分場問題などの事例を紹介。廃棄物問題の原因、排出者・生産者責任、リサイクルが起こす環境問題などを検討し廃棄物問題の法政策課題を明示し解決策を提言する。

中川 淳 著

法学講義〔第2版〕——基礎へのアプローチ

四六判並製／164頁
1,430円／2009年
978-4-7907-1424-8

法学の基礎を中心に論じつつ、現代的な課題を適宜取り入れ、初学者がより一層興味と関心をもって学べるよう配慮した好テキスト。社会と法の関係から、憲法・民法・刑法など、法学に必須の基礎知識をまんべんなく簡潔に学べる。

畑 明郎・田倉 直彦 編

アジアの土壌汚染

四六判並製／272頁
2,200円／2008年
978-4-7907-1356-2

経済成長が著しい中国、その広東省と湖南省の金属鉱山の製錬所や化学工場の排水による深刻な水質・土壌汚染の現実や「がんの村」の発生を捉え、韓国や台湾などでの現地調査の事例分析を通して、アジアの土壌汚染問題の現状と解決策を提言。

中川 淳 編

学中人

現代法学を学ぶ人のために〔第二版〕

四六判並製／328頁
2,530円／2008年
978-4-7907-1327-2

現代社会と法との関係を初学者向けにわかりやすく解説。法学の基礎理論と現代社会の法現象を縦糸・横糸の関係として有機的・体系的にとらえ、平易に親しみやすくレクチャーする。法学的素養を高めるのに最適の入門書。

中川 淳・大野 真義 編

学中人

〔新版〕法律用語を学ぶ人のために

四六判並製／476頁
2,860円／2007年
978-4-7907-1262-6

憲法・行政法・民法・会社法・商法一般・民事訴訟法・刑法・刑事訴訟法・労働法・国際法の一〇分野から、学習上必要とされる約二〇〇〇項目を精選し、縦断的に編成。初学者はもちろん実務家にも役立つよう簡潔明快に解説した新版法律用語事典。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
エ
ン
ダ
ー

シ
エ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学
学

歴
史

日
本
文
学
日
本
語

外
国
文
学
外
国
語
芸
術

環
境
学
自
然
科
学

教
養
の
選
書
こ
の
と
き
の
こ
の
と
き

こ
の
と
き
の
こ
の
と
き

こ
の
と
き
の
こ
の
と
き

こ
の
と
き
の
こ
の
と
き

こ
の
と
き
の
こ
の
と
き

こ
の
と
き
の
こ
の
と
き

こ
の
と
き
の
こ
の
と
き

政法 治律	木村 汎、グエン・ズイ・ズン、古田 元夫 編	学ぶ人
経 済	日本・ベトナム関係を学ぶ人のために 四六判並製／280頁 1,980円／2000年 国 978-4-7907-0845-2	近世中華世界から現代アジア太平洋まで。ドイモイ政策、ベトナム戦争よりずっと前から、日本とベトナムはつながっていた。両国関係を描きぶる大枠の中で繰り広げられる、双方の対話と駆け引きの軌跡。日越関係研究のための貴重な一冊。
社 会	棚瀬 孝雄 編	ゼミナール
マ ス コ ミ ニ エ ン タ ー	たばこ訴訟の法社会学——現代の法と裁判の解説に向けて 四六判並製／320頁 2,530円／2000年 国 978-4-7907-0786-8	喫煙者がたばこ会社を告発する現在のたばこ訴訟。彼らが被害者の立場をとるようになったのはなぜなのか。喫煙を取り巻く世界はどのように変わりつつあるのか。たばこ訴訟を文化の次元で考察し、その複雑な流れの底に潜む意味を探る。
人 類 学	久武 綾子 著	ゼミナール
教 育	氏と戸籍の女性史——わが国における変遷と諸外国との比較 四六判並製／232頁 2,090円／1988年 国 978-4-7907-0333-4	働く女性の増加と両性の平等という観点から、夫婦同氏の原則に異議を唱える女性が増えているが、本書はその点を踏まえながら、女性史と比較法の視点から氏と戸籍の問題を歴史的に切り込んだ興味深い労作。第4回「女性史青山を賞」受賞。
心 理	経 済 	
宗 教 哲 学	駒川 智子・金井 郁 編	電子版あり
歴 史	キャリアに活かす雇用関係論 A5 判並製／246頁 2,420円／2024年 978-4-7907-1788-1	働きがいのある人間らしい仕事の実現へ。経済社会の変化と人々の価値観の多様化が、性別に基づく雇用管理に変化を迫る。就職から始まるキャリアの形成過程をジェンダーの視点から分析し、現状・課題・解決への道筋を示す。働くすべての人の必携書。
外 国 語	ローレンス・サマーズ、ベン・バーナンキ、ポール・クルーグマン、アルヴィン・ハンセン 著／山形 浩生 編訳・解説 景気の回復が感じられないのはなぜか——長期停滞論争	
環 境 学	四六判並製／168頁 1,540円／2019年 978-4-7907-1731-7	元財務長官サマーズが唱えた新長期停滞論に、元FRB議長バーナンキが反論し、ノーベル経済学者クルーグマンが割って入った！ 論争の様子をたどり、日本経済への処方箋を提案する、日本オリジナル編集版。提唱者ハンセンの元祖長期停滞論付き。
環 境 学	堀林 巧 著	
教 養 書	自由市場資本主義の再形成と動揺——現代比較社会経済分析 A5 判上製／280頁 5,060円／2014年 国 978-4-7907-1615-0	新自由主義（自由市場資本主義）的社会経済システムの欠陥は、2008年の国際金融危機で明白となった。“大転換”はあるのか、世界はどこに向かうのか。ポランニーを継承する比較社会経済分析により明らかにし、将来世界を展望する。
こ の と こ ろ の こ と	浅羽 良昌 著	ゼミナール
日 常 を 拓 く 知	アメリカの国際観光経済 四六判並製／172頁 2,090円／2012年 978-4-7907-1598-6	国際観光と観光産業をキーワードに、二〇世紀末に誕生した観光大国アメリカを分析・解明。観光産業が今や外貨を稼ぐ大黒柱にまで成長したプロセス・要因を詳述。貴重な図表・観光地の写真多数掲載。観光ビジネス関係者、観光を学ぶ人の必携書。
世 界 思 想 社 会 学	前田 啓一・町田 光弘・井田 憲計 編	ゼミナール
ベ ジ ン ス	大都市型産業集積と生産ネットワーク 四六判並製／234頁 2,530円／2012年 978-4-7907-1564-1	高度なものづくりを支える核となるのは、多様な生産機能を備え、経済環境変化への適応力を持つ大都市型産業集積である。経済グローバル化時代の産業集積の実情を具体的かつ多面的に捉え、日本のものづくり産業のあり方を考える。

武田 公子 著

地域戦略と自治体行財政

A5 判並製／292頁
4,180円／2011年
978-4-7907-1548-1

地方分権一括法後の制度改革の動向と自治体財政の問題を叙述、今後の分権的財政システムのあり方と制度設計に向けた論点を提示する。大規模災害時に自治体の果たす役割を財政構造から論ずる章等、斬新な構成による地方財政論テキスト。

堀口 正 著

ゼミナール

中国経済論

四六判並製／332頁
2,420円／2010年
978-4-7907-1478-1

経済学部に入學したばかりの学生や一般の人にも簡単に読める中国経済テキスト：農村経済／地域格差と貧困問題／人口問題／財政問題／戸籍制度と労働移動／人民元切り上げの効果／環境問題／観光／貿易構造／企業の国際化／WTO から FTA へ

佐々木 信彰 監修／辻 美代・金澤 孝彰・許 海珠 編

中国の改革開放30年の明暗——とける国境、ゆるぐ国内

A5 判並製／256頁
2,530円／2009年
978-4-7907-1397-5

改革開放30年——東部沿海の経済発展が目覚ましく、いまや世界最大規模の輸出・製造力を誇る中国。一方で、格差の広がり、外資依存、環境問題、三農問題などの課題も山積している。躍動する大国の光と影を検証し、未来への展望を試みる。

山本 孝・井上 秀次郎 編

生産マネジメント——その機能と発展

四六判上製／356頁
3,850円／2007年 国
978-4-7907-1263-3

研究者による精緻な理論的探究と、企業実務者による生産現場でのフィールド・リサーチにバランスよく目配りした、モノづくりを管理する技術＝生産マネジメントの理論と手法の体系的な入門書。中小企業診断士・技術士の試験対策としても最適。

小川 雄平 編

学ぶ人

〔新版〕貿易論を学ぶ人のために

四六判並製／234頁
2,090円／2002年
978-4-7907-0970-1

経済のグローバル化を加速させる多国籍企業の企業内貿易。中国・台湾の加盟で世界組織となった WTO。東アジアにおける自由貿易協定の模索。貿易の歴史と貿易理論を学ぶとともに「持続可能な発展」と国際分業をめぐる新たな動向を考察する。

内田 勝敏 編

ゼミナール

グローバル経済と中小企業

四六判並製／272頁
2,530円／2002年
978-4-7907-0949-7

経済のグローバル化と構造転換する日本経済の現状を分析するとともに、国内の中小企業がどのようにこの新しい環境に対応しようとしているかを明らかにする。あわせて、中国・台湾・韓国・ドイツの中小企業についても考察する。

社 会



伊藤 公雄・牟田 和恵・丸山 里美 編

近刊 (電子版あり)

ジェンダーで学ぶ社会学〔第4版〕

四六判並製／264頁
2025年 (近刊)
978-4-7907-1796-6

男性／女性の二分法を超え、多様性を認めあう社会へ——「育つ」「シェアカツする」「ケアする」といった身近なできごとをジェンダーの視点からとらえ、「当たり前」を問いなおす。四半世紀にわたって読み継がれる好評ロングセラーの改訂版。

内海 成治・桑名 恵・杉田 映理 編

学ぶ人 (電子版あり)

国際協力を学ぶ人のために

四六判並製／288頁
2,420円／2024年
978-4-7907-1793-5

頻発する紛争、越境する感染症、増加する難民、激しくなる気候変動。課題が山積する世界で、我々は何ができるのだろうか。国際協力の最前線から、今ある世界の困難と、人々の協力の可能性を学ぶ。定番のテキスト、待望の全面改訂！

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェン
ダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 思 哲
教 学 学

歴
史

日本文学
日本文学

外国文学
芸術

環境
自然科学

教養
選書

こころの
叢書

日常を
拓く知

世界思想社
現代思想叢書

社会学
ベジナス

政治 法律	末近 浩太・松尾 昌樹 編	学ぶ人 (電子版あり)
経済	中東を学ぶ人のために 四六判並製／304頁 2,750円／2024年 978-4-7907-1790-4	全体像を一気につかむ、知の見取り図。歴史、宗教、ジェンダー、石油経済、ビジネス、紛争、難民——中東のダイナミズムを、16の論点から解き明かす。最新の研究に基づく必読の入門書。
社会	石岡 丈昇 著	(電子版あり)
メディア コミュニケーション	ローカルボクサーと貧困世界〔増補新装版〕——マニラのボクシングジムにみる身体文化 A5 判並製／396頁 3,960円／2024年 978-4-7907-1789-8	国際ボクシングマーケットに組み込まれていくボクサーたちの、身体に刻まれた生き方を、ジムでの住み込み調査によって克明に描き出す。岸政彦氏による解説、調査対象となったボクサーたちのその後の人生を描く「後章」を加えた、待望の増補新装版。
ジェンダー	奥那嶺 司・渡辺 裕一・永野 咲 編	基礎ゼミ (電子版あり)
人類学 民俗学	基礎ゼミ 社会福祉学 A5 判並製／184頁 1,980円／2023年 978-4-7907-1787-4	誰もが幸せに生きられる社会って、どんな社会？ どうすれば実現できる？ 子どもや高齢者からマイノリティまで、生きづらさを抱える人が、社会とどんなつながりを持ちうるかを探究する。読んで、書いて、話して、支える営みを具体的に学べる入門書。
教育	松田 素二 編	学ぶ人 (電子版あり)
心理	アフリカを学ぶ人のために 四六判並製／356頁 2,750円／2023年 978-4-7907-1782-9	歴史や経済から、ポピュラーアートや結婚生活まで網羅する、アフリカ入門の必読書が大幅アップデート！ 危機と困難を切り抜けてきた知恵と手法——「アフリカ潜在力」——を学び、世界の未来を考えるために。
宗思想 哲学	木谷 百花 編	(電子版あり)
歴史	旅するモヤモヤ相談室 四六判並製／208頁 1,980円／2023年 978-4-7907-1781-2	タンザニアの行商人、ブータンの酒飲み、エジプトのムスリム、パスタを深く味わうイタリア人……世界を知れば、悩みは解ける！ 医学生が、先生たちを訪ねて見つけた、目からウロコの生きる知恵。読むと心が軽くなる、閉塞感を打ち破る対話集。
外国語 文学	三井 さよ・三谷 はるよ・西川 知享・工藤 保則 編	(電子版あり)
環境 自然科学	はじめての社会調査 A5 判並製／232頁 2,640円／2023年 978-4-7907-1777-5	人々の思いや暮らしのリアリティを知ることを通して、他者と社会の多様な姿を発見していく社会調査。質的調査と量的調査をバランスよく学べる究極の入門書。社会調査士カリキュラムのA・B科目、社会福祉士国家試験の「社会調査の基礎」にも対応。
環境 自然科学	竹中 均 著	(電子版あり)
児童 文学	自閉症が文化をつくる 四六判並製／270頁 2,530円／2023年 978-4-7907-1775-1	伊藤若冲やチューリングが生み出した文化には、不思議な共通点がある。人間が創造する文化には、時代と場所を超えて自閉症的な側面があるのではないか。文化史の地層から「自閉文化」の脈脈を掘り起こし、「健常」な近代を問い直す斬新な試み。
児童 文学	堂目 卓生・山崎 吾郎 編	(電子版あり)
日常 生活	やっかいな問題はみんなで解く 四六判並製／256頁 2,200円／2022年 978-4-7907-1773-7	「地域にもっとにぎわいがほしい」「困っているはずの人から声が上がってこない」「せっかくの専門知が専門外の人に伝わらない」。災害復興、再生医療、にぎわい創出、創造教育……境界を越えて困難に立ち向かう作法と実践。共助で新しい価値を創る。
世界 思想	間淵 領吾・酒井 千絵・古川 誠 編	
社会 学	基礎社会学〔新訂第5版〕 A5 判並製／272頁 2,090円／2022年 978-4-7907-1766-9	自分が生きている世界や、人と人との関係について考えてみたくなったら、「社会学」というツールを試してみよう。基本概念から最新の分析手法まで、オーソドックスな構成とわかりやすい文章で紹介する、長年読まれてきたテキストの改訂版。

齋藤 雪彦 著

(電子版あり)

むらづくり入門

四六判並製／176頁
1,980円／2022年
978-4-7907-1765-2

災害、人口減少等々で疲弊していく地域をなんとかしたい！ 人々が共同で自主的に自律的に、身の回りの環境に働きかけていく「むらづくり」に、謙虚に、欲張らず、ゆるく、楽しく、でもマジメに向き合う筆者の「流儀」をお伝えします。

ウスビ・サコ 著

(電子版あり)

ウスビ・サコの「まだ、空気読めません」

四六判並製／190頁
1,650円／2021年
978-4-7907-1762-1

ヤマザキマリさん・茂木健一郎さん推薦！ マリ共和国出身、元・京都精華大学学長、ウスビ・サコ。30年にわたる日本生活での失敗と発見と希望をユーモラスに語る日本論。数々のカルチャーショック体験をふりかえりながら、日本の可能性を見つめる。

丸山 里美 著

(電子版あり)

女性ホームレスとして生きる〔増補新装版〕——貧困と排除の社会学

四六判並製／336頁
2,970円／2021年
978-4-7907-1759-1

女性ホームレスの生活史から、女性が貧困に陥る過程を浮き彫りにし、福祉制度や研究が前提にしてきた人間像を問い直す。著者による付録「貧困女性はどこにいるのか」と岸政彦氏による解説「出会わされてしまう、ということ」を新たに収録。

村上 靖彦 著

(電子版あり)

子どもたちがつくる町——大阪・西成の子育て支援

A5 判並製／270頁
2,750円／2021年
978-4-7907-1752-9

「日雇い労働者の町」と呼ばれる大阪・西成。生活保護受給率は、2割を超える。でも、しんどくたって、今日も元気に子どもは遊ぶ。この町の個性的な支援者5人へのインタビューが描く、誰も取り残さない支援の地図！

柏原 全孝 著

スポーツが愛するテクノロジー

四六判上製／334頁
3,520円／2021年
978-4-7907-1752-2

手を使うな！ 前に投げな！ 3歩以上歩くな！ 選手を縛るルールこそが、スポーツを作り上げる。テニス、サッカー、新体操、大相撲からデスマッチまで、最新テクノロジーが勝負を決める時代のスポーツの行方！

松田 素二 編

集合的創造性——コンヴィヴィアルな人間学のために

四六判上製／286頁
3,080円／2021年
978-4-7907-1750-8

人が危機と困難に立ち向かう時、問題解決力の核心には創造性がある。これまで創造性は、心理学や教育学を中心に、個人的な性質や能力として研究されてきた。本書は社会学＝人類学的なアプローチにより、集合的、共同的な創造の在り方を提起する。

渡辺 潤 監修

(電子版あり)

〔新版〕コミュニケーション・スタディーズ

A5 判並製／260頁
2,310円／2021年
978-4-7907-1748-5

人と人とが結びつくこと、関わること、関わらないこと。社会の基礎にあるコミュニケーションについて、ゼロから考えなおしてみよう。28の講義で何気ない日常の仕組みを解きあかす、究極の入門書。社会学の基礎も学べるロングセラーの改訂版。

玉野 和志 編

学ぶ人

都市社会学を学ぶ人のために

四六判並製／236頁
2,420円／2020年
978-4-7907-1738-6

グローバルな資本主義の展開のなか、世界の都市はどう変化し、どんな課題を抱えているのか。具体的な歴史に沿って明らかにする。都市社会学の源流から現代的課題までを統一的な観点から理解するテキスト。建築学、地理学を学ぶ人にもおすすめ。

川田 耕 著

生きることの社会学——人生をたどる12章

四六判並製／240頁
2,530円／2019年
978-4-7907-1734-8

出生、学校、恋愛、子育て、仕事、老い、そして死……。生活の隅々にまで浸透する社会システムの中で、私たちは何を享受し、何を強制されているのか。社会と生のダイナミクスを人生の時間軸に沿って語る入門書。キーワード解説・図書紹介付き。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
エ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学
学

歴
史

日
本
文
学
語

外
国
文
学
語

環
境
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

政法 治律	井上 俊 著	文化社会学界限
経 済	四六判上製／270頁 2,970円／2019年 978-4-7907-1728-7	小説、ルポルタージュ、映画、漫画、武道、スポーツ等——多くの世界と往来を重ねて豊かになる文化社会学。貧困街のルポから探偵小説まで、『闇の奥』から『宮本武蔵』『YAWARA』まで、賑わいの界限を遊歩し、文化の風景と人々の姿を活写する。
社 会	木下 衆 著	家族はなぜ介護してしまうのか——認知症の社会学 (電子版あり)
マ ス コ ミ ニ エ ン ダ ー	四六判並製／256頁 2,530円／2019年 978-4-7907-1726-3	患者の人生や性格に合わせた介護が求められる現在の認知症。患者をよく知るからこそ、家族は悩み、憤り、反省する。認知症を理解し、介護へと導かれ、患者との関係を再構築するまでの家族の営みを丹念に描く。介護を頑張りすぎることへの問題提起。
人 類 学	エマニュエル・A. シェグロフ 著／西阪 仰 訳／ケード・ブッシュネル 翻訳協力	会話分析の方法——行為と連鎖の組織
教 育	A5 判並製／224頁 3,300円／2018年 978-4-7907-1723-2	相互行為の基本組織の1つ、「連鎖」の組織を扱った「予備のための予備」。「発言の繰り返し」という何気ない行為の秩序を解き明かす「仄めかしだったと認めること」。会話分析の泰斗シェグロフによる2本の論考に、解説的訳注を付けた、新たな必読書。
心 理	牧田 満知子 著	紛争終結後のカンボジア——国軍除隊兵士と社会再統合
宗 教 哲 学	A5 判上製／296頁 5,280円／2018年 978-4-7907-1714-0	二〇世紀を震撼させた悲劇以後も長期にわたる内戦を経験したカンボジア——平和構築と除隊兵士の地域社会への再統合をめざした支援の実際と、当事者たちのその後は。紛争終結国の貧困削減と自立支援に向け提言を行うとともに研究上の課題を示す。
歴 史	尾嶋 史章・荒牧 草平 編	高校生たちのゆくえ——学校パネル調査からみた進路と生活の30年
日 本 文 学	A5 判並製／240頁 2,750円／2018年 978-4-7907-1710-2	学校や塾での勉強、友だちづきあい、クラブ活動、アルバイト、奨学金、進学先や職業の選び方——30年にわたる学校パネル調査のデータから高校生の姿を描きつつ、日本社会のこれまでを振り返り、これからを見通す。
外 国 語 文 学	古賀 正義・石川 良子 編	ひきこもりと家族の社会学
環 境 学	四六判並製／228頁 2,750円／2018年 978-4-7907-1705-8	「過失者／支援者」の役割で板挟みになる親たち。さらに長期化・高齢化が経済的困窮へと拍車をかける。「ひきこもり」を従来の家族主義や自立親を問い直す問題として捉え、家族と社会とのコミュニケーション回復、ネットワーク構築を模索する。
教 養 書	山田 真茂留 著	集団と組織の社会学——集合的アイデンティティのダイナミクス
こ の と こ ろ の 書	四六判並製／222頁 2,750円／2017年 978-4-7907-1701-0	人は、関係や集団、組織に頼らなければ生きていけない。自らの所属先と、どうつき合うべきなのか。恋愛関係からグローバルゼーションまで、古典理論から最新モデルまでを平明に解説し、集団現象と組織現象が作り出すきらめきと魔力に迫る。
日 常 を 知 る	ジゼル・サピロ 著／鈴木智之・松下優一 訳	文学社会学とはなににか
世 界 思 想 書	四六判上製／224頁 4,180円／2017年 国 978-4-7907-1700-3	【小野正嗣氏推薦！】「文学の読み方が〈かわる〉。文学の大切さが〈わかる〉。文学と社会の忘れられがちな豊かな関係を〈わかりやすく〉解きほぐす社会学からのアプローチ」。文学を生産・作品・受容の場から分析し、社会的事実として探究する。
社 会 学	有蘭 真代 著	ハンセン病療養所を生きる——隔離壁を皆に
	四六判上製／224頁 3,080円／2017年 978-4-7907-1699-0	「俺たちは被害者だけど、敗北者ではない」——ハンセン病を得た人々が、集団になることではじめてできた活動とは何か。動けない「不自由」な者の「自由」とはどのようなものか。障害を越え、隔離壁を越え、人間の魂を耕し続けた人々の記録。

小谷 敏 編

(電子版あり)

二十一世紀の若者論——あいまいな不安を生きる

四六判並製／218頁
2,750円／2017年
978-4-7907-1693-8

イデオロギー対立と経済発展が終焉した二十一世紀。若者たちはどう語られてきたのか。大人たちの偏見にさらされ、生きづらさを抱えて浮遊する若者たちの姿を、言説の分析を通して浮かび上がらせる。メタ社会学的冒険の書。

工藤 保則・大山 小夜・笠井 賢紀 編

基礎ゼミ

基礎ゼミ 社会学

A5 判並製／232頁
2,310円／2017年
978-4-7907-1692-1

「問いを発見する」「調べる」「考察する」「深める」の4つのステージを通じて、レポートやプレゼンのコツがつかめる入門書。自分で読むだけでなく、書いて、話して、社会学を丸ごと体験しよう。アクティブな学びを引き出す教科書シリーズ創刊！

藤木 庸介 編

住まいがたえる世界のくらし——今日の居住文化誌

A5 判並製／214頁
2,970円／2016年
978-4-7907-1689-1

さまざまな「くらし」／多様な「生活のカタチ」 その土地の気候風土やつくられる住居、また習俗習慣、生業、信仰など、人々の生活そのものが形づくる居住文化の多様性を学び理解し、自らの居住文化と比較・考察するきっかけを示す。

天童 睦子 編

育児言説の社会学——家族・ジェンダー・再生産

四六判並製／232頁
2,640円／2016年
978-4-7907-1685-0

多様化する育児雑誌が映し出す子育ての現在——子育てをめぐる言葉の束＝「育児言説」を鍵概念に、育児知識の伝達媒体である育児メディアとその変化に注目し、現代の家族・育児・教育の課題を社会構造とのかかわりから検討する。

原田 隆司 著

震災を生きぬく——阪神・淡路大震災から20年

四六判上製／276頁
3,080円／2016年
978-4-7907-1678-3

1995年1月17日、大地が揺れた。著者は、中学校に置かれた避難所に向かい、夏までボランティアとして過ごした。それから20年、人びとはどう生きたか。深いインタビューに基づいて人生と震災の交差を描く、ヒューマン・ドキュメント。

田代 志門 著

近刊 (電子版あり)

死にゆく過程を生きる——終末期がん患者の経験の社会学

四六判並製／272頁
2,750円／2016年
978-4-7907-1678-5

告知、療養環境の選択、何かを遺すこと、お迎え体験——在宅緩和ケアを受け、自宅で最期を迎えたがん患者たちの語りから、「自らの死を予見しつつ今このときを生きる」という、「日常の生」と地続きにある「死にゆく過程の生」を描き出す。

数理社会学会 監修／筒井 淳也・神林 博史・長松 奈美江・渡邊 大輔・藤原 翔 編

計量社会学入門——社会をデータでよむ

A5 判並製／284頁
3,080円／2015年
978-4-7907-1671-6

計量社会学の考え方から、分析手法・最新の研究・論文例まで、労働・教育・階層・家族・都市・健康・社会意識の分野ごとに、わかりやすく丁寧に解説。これから学びたい人も、数字が苦手な人も、計量社会学をまるごと理解できる一冊。

草柳 千早 著

日常の最前線としての身体——社会を変える相互作用

四六判並製／276頁
2,750円／2015年
978-4-7907-1670-9

他者と共に相互作用を繰り返して、私たちは、生身で今ここを生きている。自分の身をどこかへ置き去りにするわけにはいかない。身体を起点に、生きづらい社会について、よりよく生きようとするということについて、考える。

伊藤 公雄・牟田 和恵 編

ジェンダーで学ぶ社会学〔全訂新版〕

四六判並製／264頁
1,980円／2015年
978-4-7907-1668-6

男／女の二色刷から、個性の光る多色刷の社会へ——「育つ」から「シュカツする」、そして「ケアする」までの身近なできごとを、ジェンダーの視点から見なおし、「あたりまえ」をくつがえす。好評ロングセラーを全面改訂。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学
学

歴
史

日
本
文
学
日
本
語

外
国
文
学
外
国
語
芸
術

環
境
科
学
自
然
科
学

教
養
の
選
書
こ
の
と
き
の

こ
の
と
き
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
思
想
叢
書

社
会
学
ベ
シ
ン
ス

政法 治律	中川 輝彦・黒田 浩一郎 編	ゼミナール
経 済	〔新版〕現代医療の社会学——日本の現状と課題 四六判並製／280頁 2,530円／2015年 978-4-7907-1663-1	医療の「今」を成り立たせる様々な要素とその複雑な関係を、中心構造／支持構造／周縁に分け、日本をはじめ先進国での近代から現代の変化を追うことで丁寧に読み解く。そのあり方が多様に問われる現代医療を見通すための知見を提供する一冊。
社 会	渡辺 潤 編 レジャー・スタディーズ A5 判並製／240頁 2,750円／2015年 国 978-4-7907-1662-4	自由とは何か、豊かさとは何か、私はなぜ働くのか——レジャーからライフスタイルを見つめよう。旅行・音楽・スポーツからテレビやギャンブルまで、多様なレジャーの過去と現在を学ぶ入門書の決定版。現代文化を学びたい人にも最適。
メ ス コ ミ ジ ェ ン ダ ー	山元 隆春 編	学ぶ人
人 類 学	読書教育を学ぶ人のために 四六判並製／312頁 2,530円／2015年 978-4-7907-1656-3	いつも、読みかけの本を。そばに。本と子どもを愛するすべての人びとの必携書。交わる、出会う、引き出す、ひたらせる、ひらく、交流する、伸ばす。本との取り組み方・付き合い方をサポートし、読み、考え、発見する読書教育をデザインする。
教 育	齋藤 雪彦 著 農山村の荒廃と空間管理——計画学の立場から地域再生を考える A5 判上製／232頁 4,290円／2015年 978-4-7907-1652-2	農業の衰退や高齢化、耕作放棄地の増加という現代の状況に対し、本書では、従来の空間を「利用」する観点ではなく、空間を実際に成立させる「メンテナンス」(=作業)の側面からとらえ、荒廃の実態と再生への道筋を住民の生活から展望する。
心 理	吉田 国光 著 農地管理と村落社会——社会ネットワーク分析からのアプローチ A5 判上製／212頁 5,280円／2015年 978-4-7907-1652-5	農家は減少の一途をたどり、離農を理由とした農地利用の中止による耕作放棄地化のリスクはますます高まっている。農地利用の維持を通じて農地がどのように管理されているのか、農地管理のしくみを村落社会の動態との関連性から読み解く。
宗 教 哲 学	北澤 毅 著 「いじめ自殺」の社会学——「いじめ問題」を脱構築する 四六判並製／270頁 2,640円／2015年 国 978-4-7907-1646-1	ゼミナール 「いじめは死に値する苦しみである」という認識が社会文化的につくられたものであることを、新聞、テレビ番組、書籍のなかに観察される「いじめ言説」を分析することにより明らかにする。「いじめ自殺」根絶への糸口を探る試み。
日 本 文 学	中谷 文美 著 オランダ流ワーク・ライフ・バランス——「人生のラッシュアワー」を生き抜く人々の技法 四六判上製／254頁 3,080円／2015年 978-4-7907-1646-4	ゼミナール 人生は、仕事だけじゃない——結婚・出産・子どもの就学など、人生の節目で仕事のかたちをどう変えるか、時間をどう振り分けるか。長年のインタビュー調査から、「パートタイム大国」オランダに生きる人々のライフスタイルを浮き彫りにする。
外 国 文 学	春日井 典子 著 〔新版〕介護ライフスタイルの社会学 四六判並製／274頁 2,310円／2014年 978-4-7907-1638-9	ゼミナール 個人化の進行する現代社会における要介護者と介護関与者の「主体性の尊重」と「自己実現」をめざす新たな高齢者介護の分析から「主体性と自己責任のディレンマ」に悩む現代の諸相をとらえ、共生社会の創生を期待する社会変動論——待望の新版。
環 境 学	井上 俊 編 〔全訂新版〕現代文化を学ぶ人のために 四六判並製／272頁 2,200円／2014年 978-4-7907-1636-5	学ぶ人 流動化しグローバル化する現代文化——その輪郭を都市・消費・情報という基軸から描き、さらにポピュラー音楽、映像、マンガ、スポーツ、ファッション、観光などの個別フィールドに分け入る。定評あるロングセラーの全面改訂版。
芸 術		
自然科学		
教養 書		
子どもの みらい		
日常を 拓く知		
世界思想社 ベジンス		

木村 一信・西尾 宣明 編

学ぶ人

国際堺学を学ぶ人のために

四六判並製／352頁
2,530円／2013年
978-4-7907-1614-3

自由都市、文化都市、国際都市、伝統産業都市等々の相貌を持つ堺の歴史を俯瞰し、産業・経済・文化・教育の現在を分析し、更なる居住性の高い街を求め、諸大学や地域社会との連携に希望を見だし、望まれる未来像を探る。

石戸 教嗣 編

学ぶ人

〔新版〕教育社会学を学ぶ人のために

四六判並製／292頁
2,530円／2013年
978-4-7907-1607-5

待望久しい「新版」——各領域の研究動向・理論的課題の整理に重点を置き概説書や入門書にはない独自の視点を示す。研究の流れと今後の課題／経済・政治と教育／学校・教員論／個人的領域と教育／ネットワーク社会と教育／教育社会学の半世紀

安藤 丈将 著

ニューレフト運動と市民社会——「六〇年代」の思想のゆくえ

四六判上製／324頁
3,300円／2013年
978-4-7907-1601-3

戦後の民主化運動、60年安保闘争、学生運動、反戦運動……ニューレフト運動を中心に、50～70年代の日本の社会運動を概観し、それが市民社会に与えた正負の影響を考察。60年代の「生き方を問直す」思想の軌跡の先に、市民の力の源泉を見出す。

中村 治 著

洛北岩倉と精神医療——精神病患者家族的看護の伝統の形成と消失

A5 判並製／164頁
2,090円／2013年
978-4-7907-1599-3

精神障害者を施設等に閉じ込めず、一般民家で預かって、共に暮らしていた京都洛北・岩倉。本書は、その歴史を著者の長年にわたる聞き取りと地元に残る史料により解明し、地域で精神障害者を看護していくためのヒントを得ようとする試みである。

片瀬 一男 著

セミナー

ライフ・イベントの社会学〔新版〕

四六判並製／260頁
2,200円／2013年
978-4-7907-1594-8

読書、試験、自分探し、就職、仕事、恋愛、友情、病気、看護……身近な出来事を通じて社会学の考え方を学び、混沌とした世界を読み解く力を身につける。小説、マンガ、映画も素材に取り入れたわかりやすいテキスト。好評書の全面改訂版。

西山 哲郎 編

セミナー

科学化する日常の社会学

四六判並製／248頁
2,420円／2013年
978-4-7907-1592-4

近代化とともに発展し、日常生活に浸透してきた科学技術。リスクの中で、科学とどう付き合えばよいのか。「専門家への白紙委任」から「対話」の時代に向け、化粧品広告、育児産業、インフルエンザ報道、「脳力」論、防災をテーマに検証した。

善積 京子 著

離別と共同養育——スウェーデンの養育訴訟にみる「子どもの最善」

A5 判上製／312頁
3,850円／2013年
978-4-7907-1586-3

スウェーデンにおける家族変容、特にパートナー関係解消後の養育権・居所・面会のある方に焦点を置き、「子どもの最善」「ジェンダー公平性」の観点から養育訴訟を分析、日本の今後の親権・監護法制のあるべき方向性を探る。

平井 孝典 著

公文書管理と情報アクセス——国立大学法人小樽商科大学の「緑丘アーカイブズ」

A5 判上製／478頁
8,360円／2013年 図
978-4-7907-1583-2

公文書管理が適正に実施されなければ情報アクセスは不可能である。明治に官立第五高商として創設された小樽商科大学での11年にわたる実務を主な素材に、公文書管理を適正に行うための理論と課題を提示。関係法令も説明。先進的事例を比較紹介。

村田 陽平 著

受動喫煙の環境学——健康とタバコ社会のゆくえ

四六判並製／232頁
2,310円／2012年
978-4-7907-1574-0

タバコ規制の国際条約（FCTC）の批准国でありながら、受動喫煙対策「後進国」である日本の現状に警鐘を鳴らし、よりよい社会環境の実現に向けた議論の道筋を示す。第13回人文地理学会賞一般図書部門、2014年度日本地理学会賞著作発信部門受賞。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学
学

歴
史

日
本
文
学
日
本
語

外
国
文
学
外
国
語
芸
術

環
境
学
自
然
科
学

教
養
の
選
書
こ
の
と
き
の
こ
れ
を
み
ら
い

こ
の
と
き
の
こ
れ
を
み
ら
い

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
思
想
叢
書

社
会
学
ベ
ジ
ン
ス

佐藤 純一・土屋 貴志・黒田 浩一郎 編

ゼミナール

先端医療の社会学

四六判並製／240頁
2,200円／2010年
978-4-7907-1487-3

近年の生命科学のめざましい発達に伴い、今日の社会を存立させている諸前提に変更を迫るがごとく、大きな変容を遂げつつある「先端医療」について、社会学的な観点から、その把握と定義を試み、日本における展開の分析をめざす。最新の論考集。

松田 恵示・松尾 哲矢・安松 幹展 編

ゼミナール

福祉社会のアミューズメントとスポーツ——身体からのパースペクティブ

四六判並製／272頁
2,420円／2010年
978-4-7907-1472-9

年齢や障がいなど、生の条件にとらわれない「身体のアミューズメント（楽しみ）」はいかに実現できるのか。「身体」の多様な側面から、スポーツや身体を使った遊びを捉え、「すべての人がともに生きる社会」への可能性を照らし出す。

串田 秀也・好井 裕明 編

学ぶ人

エスノメソドロジーを学ぶ人のために

四六判並製／324頁
2,640円／2010年
978-4-7907-1458-9

身近なりアリティから社会学的探究へ——エスノメソドロジーの考え方を、平易な言葉と身近な例示によって説き、そのおもしろさを伝え、読者を社会学的探究へと誘う。初学者のために徹底してわかりやすく編まれた格好の入門書。

表 真美 著

食卓と家族——家族団らんの歴史の変遷

四六判上製／206頁
2,530円／2010年 国
978-4-7907-1458-9

家族再生の手段として期待され、人々が望む幸せな家族の象徴である「食卓での家族団らん」はどのように意味づけられてきたのか。「団らん」言説の初出、歴史の変遷をたどり、今後の家族団らんに関する教育のあり方について考察する。

加茂 直樹 著

現代日本の家族と社会保障

A5 判上製／300頁
2,750円／2010年 国
978-4-7907-1458-9

社会哲学研究者としての著者が最後に辿りついたテーマが「家族」と「社会保障」である。現代の家族を取り巻く状況を分析・整理し、内外における社会福祉・社会保障の歴史と現状を概観した上で、それぞれが直面している課題に批判的検討を加える。

橋本 純一 編

ゼミナール

スポーツ観戦学——熱狂のステージの構造と意味

四六判並製／322頁
2,530円／2010年
978-4-7907-1454-5

スポーツ観戦と場所、生活、メディア、マイノリティ、哲学・政治学——存在感を増す社会／文化的現象としてのスポーツ観戦を12人の論者が多角的に読み解く。「観るスポーツ」の新たなパースペクティブ。

井上 眞理子 編

学ぶ人

家族社会学を学ぶ人のために

四六判並製／312頁
2,530円／2010年
978-4-7907-1452-1

「家族とは～である」と決め付けることなく、本書では、従来家族に対して付与されてきた虚像、根拠のない〈思い込み〉に気づき、変化し多様化する家族を、「病理的形態」ではなく「問題解決」に取り組む「開かれたシステム」として考える。

柴野 昌山 編

青少年・若者の自立支援——ユースワークによる学校・地域の再生

四六判並製／240頁
2,200円／2009年
978-4-7907-1434-7

人間的成熟と社会を見る眼をどこでどのように養うか、これこそが今日の青少年問題である。心理主義の限界を踏まえつつ、社会学的観点からグループの持つ人間的成長機能を再認識し、現代の若者が抱える自立への課題とその困難性を多角的に考察。

内田 良 著

ゼミナール

「児童虐待」へのまなざし——社会現象はどう語られるのか

四六判並製／232頁
2,200円／2009年
978-4-7907-1429-3

「虐待」に注目し、意味を付与する「まなざし」——そもそも私たちがおこなっている意味付与とはいかなるものか。意味付与自体を議論の俎上に載せ、児童虐待問題についてこれまでとは別の語り方を提起する。日本教育社会学会第4回奨励賞受賞。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
エ
ン
タ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学
教
学

歴
史

日
本
文
学
日
本
語

外
国
文
学
芸
術
外
国
語

環
境
科
学
自
然
科
学

こ
の
と
き
の
こ
の
と
き
の
こ
の
と
き

こ
の
と
き
の
こ
の
と
き

こ
の
と
き
の
こ
の
と
き

こ
の
と
き
の
こ
の
と
き

こ
の
と
き
の
こ
の
と
き

こ
の
と
き
の
こ
の
と
き

政法 治律	西村 秀樹 著		ゼミナール
	スポーツにおける抑制の美学——静かなる強さと深さ		
経 済	四六判並製／322頁 2,530円／2009年 978-4-7907-1428-6		ガッツポーズに違和感を感じるのはなぜか？ 今日のスポーツ界における自我呈示のパフォーマンスの隆盛に理論的考察を加えつつ、日本古来の文化的伝統に分け入り、洗練された感情表現の美学、感情表出を抑制するアスリートの魅力を語る。
社 会	鈴木 健・岡部 朗一 編		学ぶ人
マ ス コ ミ ニ エ ン ダ ー	説得コミュニケーション論を学ぶ人のために		
	四六判並製／324頁 2,300円／2009年 978-4-7907-1406-4		「公的な説得の技法」としてのレトリックを、政治、メディア、歴史、物語、イデオロギーなどさまざまな文脈（コンテキスト）においてコミュニケーション論的に批評する方法を紹介することにより、批判的（クリティカル）な「言語力」の養成を図る。
人 類 学	富永 茂樹 編		
	転回点を求めて——一九六〇年代の研究		
教 育	四六判並製／358頁 2,750円／2009年 Ⅲ 978-4-7907-1401-9		東京オリンピック、三種の神器、ミニスカート、牛乳神話、『沈黙の春』、ポップ・ディラン……。『黄金の六〇年代』の舞台裏で、いったい何が終焉し、何が出現したのか。我々が今ある位置を知るために、転回点としての一九六〇年代を考察する。
心 理	石川 実 著		ゼミナール
	嫉妬と羨望の社会学		
宗 哲 思 学	四六判並製／288頁 2,530円／2009年 Ⅲ 978-4-7907-1400-2		“嫉妬”の正体を社会学的に解剖する！ 他者への関心から芽生える複雑な情動——。嫉妬・妬み・羨望の情動の生成から表面化までのメカニズムを、社会学的・社会心理学的な視角から体系的にさぐる試みを展開した注目の書。
歴 史	池田 太臣 著		ゼミナール
	ホブズから「支配の社会学」へ——ホブズ、ウェーバー、パーソンズにおける秩序の理論		
日 本 文 学	四六判並製／284頁 2,530円／2009年 Ⅲ 978-4-7907-1399-9		支配（権力）の社会学の系譜を、脱ホブズの苦闘の歴史として跡づけ、マックス・ウェーバーの「支配論」とタルコット・パーソンズの「権力論」を迫りつつ、批学会にとって「支配」概念とは何だったのかに迫り、今後の課題を考察した意欲作。
外 国 文 学	杉村 和彦 編		
環 境 学	21世紀の田舎学——遊ぶことと作ること		
	四六判並製／290頁 2,200円／2009年 978-4-7907-1398-2		ないものねだりではなく、あるもの探しからスタートすること。古民家再生プロジェクト、匠の技を楽しむイベント、グリーンツーリズムなどの豊富な事例を紹介し、新しい「田舎」のあり方と、それを支える「学」を構想する。「遊作」への誘い。
教 養 書	野々山 久也 編		
	論点ハンドブック 家族社会学		
こ の し よ の み ら い	A5 判並製／382頁 2,200円／2009年 Ⅲ 978-4-7907-1396-8		家族をめぐる諸現象を、社会学はどのように読み解くか——家族社会学の蓄積を、理論から実証まで、幅広く網羅し、精選された80項目のテーマに沿って簡潔明瞭に紹介する。家族に関心を持つすべての読者のための格好のレファレンス・ブック。
日 常 を 拓 く 知	ダダ・マヘシュヴァラナンド 著／岩崎 信彦 監訳／松尾 光喜 訳		
	資本主義を超えて——新時代を拓く進歩的活用理論（ブラウト）		
世 界 思 想 書	四六判並製／312頁 2,200円／2009年 978-4-7907-1389-0		グローバル資本主義の問題性を鋭く考察し、地球的自然と人類の再生をめざすネオヒューマニズムと実践ビジョンを提起する、P. R. サーカーの思想を紹介した注目作。N. チョムスキーによる序文、J. ガルトゥングによるコラムも併せて掲載。
社 会 学	片桐 新自 著		
	不安定社会の中の若者たち——大学生調査から見るこの20年		
ヘ ー リ ン グ ス	四六判上製／246頁 2,640円／2009年 978-4-7907-1381-4		バブル経済、失われた十年、就職氷河期、格差社会——日本社会の不安定要素が劇的に大きくなったこの二十一年間に、学生たちの意識や価値観はどう変化したのか。緻密なデータをもとに、気鋭の社会学者が繊細かつ大胆に論じる。渾身の意欲作。

アーノルト・ゲーレン 著／池井 望 訳

人間——その性質と世界の中の位置

A5 判上製／438頁
4,290円／2008年 国
978-4-7907-1380-7

自分とは何か？ なぜ、人殺しをしてはいけないのか？ なぜ、社会にノブレス・オブリージュが必要なのか？——毒杯によって最期を全うしたソクラテス以来、現代も変わらぬわれわれの切実な問いに、明快に答える最も科学的な人間論。

今津 孝次郎 著

人生時間割の社会学

四六判上製／374頁
3,080円／2008年 国
978-4-7907-1378-4

社会学的見地から、「時間」をめぐる「個人」と「社会」の相関関係を考察し、現代人のライフサイクルやライフコースの捉え方を再検討する。世界に先駆けて超高齢社会に突入したわが国から、新たな問題提起を目指す意欲作。

早川 洋行・菅野 仁 編

学ぶ人

ジンメル社会学を学ぶ人のために

四六判並製／324頁
2,530円／2008年
978-4-7907-1372-2

二十一世紀のジンメル社会学入門。ジンメルの生涯と主要著作をたどり、社会学史のなかにその思想を再定位し、新たなジンメル解釈の可能性を提示する。最新の研究成果を包含したジンメル社会学への招待。

池井 望・菊 幸一 編

「からだ」の社会学——身体論から肉体論へ

四六判並製／276頁
2,530円／2008年
978-4-7907-1355-6

スポーツ、ジェンダーから Wii、姉妹まで——人間のからだを、制度化した「身体」ではなく、生きている「からだ」＝「肉体」と捉えることを出発点に、現代社会、そして人間について豊かな議論を展開。「身体」からの解放が拓く可能性を大胆に提言。

間瀬 啓允 編

学ぶ人

公益学を学ぶ人のために

四六判並製／336頁
2,200円／2008年
978-4-7907-1335-7

みんなの役に立ち、みんなのためになる身近な公益活動や公益現象に学問の光をあて、現代社会のニーズに応える新学問《公益学》。その思想的側面、企業活動、科学（医療）技術、社会活動、国際社会の五つを切り口に、《公益学》の全体像にせまる。

北澤 毅・古賀 正義 編

学ぶ人

質的調査法を学ぶ人のために

四六判並製／280頁
2,420円／2008年 国
978-4-7907-1333-3

「データは集めたけれど、どう分析すればいいの？」——エスノメソドロジーと社会構築主義をベースに、インタビュー、エスノグラフィー、会話分析、言説研究などの思考法と技法を解説。日常に埋め込まれている社会の構造を読み解く力を磨く。

高田 公理・堀 忠雄・重田 眞義 編

学ぶ人

睡眠文化を学ぶ人のために

四六判並製／272頁
2,200円／2008年
978-4-7907-1330-2

豊かで楽しい眠りの世界へ！ 夢のコントロール技法、諸民族の夢理論、就眠儀式、シエスタ文化、眠具、狸寝入り……。文系／理系の枠を超えたアプローチで、眠りの文化の全貌を明らかにし、新しい研究へと誘う。テーマ別文献リストつき。

高田 公理・嗜好品文化研究会 編

学ぶ人

嗜好品文化を学ぶ人のために

四六判並製／258頁
2,200円／2008年
978-4-7907-1329-6

コーヒー・酒・たばこ・茶・チョコレートはもちろん、コーラ（西アフリカ）やカート（イエメン）、さらには香水・ハチミツ・音楽・ケータイまで、人を惹きつけるモノを解き明かす。遊びと楽しみを学問するための決定版入門書。文献リストつき。

宮下 晋吉 著

模倣から「科学大国」へ——19世紀ドイツにおける科学と技術の社会史

A5 判上製／446頁
3,740円／2008年
978-4-7907-1328-9

発明と特許の先願主義、コモンズ、初の国立研究所、CSRの萌芽カール・ツァイス。国をあげた「模倣」による工業化、研究所など科学の組織化を通して世界一の「科学大国」へ。その過程を詳らかにし、世界の科学史研究にも一石を投じる意欲作。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
エ
ン
タ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

宗
教
哲
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学

環
境
科
学

環
境
科
学

教
養
選
書

こ
の
と
き
の
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社

社
会
学

政治 法律	玉野 和志 著	ゼミナール
	実践社会調査入門——今すぐ調査を始めたい人へ	
経 済	四六判並製／236頁 2,200円／2008年 978-4-7907-1321-0	〈いつ〉〈どうすれば〉〈何が〉わかるのか——聞き取り調査・文書資料・サーベイ調査のノウハウとそれぞれの効果的な組み合わせ方を、社会調査全体の中に位置づけながらわかりやすく解説。今すぐ調査を始める人に最適な実践的テキスト。
社 会	坂部 晶子 著	ゼミナール
メ デ ィ ア マ ス コ ミ	「満洲」経験の社会学——植民地の記憶のかたち	
ジ ェ ン ダ ー	四六判並製／270頁 2,530円／2008年 国 978-4-7907-1320-3	「満洲国」という植民地経験を題材に、植民者＝日本人と被植民者＝中国人の双方の多層的な語りから、彼らの生活世界の再構成を試みる。凍てつく大地で歴史のはざまを翻弄されて生きた人びとの、記憶のエスノグラフィ。第17回橋本峰雄賞受賞！
人 類 学 民 俗 学	山村 高淑・張 天新・藤木 庸介 編	
教 育	世界遺産と地域振興——中国雲南省・麗江にくらす	
心 理	A5 判並製／200頁 2,260円／2007年 国 978-4-7907-1302-9	地域振興のツールとしての「世界遺産登録」と「観光開発」の可能性と問題点を現地資料や住民の生の声を詳細に分析することで明らかにし、真の地域振興とは何か、そして地域社会がこの諸刃の剣を自律的にコントロールしてゆくための途を考える。
宗 教 思 哲 教 学	小野 善邦 編	
	グローバル・コミュニケーション論——メディア社会の共生・連帯をめざして	
	A5 判並製／376頁 3,080円／2007年 国 978-4-7907-1297-8	コミュニケーション技術の進歩により、地球全体は巨大なネットワークで結ばれた。では、マクルーハンの構想が現実化した世界はどんな光景か？ 各人がグローバル・リテラシーを身につけ、グローバリゼーションの大潮流に向かう力を得るために。
歴 史	荒木 光彦 監修	
日 本 文 学	技術者の姿——技術立国を支える高専卒業生たち	
外 国 文 学	四六判並製／228頁 1,760円／2007年 978-4-7907-1293-0	ロボコンでおなじみの「高専」。だが、その実態はあまり知られていない。現代日本の技術現場を支えているのは、ほかならぬ高専卒業生であることが本書で明らかになる。各界で活躍する高専卒業生たちの素顔、企業人からのメッセージなども収録。
外 国 語 芸 術	伊奈 正人・中村 好孝 著	
自 然 科 学	社会学的想像力のために——歴史的特殊性の視点から	
環 境	四六判並製／344頁 2,530円／2007年 978-4-7907-1289-3	ミルズの書物を離れ独自の問題領域をつくり出しつつある「社会学的想像力」という思考方法について再検討を加え、11個のビボット＝考察の軸足となる論点から整理、社会学的想像力の、「ためにならない」解釈を質し、その今日的意味を考える。
教 養 み ら い 書	玉井 金五・大森 真紀 編	
こ の と の み ら い 書	〔三訂〕社会政策を学ぶ人のために	
日 常 を 拓 く 知	四六判並製／296頁 2,310円／2007年 978-4-7907-1278-7	グローバル化と少子高齢化のうねりのなかで仕事と暮らしをいかに創造していくべきか。二一世紀において社会政策が担うべき役割を「雇用」「社会保障」「生活」の三領域から問い直し、ワーク・ライフ・バランスの近未来像を追求する。
世 界 思 想 史 書	横田 恵子 編	
社 会 学	解放のソーシャルワーク	
ベ ー ジ ン ク ス	四六判並製／242頁 2,420円／2007年 978-4-7907-1270-1	日本のソーシャルワーク実践・教育が抱える根幹の問題を多元的かつラディカルに論じ、市民社会から認知される援助理論・実践に向けて示唆や提言を行う。日本とオーストラリアのクリティカル・ソーシャルワーク研究者による国際的共同研究。
	黄 順姫 著	
	同窓会の社会学——学校の身体文化・信頼・ネットワーク	
	四六判上製／256頁 2,200円／2007年 国 978-4-7907-1264-0	学校の身体文化と記憶は卒業後の人生になにをもたらすのか。記憶の信頼とノスタルジアをもとにネットワーク、社会的資本を形成する同窓会。学校教育というものの持つ、より深く本質的な意味を描き出す意欲作。

田中 耕一・荻野 昌弘 編

社会調査と権力——〈社会的なもの〉の危機と社会学

A5 判上製／242頁
3,960円／2007年 国
978-4-7907-1256-5

社会調査の本質とは何か——福祉国家の終焉、グローバリゼーション、個人化、リスク社会……〈社会的なもの〉のリアリティが急速に失われつつある現代社会において、社会調査のもつ意味を問い、いま求められる実践としての知のありかたを探る。

近森 高明 著

ベンヤミンの迷宮都市——都市のモダニティと陶酔経験

四六判上製／292頁
3,080円／2007年 国
978-4-7907-1250-3

遊歩者が街路に迷い、陶酔するとき、抑圧された都市が、無気味な〈迷宮〉として帰還する。ベンヤミンのテキストの再解釈を通じて、「観察者」と「陶酔者」のはざまに、精神分析と都市論の理論的接合を試みる。第16回橋本峰雄賞に輝いた意欲作。

二階堂 裕子 著

民族関係と地域福祉の都市社会学

A5 判上製／264頁
3,850円／2007年 国
978-4-7907-1233-6

大阪市生野区における在日韓国・朝鮮人と日本人の民族関係をもとに、民族を超えた連帯と都市コミュニティ再生の可能性、そして来るべき「多民族・多文化社会」のあり方を探究する。日本都市社会学会若手奨励賞・地域社会学会奨励賞受賞。

倉島 哲 著

身体技法と社会学的認識

A5 判上製／306頁
3,960円／2007年 国
978-4-7907-1232-9

「技を身に付ける」とはどういうことか？ ブルデューの実践理論、エスノメソドロジー、状況的学習論、わざ言語論、暗黙知理論、モースの身体技法論……社会学的身体論を整理。その成果を、4年間にわたる武術教室のフィールドワークで実証。

太郎丸 博 編

フリーターとニートの社会学

四六判並製／228頁
2,090円／2006年 国
978-4-7907-1221-3

フリーターとニートの問題は、これまで教育や経済の分野で論じられてきた。本書では、社会移動、社会的ネットワーク、ジェンダー、生活意識、労働観など、社会学の知見を駆使してこれまで見落とされてきた事実を拾い上げ、若年者の実態に迫る。

片桐 雅隆 著

認知社会学の構想——カテゴリー・自己・社会

四六判上製／254頁
2,530円／2006年 国
978-4-7907-1203-9

社会の消失と社会学の再構築——社会が個人化し、集団や組織など既存概念の自明性が解体しつつあるいま、カテゴリー化の作用に焦点を当てつつ、自己と社会の成り立ちを根本的に問いなおし、社会学理論を鍛えなおす。

恩田 守雄 著

互助社会学——ユイ、モヤイ、テツダイの民俗社会学

A5 判上製／520頁
4,180円／2006年 国
978-4-7907-1198-8

かつて日本の村落社会で多く見られたユイ、モヤイ、テツダイといった互助行為と、それに基づく互助社会について、膨大な歴史・民俗的資料と緻密なフィールドワークによって捉え直し、そこから現代のボランティア社会のあり方を模索する。

佐伯 年詩雄 著

現代スポーツを読む——スポーツ考現学の試み

四六判並製／360頁
2,420円／2006年 国
978-4-7907-1197-1

近代スポーツから現代スポーツへ。その転換の過程で生じた高度化と大衆化に分裂する膨張のベクトル、そしてテクノロジーのイノベーション。現代スポーツに潜む本質的な課題と希望の可能性をスポーツの文化的存在論から探る。

加茂 陽 編

被虐待児童への支援論を学ぶ人のために

四六判並製／304頁
2,200円／2006年 国
978-4-7907-1193-3

子どもを虐待してはならない、絶対に！誰もがそう思っていて、なぜ悲惨な事態が繰り返されるのか。本書は、被虐待児童への支援の理論と実践について具体的なかつ詳細に議論することで、学問としての支援論を学習する方向性を明らかにする。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
ィ

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学
学

歴
史

日
本
文
学
語

外
国
文
学
語
文
学
術

環
境
学
自
然
科
学

教
養
の
選
書
み
ら
い
の
こ
と
は

こ
の
こ
と
は
の
選
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
思
想
叢
書

社
会
学
ベ
シ
ン
ス

セミナー

セミナー

学ぶ人

政法 治 律	三浦 耕吉郎 編	
	構造的差別のソシオグラフィ——社会を書く／差別を解く	
経 済	A5判上製／348頁 3,960円／2006年 図 978-4-7907-1182-7	
	人が差別をするのではない、人の置かれた社会的立場性が差別をなさしめるのである——社会において人びとが互いに取り結ぶ複雑な関係性を仔細に観察しつつ記述することで、これまで社会学的認識から洩れ落ちてきた〈関係性の間隙〉を活写する。	
社 会	進藤 雄三 著	
	近代性論再考——パーソンズ理論の射程	
メ デ ィ ア コ ミ ュ ニ カ ー	四六判並製／250頁 2,200円／2006年 図 978-4-7907-1180-3	
	「近代性の理論家」としてのパーソンズの業績の総体と、その再解釈のための見取り図を提示し、緻密なテキストクリティークを介することにより、ポストモダンの知的状況におけるパーソンズ社会理論の持つ意味を解き明かし、その可能性を探る。	
人 類 学	平 英美・中河 伸俊 編	
	〔新版〕構築主義の社会学——実在論争を超えて	
教 育	四六判並製／380頁 2,530円／2006年 図 978-4-7907-1177-3	
	エンピリカルな構築主義プロジェクトの再興へ——新たな調査研究の実例を紹介し、エノスメンドロジーやルーマンとの対話を手がかりに、構築主義論争の決着を提示する。最新の動向を踏まえて、構築主義的研究の将来像を探る、待望の新版。	
心 理	岩崎 信彦・廳 茂 編	
	『貨幣の哲学』という作品——ジンメルの価値世界	
宗 哲 思 学	四六判並製／304頁 2,530円／2006年 図 978-4-7907-1170-4	
	天性の重層的・複眼的視点による自在な語り口により、極めて難解、そして真に深い思想的含蓄をもつとされる『貨幣の哲学』の解説という難業に、思想史的及び受容史的コンテクスト論を組み入れ取り組んだ、現代ジンメル研究者による貴重な成果。	
歴 史	細谷 昌志 編	
	異文化コミュニケーションを学ぶ人のために	
日 本 文 学	四六判並製／296頁 2,530円／2006年 978-4-7907-1163-6	
	グローバル化が進む一方で言語や宗教、民族性に根ざした地域研究が欠かせない今日、多様な異文化接触の具体的・個別的事例を比較探究することにより、外国語教育・研究の目的である「異文化インターフェイスする能力」の基盤を明らかにする。	
外 国 語 学	北澤 裕 著	
	視覚とヴァーチャルな世界——コロンブスからポストヒューマンへ	
環 境 学	四六判上製／356頁 2,420円／2005年 図 978-4-7907-1141-4	
	絵画からサイバースペースまで視覚社会発展の歴史的経緯を追い、見ることの意味の変遷を探る。われわれの眼は何を見てきたのか。ヴァーチャルな世界が一人歩きする現代において、何を見ているのか。ヴィジュアル・スタディーズの緒たる一冊。	
教 養 書	上杉 富之 編	
	現代生殖医療——社会科学からのアプローチ	
こ の し よ の 書	四六判並製／282頁 2,420円／2005年 図 978-4-7907-1131-5	
	「生殖革命」を捉え直す——「試験管ベビー」の誕生から四半世紀。先端的な生殖医療がもたらす諸問題を俯瞰し、それが社会や文化におよぼす影響について医学・法学・社会学・人類学・ジェンダー研究など、学際的・超領域的な視点から再検討する。	
日 常 学	河原 和枝 著	
	日常からの文化社会学——私らしさの神話	
世 界 思 想 書	四六判上製／274頁 1,980円／2005年 図 978-4-7907-1120-9	
	ファッション、通販、フィットネス、女性スポーツといった現代の身近な文化現象から、大正・昭和初期の文学における「童心」やユートピア思想、そして「怪人二十面相」の魅力までを、日常感覚と自己省察に根ざすしなやかな視線でとらえる。	
社 会 学	橋本 茂 著	
	交換の社会学——G・C・ホーマンズの社会行動論	
ベ ー ジ ン グ ス	四六判並製／294頁 2,530円／2005年 図 978-4-7907-1112-4	
	社会構造はいかにして発現・維持・革新されるのか——社会行動を報酬あるいはコストの交換としてとらえ、小集団の水準から社会の成り立つしくみを体系的に説明するホーマンズの交換理論を平明かつ明晰に読み解いた好著。ミクロ社会学への誘い。	

中村 治 著

あのころ 京都の暮らし——写真が語る百年の暮らしの変化

A5 判並製／166頁
1,650円／2004年 国
978-4-7907-1095-0

現代は物があふれ、ずいぶん便利になったが、自然環境や地域共同体との関わり方、子どもたちの世界はすっかり様変わりし、さまざまな問題が生じている。京都の人々が保存していた古写真約60枚を、そうした問題について考える材料として提供する。

瀬沼 克彰・園田 碩哉 編／日本余暇学会 監修

学ぶ人

余暇学を学ぶ人のために

四六判並製／244頁
2,090円／2004年 国
978-4-7907-1090-5

“近代の後（ポストモダン）”の生活と社会が模索される中、あらためて日本の余暇の伝統を回復し、労働と余暇の新しい関係を構築する＝ライフスタイルをデザインし直すことが求められている——この大きな課題に向けた「総合的余暇学」の試み。

関口 英里 著

現代日本の消費空間——文化の仕掛けを読み解く

四六判並製／226頁
1,760円／2004年 国
978-4-7907-1084-4

日本において消費社会が成熟した1980年代に注目し、クリスマス・バレンタインデー・ハロウィン、東京ディズニーランド、百貨店屋上、ホテルなど、都市の文化装置から日本におけるアメリカ文化の受容と再構築をめぐるメカニズムを検証する。

中 久郎 編

戦後日本のなかの「戦争」

A5 判並製／364頁
3,080円／2004年 国
978-4-7907-1034-9

「人間にとって戦争とは何か」——戦後の「平和」な日本社会にあって、様々に語り継がれ想起もされ、また体験の思想化や文学化などによって戦後の社会のなかに持続されてきた「戦争」を社会学の視座から問い直したユニークな論集。

黄 順姫 編

W 杯サッカーの熱狂と遺産——2002年日韓ワールドカップを巡って

A5 判並製／202頁
1,980円／2003年 国
978-4-7907-1008-4

全世界をつつんだ興奮——日韓 W 杯共催は、双方の社会の何を映し出し、何を残したのか。余韻さめやらぬ2002年 FIFA ワールドカップの遺産に、身体文化、メディア、時空間の政治学などの視点から、日韓の社会学者たちが挑戦する。

岡村 圭子 著

セミナー

グローバル社会の異文化論——記号の流れと文化単位

四六判並製／224頁
1,980円／2003年 国
978-4-7907-1008-0

グローバル化は文化の多様性を踏みにじるだけなのか。さまざまな差異を抱えながらも、いかにして文化はひとつのユニットとして成立しているのか。新たな異文化論を求めて、これらの問題に社会情報学的な視座から迫る。

小谷 敏 編

セミナー

子ども論を読む

四六判並製／288頁
2,200円／2003年 国
978-4-7907-0999-2

理想と権威の崩壊。果てしなく進む私化と家族幻想の肥大、そして成熟の喪失。様々な分野の知性が、「山びこ学校」から教育改革論議まで子ども言説の変容をたどりつづつ、戦後日本の実相を浮かび上がらせる。子どもたちの行方を問う野心的論集。

松田 恵示 著

おもちゃと遊びのリアル——「おもちゃ王国」の現象学

A5 判並製／240頁
2,090円／2003年 国
978-4-7907-0997-8

おもちゃの魅力とは何か。おもちゃで遊ぶとは何なのか。おもちゃと人をつなぐ空間とまなざしの意味を探り、「人間」「モノ」「遊び」「社会」をめぐる関係性を描き出した、「おもちゃ王国」というテーマパークにおけるフィールドノート。

上田 正昭 監修／芳賀 徹・富士谷 あつ子 編

学ぶ人

京都学を学ぶ人のために

四六判並製／352頁
2,530円／2002年 国
978-4-7907-0959-6

古都・京都に、ふたたび文化空間として的高密度性＝都市としての生の統一性を回復するために——この都の生成の歴史と文化・産業の展開の歴史を「比較」の視野で展望しなおす。世界に開かれ、都市の学芸復興に新たな寄与をなすことをめざす。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
エ
ン
ダ
ー

シ
エ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学
学

歴
史

日
本
文
学
日
本
語

外
国
文
学
外
国
語
芸
術

環
境
科
学
自
然
科
学

環
境
科
学

教
養
の
選
書

こ
の
と
の
み
ら
い
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
思
想
叢
書

社
会
学
ベ
シ
ン
ス

22

A. L. ストラウス 著／片桐 雅隆 監訳

セミナー

鏡と仮面——アイデンティティの社会心理学

四六判並製／250頁
2,420円／2001年 国
978-4-7907-0864-3

人は、他者という鏡に映った自己を見つ、仮面を着脱する。アイデンティティ・言語・メンバーシップ・記憶・歴史などをキーワードとする構築主義的なシンボリック相互行為論の展開。本書は、ストラウス社会心理学の先駆的名著である。

井上 俊 著

スポーツと芸術の社会学

四六判上製／208頁
2,090円／2000年 国
978-4-7907-0846-9

「芸術」型文化としてのスポーツ——多様化していくスポーツのなかに潜む社会的・文化的意味を問いかけながら、スポーツ・武道・芸術・物語をつなぐユニークな視点に立つ、文化社会学の可能性を探る試み。スポーツと芸術との類縁性とは？

大村 英昭 編

学ぶ人

臨床社会学を学ぶ人のために

四六判並製／280頁
1,980円／2000年 国
978-4-7907-0823-0

「今、ここ」の生活世界において、誰もが日々体験している具体的な現場、個人的な経験に即した、実践的な社会学としての臨床社会学の目が、いま求められている。医療・家族・宗教・教育などへのさまざまなアプローチの仕方を紹介する。

A. R. ホックシールド 著／石川 准・室伏 亜希 訳

管理される心——感情が商品になるとき

A5 判上製／338頁
3,190円／2000年 国
978-4-7907-0803-2

乗客に微笑む客室乗務員。債務者の恐怖を煽る集金人。彼らは肉体労働者や頭脳労働者であるまに感情労働者である。丹念なインタビューをもとに、感情を売り買いする時代の「心」のあり方を探究する。感情社会学のバイブル、ここに完訳。

小笠原 真 著

セミナー

日本社会学史への誘い

四六判並製／300頁
2,750円／2000年 国
978-4-7907-0800-1

日本社会学の歴史的発展を、フェノロサをプロローグに置き、米田庄太郎、高田保馬、戸田貞三、松本潤一郎、鈴木栄太郎、有賀喜左衛門、新明正道の順にとり上げ、彼らの独創的な研究業績を簡明に紹介する。社会学を学ぶ人のための必読の書。

阪本 俊生 著

セミナー

プライバシーのドラマトゥルギー——フィクション・秘密・個人の神話

四六判並製／308頁
2,420円／1999年 国
978-4-7907-0780-6

個人をフィクション化しようとする社会と、それに抵抗する個人とのあいだに交わされる果てしなき闘争のドラマトゥルギー。ゴフマン、ベイトソンを援用し、侵害のまなざしという視点からプライバシーの意識と感情を徹底的に解明する。

進藤 雄三・黒田 浩一郎 編

学ぶ人

医療社会学を学ぶ人のために

四六判並製／320頁
2,420円／1999年 国
978-4-7907-0777-6

現代医療を社会学はどう捉えるのか——基礎的知識の提供のみならず、その理論的、実践的な可能性の追求を試みる最新の成果をも収録。保健や医療をめぐる現象への社会学独自のアプローチを目指して編まれた、本邦初のスタンダード・テキスト。

伊奈 正人 著

セミナー

サブカルチャーの社会学

四六判並製／264頁
2,090円／1999年 国
978-4-7907-0773-8

「サブカルチャーのサブカルチャー」という視点から、「老人」「障害者」「女性」「外国人」「イナカモノ」などを排除する「サブカルチャー」の「暗黙の前提」を照射し、「バリアフリーなサブカルチャー」の可能性を描き出す。

内海 成治・入江 幸男・水野 義之 編

学ぶ人

ボランティア学を学ぶ人のために

四六判並製／304頁
2,420円／1999年 国
978-4-7907-0772-1

阪神・淡路大震災を機にボランティア活動は身近なものとなった。本書は、災害救援だけでなく、社会福祉、開発支援等きわめて多岐にわたるボランティア活動の全般について、その思想的背景、現状、動向、課題を示し、将来の方向性を提案する。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学
外
国
語

環
境
学
自
然
科
学

環
境
学

教
養
選
書

こ
の
世
の
み
ら
い
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
思
想
叢
書

社
会
学
ベ
シ
ン
ス

政法 治律	岡原 正幸 著		セミナー
	ホモ・アフェクトス——感情社会的に自己表現する		
経 済	四六判並製／292頁 2,530円／1998年 国 978-4-7907-0736-3	歓喜・悲嘆・憎悪・羞恥・自尊・感謝・侮蔑・恐怖・憐憫…感情を伝える、パンク＝ダダの社会学的実験。抑圧的感情管理を越えて、表現されない感情に声を与え、そこに力を吹き込み、自律した感情生活を自分の手で築きあげたい人々のために。	
社 会	黄 順姬 著		
マ ス コ ミ ニ ア	日本のエリート高校——学校文化と同窓会の社会史		
ジ ェ ン ダ ー	A5 判上製／276頁 3,080円／1998年 978-4-7907-0730-1	学校文化への新たな視点を導入し、福岡県下の名門高校を対象とした11年間にもわたる調査に基づいて、エリートの身体文化が形成・変革・継承される過程をエスノグラフィの手法で描き出す。韓国日本学会賞（学術賞）受賞。	
人 類 学	日本スポーツ社会学会 編		
教 育	変容する現代社会とスポーツ		
心 理	A5 判並製／276頁 2,750円／1998年 国 978-4-7907-0723-3	スポーツは世界を変える——政治・経済・文化など、あらゆるものがグローバル化するなかで、「スポーツ」の意味が再び問われはじめた。世界各国の第一線研究者たちが京都に集い、熱く語ったスポーツの行方とは。	
宗 教 哲 学	柿本 昭人・嶋守 さやか 著		セミナー
歴 史	社会の実存と存在——汝を傷つけた槍だけが汝の傷を癒す		
日 本 文 学	四六判並製／222頁 2,090円／1998年 978-4-7907-0707-3	社会学——それは社会の実存不可能性を隠蔽するものである。社会学が自明の前提とする「社会」なるものは、根拠を持って〈実存〉せず、いかなる根拠も持たない空虚な縁取りとしてのみ〈存在〉する。学としての社会学の存立を問う意欲的試み。	
外 国 文 学	宮原 浩二郎・荻野 昌弘 編		セミナー
環 境 学	変身の社会学		
環 境 学	四六判並製／264頁 2,530円／1997年 国 978-4-7907-0682-3	詐欺師・フィクション中のヒーロー・主婦・躁鬱の人——周囲を驚かす突然の変わり身を分析し、新しい存在論としての社会学を提示する。同時に、いささか硬直化した感のある社会学そのものの変身をも志す。	
環 境 学	伊東 俊太郎 編		学ぶ人
環 境 学	比較文明学を学ぶ人のために		
環 境 学	四六判並製／318頁 2,420円／1997年 978-4-7907-0655-7	21世紀に向けて希望の未来を語るためには、地球上に存在する諸文明の相互理解を進め自然との共生を図る叡知が求められる。本書は、人類のゆくえを視野に入れた巨視的な観点から、比較文明学という新しい「知」の形成と役割について考える。	
環 境 学	J. リーヴァー 著／亀山 佳明・西山 けい子 訳		セミナー
環 境 学	サッカー狂の社会学——ブラジルの社会とスポーツ		
環 境 学	四六判並製／322頁 2,456円／1996年 国 978-4-7907-0611-3	世界最大のスポーツ・スペクタクル・イベントといわれるワールドカップ（W杯）を四度にわたって制覇したブラジル。なぜブラジルのサッカーはこんなに強いのだろうか。この疑問に「社会学」という視点から応えようとした貴重な一冊。	
環 境 学	藤本 和貴夫 編		学ぶ人
環 境 学	ロシア学を学ぶ人のために		
環 境 学	四六判並製／284頁 2,082円／1995年 国 978-4-7907-0583-3	新生ロシアとの率直な対話が求められている。ロシアが現在どのような状況におかれており、またどのような選択をしようとしているのか。本書は、隣国ロシアを考察するための知の体系としての「ロシア学」の構築を試みるものである。	
環 境 学	山口 修・齋藤 和枝 編		セミナー
環 境 学	比較文化論——異文化の理解		
環 境 学	四六判並製／270頁 2,082円／1995年 978-4-7907-0569-7	言語、音楽、遊び、芸能、宗教、都市、女性史といったテーマを手がかりに、人間の文化がいかに多様性にみちているか、文化がいかにさまざまに解釈し得るか、また比較文化論がいかに多彩な展開の可能性を秘めているかを明らかにする。	

松本 通晴・丸木 恵祐 編

ゼミナール

都市移住の社会学

四六判並製／260頁
2,082円／1994年 図
978-4-7907-0508-6

現代日本の変貌期に焦点をあて、地方村落出身者の出郷の論理と心情、都市への定着過程、人口の還流あるいは帰郷現象について、村落・都市の構造連関の社会学的視角から捉える我が国において初めての組織的な研究成果である。

メディア・マスコミ



デビッド・バックingham 著／水越 伸 監訳／時津 啓・砂川 誠司 訳

（電子版あり）

メディア教育宣言——デジタル社会をどう生きるか

四六判並製／160頁
1,980円／2023年
978-4-7907-1767-6

メディア・リテラシーをアップデートせよ！「スマホの悪影響から子供を守る」は正解じゃない。ソーシャル・メディア、フェイクニュース、プラットフォーム資本主義の時代にこそ批判的思考が必要になる。新時代の思考と実践力を身につける。

林 香里・田中 東子 編

（電子版あり）

ジェンダーで学ぶメディア論

四六判並製／264頁
2,310円／2023年
978-4-7907-1778-2

メディアについて考えるとき、「ジェンダー」は最適な拡大鏡になる。メディアの思想、インターネット、マスメディアとジャーナリズム、メディア文化——メディア論の基礎をジェンダーと多様性の視点から学ぶ、これからの入門書。

三砂 慶明 編

（電子版あり）

本屋という仕事

四六判並製／216頁
1,870円／2022年
978-4-7907-1761-6

本に込められた熱が読者を温める。本を囲んで人は集まる。本屋は焚き火である。本棚の耕し方、お客様との対話、マネジメント…。仕事に何を求め、個性をどう生かし、どんな仕事をつくっているのか。全国18人の書店員が語る、働くことと生きること。

木下 浩一 著

（電子版あり）

テレビから学んだ時代——商業教育局のクイズ・洋画・ニュースショー

四六判上製／248頁
3,520円／2021年
978-4-7907-1747-4

テレビ朝日・毎日放送テレビ・読売テレビは、かつて教育テレビだった。本放送開始後ほどなく、強い批判にさらされていた1950年代の民放テレビ。新たに開局する教育テレビに課せられた課題とは何だったのか。番組づくりの“苦闘”を活写する。

浪田 陽子・福岡 良明 編

はじめてのメディア研究〔第2版〕——「基礎知識」から「テーマの見つけ方」まで

A5 判並製／288頁
2,640円／2021年
978-4-7907-1747-8

メディア研究の基本的事柄を押さえた上で、具体的な研究例を幅広く紹介。初めて学ぶ人からゼミや卒業論文の研究テーマを探す人まで、基礎的事項を確認し応用へとつなげるヒントを提示——社会状況の変化を踏まえ内容を再考・精選、リニューアルした第2版。

石田 佐恵子・岡井 崇之 編

基礎ゼミ（電子版あり）

基礎ゼミ メディアスタディーズ

A5 判並製／212頁
2,090円／2020年
978-4-7907-1741-6

ネットは「みんなの声」を伝えているか。ジェンダー表現は炎上しがちか。さまざまな問いと適切な方法を通じ、メディアの特性や社会の仕組みにせまる。自分で読むのはもちろん、調べ、考えたことを書き、話すことで、研究のコツがつかめる入門書。

渡辺 武達・金山 勉・野原 仁 編

メディア用語基本事典〔第2版〕

四六判並製／368頁
2,970円／2019年
978-4-7907-1732-4

メディアを使いこなす情報発信する基礎知識としてのメディア・リテラシーを身につけていただくためにメディアとジャーナリズム、コミュニケーションの実状と研究動向を今日の視点でとらえた総合的かつハンディな、読む事典——好評書の全面改訂版。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学
思
想

歴
史

日
本
文
学
日
本
語

外
国
語
文
学
芸
術

環
境
科
学
自
然
科
学

こ
の
と
の
み
ら
い
の
書

教
養
の
選
書

こ
の
と
の
み
ら
い
の
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
学
叢
書

社
会
学
ベ
シ
ン
グ
ス

政治 法律	逸村 裕・田窪 直規・原田 隆史 編		学ぶ人
経 済	図書館情報学を学ぶ人のために		
社 会	四六判並製／256頁 2,640円／2017年 978-4-7907-1695-2	人類の知識を、本という形で今に伝える図書館。未来に伝える知識のカタチはデジタル時代にどう変容するのか？ 図書館情報学を「知識の伝達と共有」という視座で新たに捉え直し、その魅力を多面的に解説した、まったく新しい入門書。	
メディア コミュニケーション	津田 正太郎 著	メディアは社会を変えるのか——メディア社会論入門	
ジェンダー	A5 判並製／266頁 2,750円／2016年 978-4-7907-1680-8	戦争、都市、原発など、メディアと社会の様々な接点と、マスコミュニケーション理論から、複雑な現代社会のとらえ方をわかりやすくレクチャー。「学問」としてのメディア研究のおもしろさをまっすぐに伝える入門書。	
人類学	富田 英典 編	ポスト・モバイル社会——セカンドオフラインの時代へ	
教育	A5 判並製／294頁 3,960円／2016年 978-4-7907-1677-8	スマート化がもたらす「オフラインの再発見」——モバイルメディアの登場は、人々の暮らしに歴史的変化をもたらした。スマートフォンの普及により、今、再び大転換期が訪れている。第一線の研究者がモバイル社会の過去・現在・未来を考える。	
心理	渡辺 武達・田口 哲也・吉澤 健吉 編	メディア学の現在〔新訂第2版〕	
宗 教 思 想 哲 学	四六判並製／312頁 2,530円／2015年 国 978-4-7907-1661-7	私たちの社会観の形成にきわめて大きな役割を果たすメディア——激変しつつある現代社会においてその占める位置を認識し、学問的立場からメディアの世界にかかわろう、知ろうとする若い人たちにに向けて。理論的、かつ実証的な入門書。	
歴 史	伊藤 守・岡井 崇之 編	ニュース空間の社会学——不安と危機をめぐる現代メディア論	
日本 文学	A5 判並製／294頁 2,750円／2015年 978-4-7907-1651-8	モバイルメディアの発達により遍在化・断片化するニュースが、様々な「危機」を伝えるたびに、私たちは漠然とした「不安」を抱く。世界的な経済危機や3.11を経て、今、メディアと私たちの関係はどうなっているのか？ 多様な視点から明らかにする。	
外国 文学	伊藤 明己 著	メディアとコミュニケーションの文化史	
環 境 学	A5 判並製／272頁 2,530円／2014年 978-4-7907-1628-0	メソポタミア文明の文字から現代のインターネットまで、人間が生み出した様々なメディアは、コミュニケーションを広げ、豊かな文化を形成してきた。その歴史をわかりやすく解説し、メディア論の視点から、よりよい未来の在り方を考える入門書。	
教 養 書	日高 勝之 著	昭和ノスタルジアとは何か——記憶とラディカル・デモクラシーのメディア学	
こ れ ぞ の こ の こ の	四六判上製／536頁 4,070円／2014年 978-4-7907-1626-6	映画、テレビ、音楽、雑誌等に現れる《昭和ノスタルジー》は、単純な懐古にすぎないのか。メディア表象や言説の詳細な検証を通して通説に挑み、背後に隠れたモダンティへの抵抗、戦後の「光」と「闇」を炙り出す斬新な戦後文化論の誕生。	
日 常 を 拓 く 知	金山 勉・津田 正夫 編	ネット時代のパブリック・アクセス	
世 界 思 想 書	四六判並製／342頁 2,420円／2011年 978-4-7907-1516-0	市民メディアの求めるもの、社会的役割とはなにか。市民・住民・NPOによる“市民メディア”のパワーが世界を刻々変えていく。地域の主体である市民誰もが発信しつながりあう、21世紀のコミュニケーションを創り出す試み。	
社 会 学	高野 光平・難波 功士 編	テレビ・コマーシャルの考古学——昭和30年代のメディアと文化	
ベ ジ ン ス	A5 判上製／244頁 3,300円／2010年 国 978-4-7907-1483-5	これまで眠っていた9000本余の初期CMを掘り起こし、記憶ではなく映像資料から戦後社会のリアリティに迫る。CM論に新たな展開をもたらすと同時に、戦後日本文化の歴史と現在を見直し、ステレオタイプな昭和イメージに一石を投じる一冊。	

伊藤 高史 著

ゼミナール

ジャーナリズムの政治社会学——報道が社会を動かすメカニズム

四六判並製／264頁
2,420円／2010年 国
978-4-7907-1468-2

薬害エイズ事件、桶川ストーカー事件、栃木リンチ殺人事件、ウォーターゲート事件——メディアが社会を動かすとき、その背景にジャーナリストの「熱い闘争」がある。報道の構造と力を、新たな理論モデルの構築を通じて描きだす気鋭の注目作。

大城 房美・一木 順・本浜 秀彦 編

マンガは越境する！

四六判並製／286頁
2,420円／2010年 国
978-4-7907-1461-3

マンガという日本製ポピュラー文化は、いまや国、言語、文化を超え、“MANGA”として世界中で親しまれている。グローバル／ローカル双方の視点から越境的メディアとしての可能性を探る、グローバル化時代の新たなマンガ論！

難波 功士 著

広告のクロノロジー——マスメディアの世紀を超えて

四六判並製／296頁
2,200円／2010年 国
978-4-7907-1447-7

デジタル化、ネットワーク化、モバイル化——メディア環境が激変するなか、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌のマス4媒体上の広告は朽ちつつあるのか。過去と現在を同時に見据え、未来への胎動を探る、世紀を超えた年代記。

高井 昌史・谷本 奈穂 編

メディア文化を社会学する——歴史・ジェンダー・ナショナリティ

四六判並製／320頁
2,200円／2009年 国
978-4-7907-1445-3

「社会学するとは何か What is Doing-Sociology?」。メディアを通して様々な「常識」や「記憶」が創られている。身近な文化現象を、理論／歴史／流行現象の視角から再考し、社会学を「実践」することの面白さと奥深さを開示する。

柳澤 伸司 著

新聞教育の原点——幕末・明治から占領期日本のジャーナリズムと教育

A5 判上製／440頁
4,180円／2009年 国
978-4-7907-1407-1

新聞ジャーナリズム黎明期からの新聞・雑誌、啓蒙書、教科書等にみられる先見者たちの思想を辿りながら、新聞と教育の関係、NIE運動の原点と展開を明らかにする。第3回内川芳美記念マス・コミュニケーション学会賞受賞。

藤田 真文・岡井 崇之 編

プロセスが見えるメディア分析入門——コンテンツから日常を問い直す

A5 判並製／232頁
2,530円／2009年 国
978-4-7907-1405-7

見ただけで、いいのか？——テレビ番組、CM、インターネットの掲示板、雑誌など、現代の多様なメディアのメッセージを自分で読み解くための実践的入門書。メディア・コンテンツの扱い方から理論まで、実際の授業に沿って丁寧に解説する。

井川 充雄 著

戦後新興紙とGHQ——新聞用紙をめぐる攻防

A5 判上製／326頁
3,520円／2008年 国
978-4-7907-1368-5

戦後日本の新聞用紙割当制度および新興紙の盛衰に着目し、GHQ内部の問題、日本政府とGHQの関係、新聞の対応といった諸点から、占領史全般に関わる論点についても論及した労作。第2回内川芳美記念マス・コミュニケーション学会賞受賞。

阿部 潔 著

スポーツの魅惑とメディアの誘惑——身体／国家のカルチュラル・スタディーズ

四六判上製／292頁
2,530円／2008年 国
978-4-7907-1347-0

グローバルな祝祭としてのオリンピックやW杯。そこに働くポリティクスを、多様な事例・場面・テキストに内在しつつ徹底的に解剖し、スポーツする身体への衝撃、ナショナルなものの表象をトータルにとらえる。新たな語りを志す、気鋭の最新論集。

影山 貴彦 著

テレビのゆくえ——メディアエンターテインメントの流儀

四六判並製／164頁
1,650円／2008年 国
978-4-7907-1338-8

大宅壮一からは「電気紙芝居」と揶揄され肩身の狭い思いをしながらも、ずっと社会に君臨し続けてきたテレビ。その何かが変わり始めている。いまや相当に元気を失いかけているテレビが再びポジティブな光を放つようになる、その可能性を信じて。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
カ
ー

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学
思
想

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学
文
学

環
境
学
自
然
科
学

こ
れ
ぞ
こ
の
こ
ろ

こ
れ
ぞ
こ
の
こ
ろ

こ
れ
ぞ
こ
の
こ
ろ

こ
れ
ぞ
こ
の
こ
ろ

こ
れ
ぞ
こ
の
こ
ろ

こ
れ
ぞ
こ
の
こ
ろ

こ
れ
ぞ
こ
の
こ
ろ

政治 法律	窪田 守弘 編	学ぶ人
経 済	映画で日本文化を学ぶ人のために 四六判並製／352頁 2,530円／2007年 978-4-7907-1290-9	日本文化という視点から日本映画を分析した本書は、娯楽性とその教育性に着目して、鑑賞法を会得し、楽しみながら日本文化や日本人の生き方・考え方を知り、映画に関心のある人のみならず語学教育に活用したいと思う人々に良き案内書となる。
社 会	大石 裕 編	ゼミナール
メディア コミュニケーション	ジャーナリズムと権力 四六判並製／242頁 2,090円／2006年 978-4-7907-1227-5	ジャーナリズムに引きつけて「権力」という概念が持つ意味を再検討し、「権力を行使するジャーナリズム／権力を行使されるジャーナリズム」という二つの切り口からジャーナリズムをめぐる諸問題に迫る。従来の批判を踏まえ新たな展開を試みる。
ジェンダー	福岡 良明 著	ゼミナール
人類学 民俗学	「反戦」のメディア史——戦後日本における世論と輿論の拮抗 四六判並製／394頁 2,530円／2006年 978-4-7907-1166-4	「反戦」に国民は何を読み込んだのか。「原爆」と「沖縄戦」の各語りの相違や変化。映画と書籍を横断する比較メディア論の視点から、「反戦」の位相差と変容を追究した画期的戦後世論史。第1回内川芳美記念マス・コミュニケーション学会賞受賞。
教育	伊藤 守 編	
心理	テレビニュースの社会学——マルチモダリティ分析の実践 A5 判並製／264頁 2,530円／2006年 978-4-7907-1181-0	テロップ、画像、音声、音響、キャスターをとらえるカメラ・アングルなど、多様なモードから作られたテレビのニュース番組。そのメディアとしての特質を見なおし、ディスコース分析による新たなニュース研究の枠組みと方法を提示する。
宗 教 哲 学	別府 三奈子 著	
歴 史	ジャーナリズムの起源 A5 判上製／456頁 6,076円／2006年 国 978-4-7907-1166-7	エスカレートしていく商業主義。国防という名の国家言論統制。20世紀初頭の米国では、言論の自由の本義を守りジャーナリズムの核を育むための死闘が繰り返され、日本では戦前に頓挫したプロフェッションの理念と大胆な社会制度が確立した。
外国語 芸術	山中 茂樹 著	
環境 科学	震災とメディア——復興報道の視点 四六判並製／244頁 1,760円／2005年 国 978-4-7907-1023-8	阪神淡路大震災から10年、被災地は復興したのだろうか。東京と地方、防災と復興の垣根を克服し、各地の災害の教訓を共有し、市民・学者と協働した主体的な提言報道をめざす。災害をテーマに取材を続けてきた著者による、新しい災害メディア論。
教養 書	田村 紀雄 編	学ぶ人
子どもの 文芸	地域メディアを学ぶ人のために 四六判並製／296頁 1,980円／2003年 国 978-4-7907-1023-8	いま、マス・メディアとは異なる、「市民の参加する、市民のつくるメディア」のあり方に注目が集まっている。地域の小さな新聞、CATV、FM放送、広告……地域社会空間に育つ新しいメディアの現在を追ひ、地域メディアのあり方を考える。
日常を 拓く知	橋本 純一 編	ゼミナール
世界思想 書	現代メディアスポーツ論 四六判並製／320頁 2,530円／2002年 国 978-4-7907-0968-8	膨張、拡散、疾走するメディアスポーツ——オリンピック、パラリンピック、ワールドカップなど、メディアによって劇的に演出されるスポーツに注目。プロセス論、テクスト論、激変するメディア空間における権力の位相を捉え直す諸論考を収める。
社会 学	竹山 昭子 著	
ベジタリアン	ラジオの時代——ラジオは茶の間の主役だった 四六判上製／354頁 3,080円／2002年 978-4-7907-0941-1	大正の終わりに昭和の初め、放送といえばラジオを意味した「ラジオの時代」があった。報時システム、天皇報道、オリンピック放送、ラジオドラマなど、ラジオ黎明期を特色づける番組を、多彩な資料から再検討する。

津金澤 聰廣 編著

戦後日本のメディア・イベント——[1945-1960年]

A5 判上製/368頁
4,180円/2002年 国
978-4-7907-0917-6

「戦後」という名の時代に、日本の再生・復興へと向けてさまざまなイベントが仕掛けられ演出されていった。その中心となっていたメディアの役割に焦点を当てて考察する。『戦時期日本のメディア・イベント』に次ぐ1冊。

正村 俊之 著

コミュニケーション・メディア——分離と結合の力学

四六判上製/234頁
2,420円/2001年 国
978-4-7907-0900-8

人々は、貨幣・マスメディア・電子メディアや真理・規範・権力・影響力などが媒介する社会的コミュニケーションによって結びつくだけでなく、同時に分離している。そのダイナミクスをメディア論的に解明したユニークな論考集。

鈴木 みどり 編

メディア・リテラシーの現在と未来

A5 判並製/280頁
2,530円/2001年 国
978-4-7907-0896-4

メディアが構成し提示する「現実」を多面的かつ批判的に読み解く力を持たなければ、今日の社会にあって民主主義に基づく自らの権利を行使しつつ生きてゆくことさえ困難である。メディア社会における民主主義の根幹に関わる問題として考える。

渡辺 潤 著

アイデンティティの音楽——メディア・若者・ポピュラー文化

四六判上製/324頁
2,640円/2000年 国
978-4-7907-0853-7

ロックは20世紀のサウンドトラック——メディアの一世紀、若者の半世紀、リズムが社会を動かした！ ロック音楽を通して20世紀後半の時代精神や社会的背景を問い直し、ポピュラーの意味を考察する。ロック世代の社会学者による意欲作。

高島 國男 著

エチュードの青春志

A5 判上製/250頁
1,430円/1998年
978-4-7907-0734-9

ある出版人の戦中の若き日のドキュメント——人生の意味を真剣に考え続けた一学徒の、戦争での死の問題を無理に自己に納得させようとした戯曲や敗戦前後の人生観・世界観の日記などの記録。大戦中の証言であり当社創業者の出版五十年「志」の原点。

ジェンダー



天童 睦子 著

ゼロからはじめる女性学——ジェンダーで読むライフワーク論

四六判並製/136頁
1,980円/2023年
978-4-7907-1785-0

読んだら、霧が晴れる——女性学・ジェンダー論・フェミニズムの重要ポイントをおさえたい人のためのガイドブック。足元の性支配や性差別について、文化や制度、歴史、データを見ながら考える。キーワード解説・ブックガイド・索引付き。

チェ・スンボム 著/金 みんじょん 訳

私は男でフェミニストです

四六判並製/196頁
1,870円/2021年
978-4-7907-1764-5

「こんな男性フェミニストの本が生まれたとは感激だ。女にも男にも、誰にも、被害者にも加害者にも、そして傍観者にも、ならないでほしい」上野千鶴子さん推薦&解説。韓国の男子高校の、30代男性教師による、生きるための「男フェミ」宣言。

上野 加代子 著

国境を越えるアジアの家事労働者——女性たちの生活戦略〔オンデマンド版〕

四六判並製/264頁
2,310円/2016年
978-4-7907-1691-4

国家・エージェンシー・雇用者の収奪と抑圧に抗して、悩みながらも、したたかに、軽やかに——シンガポールで働くインドネシア・フィリピン女性を中心に、人生を切り開くために奮闘を続ける姿を、10年にわたる調査から鮮やかに描き出す。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ

シ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学
教
学

歴
史

日
本
文
学
日
本
語

外
国
文
学
外
国
語
芸
術

環
境
学
自
然
科
学

教
養
の
選
書
読
み
の
こ
の
と

こ
の
と
の
こ
の
と

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
現
代
学
書

社
会
学
ベ
シ
ン
ス

ゼミナール

政治 法律	井上 摩耶子 編 フェミニストカウンセリングの実践	
経済	四六判並製／336頁 2,530円／2010年 978-4-7907-1496-5	ジェンダー、男女共同参画の視点に立つ心理カウンセリング＝フェミニストカウンセリングとは。日本における歴史と理論・方法論を体系的にまとめる初めてのテキスト。女性支援の現場、心理・福祉などの対人援助職にある人、めざす人必読の書。
社会	中村 彰 著 男性の「生き方」再考——メンズリブからの提唱	
メディア コミュニケーション	四六判並製／214頁 1,980円／2005年 978-4-7907-1145-2	仕事、地域、家庭、趣味……多様な暮らしを欲張りに生きること、メンズリブを通して自分の姿が見えてくる。更年期、ドメスティック・バイオレンスなど、さまざまな角度から「男性」を照らす。自分らしさを追求する「欲張り人生」のすすめ。
ジェンダー	楠瀬 佳子・三木 草子 編 セミナー	
人文学 民俗学	「わたし」を生きる女たち——伝記で読むその生涯	
教育	四六判並製／288頁 1,980円／2004年 国 978-4-7907-1078-3	女性の自己実現が今よりもずっと難しかった時代に、「わたし」らしく懸命に生きた女たちがいた。すばらしい出会いを力に、逆境のなかで新しい時代を切り拓いた21人のライフストーリーを通して、近代以降の歴史を女性の視点から見なおす。
心理	M. ジャコーパス、E. F. ケラー、S. シャトルワース 編／田間 泰子・美馬 達哉・山本 祥子 監訳 セミナー	
宗 教 思想学	ボディ・ポリティクス——女と科学言説	
歴史	四六判並製／340頁 2,530円／2003年 978-4-7907-0987-9	女性の身体について西洋近代科学（特に医学）がつくりだした言説、それら科学的言説と産業資本主義や白人中産階級など社会経済的要因との密接な関係、そしてその実効的な効果を明らかにする、西洋近代科学の権力の力学についてのエッセイ集。
日本語 日本文学	A. ホール 著／飯田 貴子・吉川 康夫 監訳 フェミニズム・スポーツ・身体	
外国語 外国文学	四六判並製／296頁 2,860円／2001年 国 978-4-7907-0889-6	スポーツのジェンダーポリティクスを分析——スポーツ界のジェンダー・フリーはそれほど容易に手に入るであろうか。体育教師・スポーツ研究者や学生、スポーツをしている女性たちに向けて、スポーツとジェンダーを巡る言説を読み解く入門書。
環境 自然科学	富士谷 あつ子・伊藤 公雄 監修／日本ジェンダー学会 編 学ぶ人	
環境 自然科学	ジェンダー学を学ぶ人のために	
環境 自然科学	四六判並製／284頁 2,090円／2000年 国 978-4-7907-0802-5	男女両性が互いに対峙／共通する問題を追究し各自の生き方や社会のあり方を変革するためのジェンダー学を目指して、学際的・国際的アプローチを試みる。——Ⅰジェンダー学の可能性・Ⅱ暮らしの中のジェンダー学・Ⅲ社会の中のジェンダー学
環境 自然科学	米田 佐代子・池田 恵美子 編 学ぶ人	
環境 自然科学	『青鞥』を学ぶ人のために	
環境 自然科学	四六判並製／288頁 2,750円／1999年 978-4-7907-0785-1	「時代と青鞥」をキーワードに、歴史的・社会的視点を重視しつつ文学作品にも目を向け、『青鞥』の全体像をとらえる。研究入門等としても役立てていただけるよう、巻末に「青鞥社概則」等の基本的資料、年表、人名・項目解説、文献目録を収載。
日常を 拓く知	人類学・民俗学 	
世界思想社 現代思想書		
社会 ベジナス	相田 豊 著 近刊（電子版あり）	
社会 ベジナス	愛と孤独のフォルクローレ——ボリビア音楽家と生の人類学	
社会 ベジナス	四六判上製／352頁 4,950円／2024年 978-4-7907-1795-9	アンデスアマゾンを往復し、出会った、孤独の思考——南米ボリビアで「新しい音楽」として興隆したフォルクローレ。個人の物語を愛し、他者の音を聴かず、堂々と囁き楽しむ…。共に演奏し、木を伐り、考える中で導かれた、ポスト関係論の人類学。

村津 蘭 著

(電子版あり)

ギニア湾の悪魔——キリスト教系新宗教をめぐる情動と憑依の民族誌

四六判上製／448頁
5,280円／2023年
978-4-7907-1779-9

神と悪魔の憑依は、いかにして現実の〈もの〉になるのか？——苦難を癒し、興隆するアフリカの新宗教。その核心は、モノや情動、環境の中に現れる霊的存在にある。写真や映像、エッセイを交え、霊と呼応する人々の生に迫る、マルチモーダル人類学。

杉田 映理・新本 万里子 編

(電子版あり)

月経の人類学——女子生徒の「生理」と開発支援

A5 判並製／304頁
3,850円／2022年
978-4-7907-1768-3

「生理の貧困」を訴え「生理の平等化」を求める動きは身近な各地で広がっている——本書は月経をめぐる国際開発の動向を整理し、フィールドワークで得た情報から各地の状況を分析、月経対処のローカルな文脈と現状を「今」同時期にとらえる。

仲尾 友貴恵 著

(電子版あり)

不揃いな身体でアフリカを生きる——障害と物ないの都市エスノグラフィ

四六判上製／392頁
3,960円／2022年
978-4-7907-1744-0

福祉制度が実動しないタンザニアで、「ふつう」に働けない障害者たちは、いかに生計を立ててきたのか。植民地期から現在までの彼らの姿を追う。障害学、都市下層研究、地域研究の枠組を越え、路上に「居る」障害者たちの生活世界を描く。

宇田川 彩 著

それでもなおユダヤ人であること——ブエノスアイレスに生きる〈記憶の民〉

A5 判上製／312頁
4,180円／2020年
978-4-7907-1744-7

重いリュックを背負って、しなやかに歩む！ 旧約聖書の時代からディアスポラとして暮らしてきたユダヤ人。居住地に溶け込みながらもユダヤ人であり続けたのはなぜか？ 彼らの現在の暮らしに密着した長期調査から、ユダヤ人の記憶の本質に迫る。

太田 好信・浜本 満 編

メイキング文化人類学〔オンデマンド版〕

四六判並製／324頁
2,090円／2019年
978-4-7907-1735-5

ダーウィン、ボアズ、マリノフスキー、グリオール、ミード、ベネディクト、レヴィ＝ストロース、ターナー、ギアツ、ロザルド夫妻……巨人たちの理論はいつもフィールドから生れてきた。知の立ち上がる瞬間を捉え直す、人類学への熱い招待状！

松村 圭一郎・中川 理・石井 美保 編

(電子版あり)

文化人類学の思考法

四六判並製／224頁
1,980円／2019年
978-4-7907-1733-1

「文化人類学は『これまでのあたりまえ』の外へと出ていくための『思考のギア（装置）』だ。本書はその最先端の道具が一式詰まった心強い『道具箱』だ。こんなに『使える』本は滅多にない」若林恵氏推薦。尾原史和氏による常識を覆すカバー付。

中空 萌 著

(電子版あり)

知的所有権の人類学——現代インドの生物資源をめぐる科学と在来知

A5 判上製／304頁
5,720円／2019年
978-4-7907-1727-0

知識は誰のものか？豊富な薬草資源をもつインドに「知的所有権」という概念が持ち込まれたとき、現地で何が起こるのか。緻密なフィールドワークにもとづき解明。過去の労働への対価ではなく、未来への責任としての所有という概念を提示する、異色の所有論。

田中 雅一 著

誘惑する文化人類学——コンタクト・ゾーンの世界へ

A5 判上製／336頁
4,180円／2018年
978-4-7907-1706-5

暴力、セクシュアリティ、宗教実践、モノなど、一貫して近代理性と対立するテーマに挑み続けてきた著者が、「誘惑」に導かれて新たな領野を拓く。共鳴するコンタクト・ゾーンと身体世界を探究し、全体化に抗する文化人類学を提唱する渾身の力作。

川瀬 慈 著

ストリートの精霊たち

四六判並製／204頁
2,090円／2018年
978-4-7907-1717-1

人類学のフィールドワークのため、エチオピアのゴンダールに居着いた著者。そこは、物売りや物乞い、芸能者たちが息づく奥深い空間だった。著者と彼ら“ストリートの精霊たち”との密な交流から、雑踏の交響詩が聞こえてくる。坂本龍一さん推薦！

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェン
ダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗思哲
教 学

歴
史

日本
文学

外国語
文学

環
境
科学

環
境
科学

教養
書

こ
の
世
界

日常を
拓く知

世界
思想

社会
学

政治 法律	長友 淳 編	グローバル化時代の文化・社会を学ぶ——文化人類学／社会学の新しい基礎教養	
経済	四六判並製／176頁 2,090円／2017年 978-4-7907-1696-9	文化相対主義や贈与論など基礎的理論から、ジェンダー論やポストコロナリアル理論などの現代的視点までカバーする入門書。今日の文化の動態性を学ぶ上で重要な視点が身につく。調査法とレポートの書き方も伝授。各章ディスカッションテーマ付。	
社会	左地 亮子 著	現代フランスを生きるジブシー——旅に住まうマヌーシュと共同性の人類学	
メディア コミュニケーション	A5 判上製／304頁 5,720円／2017年 978-4-7907-1694-5	なぜ彼らは旅人であり続けるのか？ 都市周辺の空き地に、移動式住居（キャラヴァン）をとめて暮らす、マヌーシュたち。〈住まう〉という実践を通して、共同性を紡ぐ人々の姿を描きだす。第39回サントリー学芸賞（思想・歴史部門）受賞。	
ジェンダー	中川 加奈子 著	ネパールでカーストを生きぬく——供犠と肉売りを担う人びとの民族誌	
人類学	A5 判上製／328頁 6,380円／2016年 978-4-7907-1681-5	差別に苦しみながらもカーストの伝統的な役割である食肉屠畜で経済力をつけたカドギ。グローバル市場経済への包摂と王政から共和制への移行という激変の時に、カーストが再創造される過程を示す。第6回日本南アジア学会賞、第44回澁澤賞受賞。	
教育	中谷 文美・宇田川 妙子 編	仕事の人類学——労働中心主義の向こうへ	
心理	A5 判上製／318頁 4,400円／2016年 978-4-7907-1675-4	〈働くこと〉＝〈稼ぐこと〉だろうか……「仕事」って何？「仕事でないもの」って何？ お金にならない仕事にどんな意味がある？ 世界のさまざまな地域に暮らす人々のリアリティに寄り添いながら、働くことの意味と可能性を問い直す。	
宗思想学	浮ヶ谷 幸代 編	苦悩とケアの人類学——サファリングは創造性の源泉になりうるか？	
歴史	A5 判上製／344頁 4,620円／2015年 978-4-7907-1672-3	生きる、老いる、病む、死ぬ——すべての人間の生に、サファリング（苦悩の経験）が伴っている。それを否定することなく、どう向き合い、生きぬくのか。国内外のフィールドから、苦悩の経験とケア実践のあり方を民族誌的に描き出す。	
日本語 日本文学	バルタ・チャタジー 著／田辺 明生・新部 亨子 訳	統治される人びとのデモクラシー——サバルタンによる民衆政治についての省察	
外国語 芸術	四六判上製／306頁 4,400円／2015年 978-4-7907-1669-3	デモクラシーの本質は「人民主権」ではない。「統治される人びとの政治」である。線路から数十センチの場で生活する不法占拠者による政治とは。現代の民衆政治をポストコロニアルの視点から読み解く、サバルタン研究の最高峰。中島岳志氏推薦。	
環境 自然科学	山崎 吾郎 著	臓器移植の人類学——身体の贈与と情動の経済	
環境 自然科学	A5 判上製／292頁 4,290円／2015年 国 978-4-7907-1655-6	無償で臓器を提供した家族の背後に見え隠れする苦悩、部品化した身体の行方、脳死論争の現在……。制度と実践を緻密に分析することで、身体への技術的介入の先に現れる、生と死の姿を浮き彫りにし、社会と経済の秩序再編のプロセスを描き出す。	
環境 自然科学	鈴木 裕之 著	恋する文化人類学者——結婚を通して異文化を理解する	
環境 自然科学	四六判並製／280頁 2,420円／2015年 978-4-7907-1645-7	これは恋の物語であり、異文化交流の物語である。アフリカで、著者は彼の地の女性アイドル歌手と恋に落ちた。結婚式は、8日間にわたる壮麗なものだった。激しい異文化の渦に巻き込まれた著者が、自らを素材に語る体験的入門書。	
環境 自然科学	東 賢太郎・市野澤 潤平・木村 周平・飯田 卓 編	リスクの人類学——不確実な世界を生きる	
環境 自然科学	A5 判上製／346頁 4,400円／2014年 978-4-7907-1629-7	誰もが生のあらゆる局面でリスクを引き受けさせられる「リスク社会」。現代世界を一樣に塗りつぶす「リスク社会」化の動きは必然か？ 感染症からダイビングまでリスクの多様な相貌を描き、「リスク社会」に対するオルタナティブを探求する。	

(電子版あり)

松岡 悦子 著

妊娠と出産の人類学——リプロダクションを問い直す

四六判並製／278頁
2,640円／2014年 国
978-4-7907-1627-3

女性の人生に大きな影響を及ぼす妊娠、出産。どの社会にも、産む女性に寄り添い、妊娠と出産を見守る産婆や助産師がいる。日本、アジア、ヨーロッパでの長年のフィールドワークから、女性が健康で満足できるお産のあり方を提唱する。

森 明子 編

ヨーロッパ人類学の視座——ソーシャルなるものを問い直す

A5 判上製／300頁
4,180円／2014年 国
978-4-7907-1620-4

現代世界に生きる人々は、何に共同性を求め、どのようなつながりに社会を見出しているのか。フランス・ドイツ・イギリス・スペイン・スウェーデン・エストニアを舞台に、改めて社会的なるものとは何かを問い直す、ヨーロッパ人類学の成果。

松田 素二 編

学ぶ人

アフリカ社会を学ぶ人のために

四六判並製／322頁
2,530円／2014年 国
978-4-7907-1616-7

多様な民族・言語・生態環境をもつアフリカが体系的にわかる入門書。アフリカの経験してきた過去・困難・絶望のなかから、アフリカの潜在力を描きだし、人類社会の希望と可能性を展望する。21世紀のアフリカを理解するための必携書。

田村 うらら 著

トルコ絨毯が織りなす社会生活——グローバルに流通するモノをめぐる民族誌

A5 判上製／336頁
5,500円／2013年 国
978-4-7907-1590-0

嫁入り道具にも現金獲得源にもなる絨毯。市場経済化で、製作の基盤となる世帯どうしのつながりはむしろ活性化し生活の隅々まで浸透した。グローバルな経済にもローカルな慣習にも呑み込まれず、変化と共に生きる女たちのしなやかな生を描く。

木村 周平 著

震災の公共人類学——揺れとともに生きるトルコの人びと

A5 判上製／312頁
4,620円／2013年 国
978-4-7907-1567-0

大地震が起こった。近い将来、また起こるかもしれない。だが急速に高まった災害への関心は、急速に低下してしまう。どうすれば記憶の風化に抗うことができるのか。過去と未来の地震の狭間で揺れる人びとの営みに注目する、公共人類学の構想。

大野 哲也 著

旅を生きる人びと——バックパッカーの人類学

四六判並製／272頁
2,530円／2012年 国
978-4-7907-1562-2

5年間、世界を放浪した冒険家が、人類学者に転じ日本人バックパッカーをフィールドワーク。「自分探し」をする人、「沈没」する人、十数年の獄中生活をタイで送る人、国家から逃れて実験的共同体で自由に暮らす人……多様な生の営みを描く。

西井 涼子 編

時間の人類学——情動・自然・社会空間

A5 判上製／450頁
4,290円／2011年 国
978-4-7907-1521-4

ミクロ分析は人間認識にどれほどの生産的展望を呈示できるか？ 出来事、情動、自然、モノ、身体、死、記憶、語り……。異質な関係性が生成する場にとどまりながら、それぞれの時間論的視座から応答する刺激的論文集。

小川 さやか 著

(電子版あり)

都市を生きぬくための狡知——タンザニアの零細商人マチングの民族誌

A5 判上製／398頁
5,720円／2011年 国
978-4-7907-1513-9

嘘や騙しを含む熾烈な駆け引きをしながら路上で古着を売り歩き、500人以上の常連客をもった著者。ストーリーで培われる策略的実践知に着目し、彼らの商売のしくみを解明し、日本を逆照射する。第33回サントリー学芸賞（社会・風俗部門）受賞。

常田 夕美子 著

ポストコロナルを生きる——現代インド女性の行為主体性

四六判上製／280頁
3,080円／2011年 国
978-4-7907-1512-2

ポストコロナルの苦境のなかで、インドの女性たちが模索してきた自分らしい生き方は。構造から関係性へと視点を変え、社会、身体、行為主体性（エージェンシー）をめぐる理論に新風をふきこむエスノグラフィの快作。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
ン
グ

シ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学
芸
術

環
境
科
学

教
養
選
書

こ
の
と
き
の
み
ら
い
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
学
叢
書

社
会
学
ベ
シ
ン
グ

政治 法律	山口 裕子 著	
経 済	歴史語りの人類学——複数の過去を生きるインドネシア東部の小地域社会	
社 会	A5 判上製／406頁 5,720円／2011年 国 978-4-7907-1511-5	インドネシア、スラウェシ島の沖合に浮かぶブトン島。村で語られ、記されるいくつもの歴史を重ね合わせると、「真実の歴史」が見えてきた。世界史と民族誌、歴史学と人類学、史料と語りとを節合する壮大なエスノグラフィ。第39回澁澤賞受賞。
マ ス コ ミ ニ ア	橋本 和也 著	ゼミナール
ジ ェ ン ダ ー	観光経験の人類学——みやげものとガイドの「ものがたり」をめぐって	
人 類 学	四六判並製／272頁 2,420円／2011年 978-4-7907-1510-8	わたしたちは、観光という経験になにを求めているのか？ 観光の歴史、これまでの研究、内外の事例などを織りまぜつつ、第一人者が観光経験の意味をわかりやすく読み解く。観光立国や地域おこしを企図する関係者必読の書。
教 育	津田 浩司 著	
心 理	「華人性」の民族誌——体制転換期インドネシアの地方都市のフィールドから	
宗 教 哲 学	A5 判上製／384頁 5,720円／2011年 978-4-7907-1497-2	スハルト体制の崩壊前後で、インドネシア華人をとりまく状況はどう変わったか。かれらと日常をともにした著者が描きだす、大転換期の諸相。従来のエスニシティ論にインパクトを与え、東南アジア理解に欠かせぬ華人研究の礎石となる一冊。
歴 史	田中 雅一・田辺 明生 編	学ぶ人
日 本 文 学	南アジア社会を学ぶ人のために	
外 国 文 学	四六判並製／324頁 2,640円／2010年 国 978-4-7907-1490-3	多種多様な民族・文化・言語・宗教をもつ人びとの、独特のまとまりとネットワークが展開する南アジア。カースト制や多宗教世界から民主政治やグローバリゼーションまで、インドを中心とする7カ国の織りなすダイナミックな動態を解き明かす。
芸 術	太田 好信 著	ゼミナール
環 境 学	〔増補版〕トランスポジションの思想——文化人類学の再想像	
環 境 学	四六判並製／362頁 2,750円／2010年 国 978-4-7907-1485-9	いくつもの重大なアポリアに直面する人類学。混淆する文化状況の中で、新たな語りのポジションを志す。その問題提起により大きな話題を呼んだ書に、文化理論をめぐる地殻変動をとらえ返す「文化概念の往還」を書き下ろし増補。待望の注目作。
環 境 学	丸山 淳子 著	
環 境 学	変化を生きぬくブッシュマン——開発政策と先住民運動のはざまで	
環 境 学	A5 判上製／350頁 5,280円／2010年 国 978-4-7907-1464-4	再定住地で暮らすことを余儀なくされた彼らは、狩猟採集生活の特徴を、どのように変化させ、どう維持しているのか。激変のなかを融通無碍に生きぬく姿をいきいきと描き出す民族誌。第23回日本アフリカ学会研究奨励賞、第38回澁澤賞受賞。
環 境 学	田中 正隆 著	
環 境 学	神をつくる——ベナン南西部におけるフェティッシュ・人・近代の民族誌	
環 境 学	四六判並製／252頁 2,090円／2009年 978-4-7907-1432-3	西アフリカの経済活動や地域社会史、そしておびただしい儀礼実践から、人とモノとの豊饒な関係が浮かび上がる。かつては「奴隸海岸」とよばれたベナンに今なお息づくブードゥ（神霊）信仰の実態を、豊富な民族誌的記述によって明らかにする。
環 境 学	中川 敏 著	ゼミナール
環 境 学	言語ゲームが世界を創る——人類学と科学	
環 境 学	四六判並製／248頁 2,200円／2009年 国 978-4-7907-1418-7	ゲームの数だけ世界がある。ゲームの数だけ真理がある。高校生にもわかる、それでいて高度な、あなたの脳を鍛え、あなたの世界を塗りかえる、理屈人類学への招待状。文化人類学者にはならない人のための文化人類学入門。
環 境 学	風戸 真理 著	
環 境 学	現代モンゴル遊牧民の民族誌——ポスト社会主義を生きる	
環 境 学	A5 判上製／336頁 5,720円／2009年 978-4-7907-1393-7	前触れもなく全財産をもってゲルごと移動していく、遊動的な人間関係。遊牧民たちの内に濃い影を落とす、社会主義。モンゴル遊牧民とともに450日間暮らした著者の経験と実証的調査に基づいて、モンゴル国の牧畜社会の現在を活写する。

速水 洋子 著

差異とつながりの民族誌——北タイ山地カレン社会の民族とジェンダー

四六判上製／352頁
3,850円／2009年 国
978-4-7907-1388-3

山地に暮らす少数民族カレン。さまざまな差異がクロスする中で、彼らはどう生きてきたか。国家の周縁にあるカレン女性に焦点を置きながら、カレンの生活実践を丹念にたどり、差異による分断を越えた「つながり」の瞬間をくっきりと描き出す。

竹沢 尚一郎 著

サバンナの河の民——記憶と語りのエスノグラフィ

A5 判上製／370頁
4,400円／2008年 国
978-4-7907-1359-3

アフリカのサバンナを流れるニジェール河。そこに生きる〈河の民〉ボゾ。植民地支配、独立、世界経済への包摂といった百年余の転変の中で、かれらがどのように生きてきたかを、漁、宗教、社会組織、記憶と歴史、の4つの章にわたって描きだす。

トーマス・ヒランド・エリクセン 著／鈴木 清史 訳

セミナー

人類学とは何か

四六判並製／254頁
2,530円／2008年 国
978-4-7907-1348-7

世界には、私たちの社会とはまったく違う暮らしがある。そんな多様性を丸ごと理解しようとする人類学——本書は、その基礎概念から現代の潮流までを、コンパクトにまとめた新世代の入門書である。

飯田 卓 著

海を生きる技術と知識の民族誌——マダガスカル漁撈社会の生態人類学

A5 判上製／356頁
5,060円／2008年 国
978-4-7907-1323-5

海を隣人とみなし、海の表情を読み解き、海のポテンシャルを知悉して、次つぎと漁法を編みだす漁民たち。その暮らしの成り立ちをあらゆる角度から克明に描きだし、自然との対峙を問題化した海の民族誌。第22回日本アフリカ学会研究奨励賞受賞。

椎野 若菜 著

結婚と死をめぐる女の民族誌——ケニア・ルオ社会の寡婦が男を選ぶとき

A5 判上製／414頁
5,280円／2008年 国
978-4-7907-1323-5

性をめぐる欲望と感情は尽きることがない。それを満たすために男女が結ぶ関係は、まさにさまざまなものである。ケニアのルオ社会では、夫を亡くした妻は「墓の妻」となるという。彼女らの生き方を、ともに暮らした著者がトータルに描いた注目作。

鷹木 恵子 著

マイクロクレジットの文化人類学——中東・北アフリカにおける金融の民主化にむけて

A5 判上製／424頁
4,180円／2007年 国
978-4-7907-1305-0

貧しい人々が自ら収入の機会をつくり、自立していくにはどうすればよいのか——そんな切実な問いへの解答として生まれた無担保少額融資は、今大きく変わりつつある。その多様で動態的な実態を、フィールドワークに基づいて明らかにした力作。

岸上 伸啓 著

カナダ・イヌイットの食文化と社会変化

A5 判上製／346頁
4,950円／2007年 国
978-4-7907-1299-2

カナダという国家のなかで、先住民イヌイットはいかに生きるか。世界経済に急速に取り込まれる極北の社会で、変化と再生産が同時進行している様を、食物分配の分析をととして丹念に描き出す。第18回カナダ首相出版賞に輝く大作。

煎本 孝・山岸 俊男 編

現代文化人類学の課題——北方研究からみる

四六判上製／250頁
2,090円／2007年 国
978-4-7907-1257-2

地球規模で進行する急激な変動の時代、北方文化を語ることは、単なる地域研究の枠を超えて、人類学が抱えている普遍的課題に立ち向かうことである。「人間とは何か」というテーマのもと、現代の文化人類学が直面する喫緊の問題を鋭くえぐり出す。

石井 美保 著

精霊たちのフロンティア——ガーナ南部の開拓移民社会における〈超常現象〉の民族誌

A5 判上製／350頁
4,620円／2007年 国
978-4-7907-1244-2

異界からの光が照らしだす、日常世界の実践的論理とは何か。妖術と呪術がせめぎあい、精霊や小人が跳梁するガーナのフロンティア社会を舞台に、人々の生と身体に浸透する〈超常現象〉のリアリティを解きほぐす。第35回澁澤賞受賞作。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
ン
グ

シ
ン
グ
ラ
フ
ィ
ィ

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学

環
境
学

環
境
学

教
養
文
学

こ
の
世
の
こ
の
世

日
常
を
知
る

世
界
思
想
社

社
会
学

政法 治律	関 恒樹 著	関 恒樹 著
経 済	A5 判上製／372頁 5,280円／2007年 国 978-4-7907-1243-5	海域世界の民族誌——フィリピン島嶼部における移動・生業・アイデンティティ 支配・被支配関係や不均衡な力の階層構造のもとで、人々はどうのような生計戦略をと り、アイデンティティを構築するのか。ビサヤ諸島の事例を中心に、彼らの日常的実 践を描き出し、海域社会研究への新たな視座を提示。第24回大平正芳記念賞受賞。
社 会	阿久津 昌三 著	阿久津 昌三 著
メ ディ ア	A5 判上製／452頁 6,380円／2007年 国 978-4-7907-1235-0	アフリカの王権と祭祀——統治と権力の民族学 王権と祭祀をめぐる、西アフリカのアサンテの民族誌を描き、アフリカ社会の政治 の本質をつかむ。『金枝篇』以来の英国社会人類学の歴史に、四半世紀にわたるフィ ールドワークの成果を加える大著。第6回木村重信民族藝術学会賞受賞。
ジェ ン ダ ー	田中 雅一・松田 素二 編	田中 雅一・松田 素二 編
人 類 学	A5 判上製／476頁 5,280円／2006年 国 978-4-7907-1225-1	ミクロ人類学の実践——エイジェンシー／ネットワーク／身体 交響する人類学へ——人類学はフィールドワークという実践のなにを継承すべきか。 鳥瞰図が与える全能感を拒否し、権力が作用する場としての日常生活に注目する。虫 瞰図にこだわり、「全体化」の誘惑に抗するミクロ人類学の画期的論集。
教 育	関根 康正 著	関根 康正 著
心 理	A5 判上製／364頁 4,180円／2006年 国 978-4-7907-1219-0	宗教紛争と差別の人類学——現代インドで〈周辺〉を〈境界〉に読み替える 「異文化理解」から「他者了解」へ——現代インド社会における宗教対立・紛争のメ カニズムを考察し、信仰生活の現場に密着した視点から、「生じられた宗教」の融合 力に注目することによって、排他性の溶解の可能性を提示する。
宗 教 哲 学	湖中 真哉 著	湖中 真哉 著
歴 史	A5 判上製／336頁 5,170円／2006年 国 978-4-7907-1188-3	牧畜二重経済の人類学——ケニア・サンプルの民族誌的研究 生業経済と市場経済の併存的な複合化現象たる牧畜二重経済の実態を地域の脈絡に即 し総合的に解明、グローバル化への対応として構築されたその仕組みの尊重を地域の 内発的発展のための開発政策として提言する。第11回国際開発研究大来賞受賞。
日 本 文 学	菅原 和孝 編	菅原 和孝 編
外 国 文 学	A5 判上製／326頁 2,530円／2006年 国 978-4-7907-1188-9	フィールドワークへの挑戦——〈実践〉人類学入門 人生至る所フィールドあり！ 仕事・社会・コミュニケーション・宗教・異文化の5 分野を網羅し、40人の初々しいフィールドワークを一挙公開。技術的ノウハウから理 論的設問まで実践的な助言を満載。フィールドセンスを体得できる最良の指南書。
環 境 学	西尾 哲夫 著	西尾 哲夫 著
環 境 学	A5 判上製／284頁 3,300円／2006年 国 978-4-7907-1183-4	アラブ・イスラム社会の異人論 シナイ半島で出会った一つの民話には、社会原理を明らかにする鍵が隠されていた ——民話の深層構造を読み解くことで、アラブ・イスラム社会における異人観の解 明を試みる。言語と文化をめぐる研究がたどりついた「異人論」の新たな展開。
環 境 学	櫻井 哲男・水野 信男 編	櫻井 哲男・水野 信男 編
環 境 学	諸民族の音楽を学ぶ人のために	諸民族の音楽を学ぶ人のために
環 境 学	A5 判上製／266頁 4,290円／2005年 国 978-4-7907-1154-4	耳をすませば聞こえてくる——アジアの音、アフリカの歌、ヨーロッパの響き。その 背景にはどんな文化、社会、歴史があるのだろうか、じっくりみてみよう。聞き流す だけではつまらない、地球各地のフィールド発、豊かな音楽世界への招待状。
環 境 学	窪田 幸子 著	窪田 幸子 著
環 境 学	A5 判上製／266頁 4,290円／2005年 国 978-4-7907-1106-3	アボリジニ社会のジェンダー人類学——先住民・女性・社会変化 変化の直中にあるアボリジニ社会。その歴史的背景や社会的実践のあり方を、しなや かで力強い生き方を見せる女性たちに着目して描き出す民族誌。男女の関係や平等の あり方一つではないことを示し、人類学的方法のオルタナティブを提案する。

学ぶ人

八杉 佳穂 編

学ぶ人

マヤ学を学ぶ人のために

四六判並製／304頁
2,090円／2004年 国
978-4-7907-1086-8

巨大な神殿や美しい土器、神秘的な文字を残して消えた古代マヤ文明を中心におき、起源から文明の隆盛と衰退、現在までを包括的に見通す視点を提示する。著者自らが発掘や現地調査で得た最新の成果も盛り込んだ。第一線の研究者による入門書。

青柳 まちこ 編

ゼミナール

老いの人類学

四六判並製／256頁
1,980円／2004年 国
978-4-7907-1042-4

人類学者と老人は古くて新しい友人である——本書では、伝統文化の伝承者・インフォーマントとしての老人ではなく「老い」そのものについて、高齢者の意味、老化のプロセス、老人の生活や意見、社会的地位や役割の分析をととして考察する。

杉村 和彦 著

アフリカ農民の経済——組織原理の地域比較

A5 判上製／490頁
7,150円／2004年 国
978-4-7907-1041-7

アフリカ小農世界は近代化に後れた社会として指弾されてきた。そこでは人々が共食と分与の共同体に生きる。生産性至上主義に抗する「情の経済」の組織原理とは？2004年度地域農林経済学会賞、2005年度発展途上国研究奨励賞受賞。

中谷 文美 著

「女の仕事」のエスノグラフィ——バリ島の布・儀礼・ジェンダー

四六判上製／292頁
2,530円／2003年 国
978-4-7907-0978-7

著者が住みこんだバリ島の農村で、女たちは布を織り、儀礼に精を出す。結婚はしたい、でもしきたりに縛られたくない。近代と伝統の狭間を生きるバリ人女性の喜びと悩み、働く誇りと苦勞を鮮やかに描くエスノグラフィ。第32回澁澤賞受賞。

橋本 和也・佐藤 幸男 編

ゼミナール

観光開発と文化——南からの問いかけ

四六判並製／256頁
2,090円／2003年 国
978-4-7907-0977-0

青い海、白い砂浜、美しいサンゴと強い太陽——「南海の楽園」イメージはいかに開発され、売買されるのか。地球環境問題がクローズアップされる昨今、とみに注目される観光開発を、フィールドワークと文化研究の視点で批判的に読む意欲的論集。

飯田 剛史 著

在日コリアンの宗教と祭り——民族と宗教の社会学

A5 判上製／380頁
3,960円／2002年 国
978-4-7907-0925-0

生きるエネルギーと恨（はん）——朝鮮寺の巫俗儀礼から先祖祭祀、韓国仏教、キリスト教会、民族祭にいたるまで、大阪を中心に在日コリアンの宗教文化の全貌を、緻密なフィールドワークと現代社会学からのアプローチによって初めて解明した労作。

鈴木 七美 著

癒しの歴史人類学——ハーブと水のシンボリズムへ

四六判上製／304頁
2,090円／2002年 国
978-4-7907-0925-1

古代ギリシャで、近代アメリカで、現代ヨーロッパで——人々は心と身体の癒しを求めて植物を育て、水に触れ、星たちを見上げた。豊富で不思議な資料をもとに、やすらぎを希求する魂たちの遍歴を解き明かす、ヒーリングの系譜学。

小山 修三・窪田 幸子 編

ゼミナール

多文化国家の先住民——オーストラリア・アボリジニの現在

四六判並製／312頁
2,420円／2002年 国
978-4-7907-0922-0

十八世紀末に、主としてイギリスから白人が入植してくると、アボリジニたちは五万年続いた暮らしに急激な変化を迫られた。以来、彼らはオーストラリアをいかに生きてきたのか。その歴史と経験をふまえ、二十一世紀の多様性と可能性をさぐる。

住原 則也・箭内 匡・芹澤 知広 著

ゼミナール

異文化の学びかた・描きかた——なぜ、どのように研究するのか

四六判並製／272頁
1,980円／2001年
978-4-7907-0906-0

なぜ学ぶのか、どのように描くのか。——研究テーマの設定から、図書館やインターネットを利用した文献調査、さらにフィールドワーク、論文作成のしかたまで、初学者向けに具体的かつ平易に紹介した、人類学の専門家による研究入門書。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェン
ダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 思 哲
教 学 学

歴
史

日本
文学

外国語
文学

環 境
学

自然
科学

教
養
書

こ
ども
の
書

日
常
を
知
る

世
界
思
想
社

社
会
学

政法 治 律	嶋田 義仁・松田 素二・和崎 春日 編		ゼミナール
経 済	アフリカの都市的世界		
社 会	四六判並製／340頁 2,860円／2001年 978-4-7907-0882-7	ジャングルとサバンナ、野生動物と「部族」……アフリカ大陸を広く深く踏査してきた日本の人類学者が、お決まりの「未開」イメージを覆し、伝統文化の創造性と現代都市のダイナミズムを描く。日本発、都市人類学からの挑戦！	
マ ス コ ミ ニ ジ ェ ン ダ ー	池田 光穂 著		
人 類 学	実践の医療人類学——中央アメリカ・ヘルスケアシステムにおける医療の地政学的展開		
教 育	A5 判上製／406頁 6,380円／2001年 国 978-4-7907-0874-2	低開発国に対する医療援助・協力の現場では、いったい何が起きているのか。本書は、村落保健に関するフィールドワークとグローバル化する国際保健研究を総合した労作である。第一人者の案内で、臨床=応用人類学のフロンティアへ！	
心 理	佐々木 重洋 著		
宗 教 哲 学	仮面パフォーマンスの人類学——アフリカ、豹の森の仮面文化と近代		
歴 史	A5 判上製／398頁 3,960円／2000年 国 978-4-7907-0840-7	カメルーンの熱帯雨林で著者が出会った仮面結社と呪業の神。その儀礼とパフォーマンスの魅力をあますところなく描き、近代アフリカのダイナミズムをあぶりだす。第13回日本アフリカ学会研究奨励賞と第28回瀛澤賞をダブル受賞した気鋭の力作。	
日 本 文 学	福田 見・常光 徹・斎藤 寿始子 編		
外 国 語	日本の民話を学ぶ人のために		
環 境	四六判並製／354頁 2,530円／2000年 国 978-4-7907-0839-1	民話の歴史は長く、その広がりも国の隅々にまで及ぶ。民話のもつ底知れぬ生命力と可能性、その魅力を研究者・作家・ストーリーテラーなど多様な視点から総合的に紹介し、若い人々や一般市民の、民話を学ぶ知的関心を高める助けになるだろう。	
環 境	鈴木 裕之 著		
環 境	ストリートの歌——現代アフリカの若者文化		
環 境	四六判上製／248頁 2,090円／2000年 978-4-7907-0870-0	学校や家庭から落ちこぼれ、ストリートに降り立った俺たち。世間からは不良だと言われている。だが聞いてほしい、俺たちの歌を。見てほしい、俺たちの生き方を！ストリート・ボーイと暮らした気鋭が都市を描く。現代フランス・エッセー賞受賞。	
環 境	鏡味 治也 著		
環 境	政策文化の人類学——せめぎあうインドネシア国家とバリ地域住民		
環 境	四六判並製／254頁 2,090円／2000年 国 978-4-7907-0795-0	人びとは、近代国家に参入する過程でどう中央に向き合い、いかに自らの地位を確保しようとしたか。宗教・観光・慣習をめぐって、政府と州と住民とが、どんな綱引きを演じたか。「慣習村コンテスト」に、バリ島社会の創造力を探る。	
環 境	小川 了 著		
環 境	可能性としての国家誌——現代アフリカ国家の人と宗教		
環 境	四六判並製／318頁 2,640円／1998年 国 978-4-7907-0712-7	西アフリカのセネガルに住む人々が、公権力と対峙しつつ巧みに織りなす「国家」の姿を、インフォーマル・セクターの分析などを通じて鮮やかに描く。日常の文化と国際社会の流れを総体として捉える新たな記述——ステイトグラフィ——の誕生。	
環 境	赤田 光男 著		
環 境	ウサギの日本文化史		
環 境	四六判並製／308頁 2,670円／1997年 国 978-4-7907-0645-8	日本の文化史上、山野に棲息する鳥獣は人間とどのような交渉をしてきたのか。特に、ある時は神として崇拝され、またある時は山の幸として捕獲されてきたウサギ——その聖と俗の両様を歴史民俗学的に考察し、日本精神史の世界に迫る。	
環 境	嶋田 義仁 著		
環 境	牧畜イスラーム国家の人類学——サヴァンナの富と権力と救済		
環 境	四六判並製／336頁 2,670円／1995年 国 978-4-7907-0572-7	18、19世紀西アフリカの原野に超多部族世界を現出させた牧畜民フルベ族によるイスラーム国家形成運動「フルベ族の聖戦」。現存するレイ・ブーバ王国を徹底的に解剖し、牧畜民の生産する家畜という富の巨大さに注目しつつ、その謎に迫る。	

秋道 智彌・市川 光雄・大塚 柳太郎 編

学ぶ人

生態人類学を学ぶ人のために

四六判並製／292頁
2,082円／1995年 図
978-4-7907-0561-1

アフリカの森・オセアニアの海・極北の平原——地球のおどろくほど多彩な空間で、人びとは自然にとけこむようにして生きつづけてきた。本書は、人間と環境との根源的な関わりを問いなおす、フィールドワークの集大成である（付「文献案内」）。

中川 敏 著

ゼミナール

交換の民族誌——あるいは犬好きのための人類学入門

四六判並製／228頁
1,794円／1992年
978-4-7907-0429-4

東インドネシア、フローレス島に住むエンデ人の世界——誰と結婚し、何を交換し、どんな集団をつくるか——を、関係・親族理論を縦横に駆使して生き生きと照らしたす、知的刺激に満ちたテキスト。犬（事実）好きのための民族誌構築事始め。

米山 俊直・谷 泰 編

学ぶ人

文化人類学を学ぶ人のために

四六判並製／296頁
1,976円／1991年
978-4-7907-0388-4

異なる慣習、異なる風俗、異なる顔立ち、異なる言語——異文化の森へ入ろうとする者は、未知の世界を読みとる手だてを身につけておかななくてはならない。多様な人間社会を理解し、自らをとらえ直すための知的地平を開く書（付「文献案内」）。

鳥越 皓之 編

学ぶ人

民俗学を学ぶ人のために

四六判並製／264頁
1,976円／1989年
978-4-7907-0361-7

日々の暮らしのなかで、人びとが出くわす切実な問題を解くために生まれた民俗学は、脱工業化社会といわれる現代において、どのような解答を用意しているのか。従来の方法論を立てなおし、普通の人びとの世界観を総体として理解する。

教 育



世界思想社編集部 編

（電子版あり）

大学生 学びのハンドブック [6訂版]

A5 判並製／128頁
1,320円／2024年
978-4-7907-1791-1

ノートのとり方、レポートの書き方、ゼミ発表の仕方など、大学での学びに必要なステディ・スキルを、イラストで具体例を示して解説。メールやSNSの注意点など、大学生必携の基礎知識も満載。徹底的な学生目線で人気の初年次教育テキスト、6訂版。

堀内 かおる 編

生活をデザインする家庭科教育

四六判並製／224頁
2,530円／2020年
978-4-7907-1740-9

答えが一つではない問いに向き合い、対話を重ね、行動する力を子どもたちが身に付けるために、教師は何をすべきなのか。衣食住、家族、保育、消費、環境など生活のあらゆる事象を探究する、現在進行形の家庭科。

初年次教育学会 編

進化する初年次教育

A5 判並製／208頁
2,090円／2016年
978-4-7907-1722-5

学びへの動機付けや学習技術の修得で、大学生への移行を支援してきた初年次教育。高大接続改革やアクティブラーニングの浸透でどう変わるのか？ 政策動向から実践方法まで、多様化する初年次教育の全貌を描く。初年次教育学会設立十周年記念出版。

小寺 正一・藤永 芳純 編

学ぶ人

〔四訂〕道徳教育を学ぶ人のために

四六判並製／272頁
2,090円／2016年
978-4-7907-1688-4

子どもたちの「生きる力」「未来を拓く心」を育てるために、私たちは何をなすべきか。道徳教育の目的・意義・指導法から具体的な実践課題までをトータルに解説した、教育人必携のガイドブック。平成27（2015）年「学習指導要領」一部改正に対応。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェンダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 思 哲
教 学 学

歴
史

日本語
日本文学

外国語
外国文学
芸術

環境
自然科学

教養
選書
読書

こころの
みらい
叢書

日常を
拓く知

世界思想社
現代思想叢書

社会科学
ベジアンズ

政法 治律	世界思想社編集部 編	
経 済	大学新入生ハンドブック A5 判並製／64頁 572円／2014年 978-4-7907-1641-9	
社 会	位藤 紀美子 監修 言語コミュニケーション能力を育てる——発達調査をふまえた国語教育実践の開発 A5 判上製／330頁 5,060円／2014年 978-4-7907-1618-1	
マ ス コ ミ ニ エ ン タ ー	堀内 かおる 著	
人 類 学	家庭科教育を学ぶ人のために 四六判並製／202頁 2,200円／2013年 978-4-7907-1597-9	
教 育	初年次教育学会 編 初年次教育の現状と未来 A5 判並製／272頁 2,750円／2013年 978-4-7907-1581-8	
心 理	高橋 三郎・新田 光子 著 大学生入門〔3訂版〕 四六判並製／176頁 1,430円／2009年 978-4-7907-1394-4	
宗 教 哲 学	杉本 厚夫・高乗 秀明・水山 光春 著 教育の3C時代——イギリスに学ぶ教養・キャリア・シティズンシップ教育 四六判並製／252頁 2,200円／2008年 978-4-7907-1371-5	
歴 史	難波 博孝 著	
日 本 文 学	母語教育という思想——国語科解体／再構築に向けて 四六判並製／368頁 2,750円／2008年 978-4-7907-1339-5	
外 国 文 学	稲垣 恭子 編 子ども・学校・社会——教育と文化の社会学 四六判並製／320頁 2,420円／2006年 978-4-7907-1223-7	
環 境 学	佐伯 年詩雄 著 これからの体育を学ぶ人のために 四六判並製／328頁 2,090円／2006年 978-4-7907-1195-7	
芸 術	「教育」「社会化」の多様化・個別化のなかで、「大人になること」の意味も変貌をとげつつある。「子ども」や「教育」をめぐる共通の前提が見えにくくなりつつある現代の様々な教育現象について、新たな解釈の可能性をあらゆる形で提示する。	
自然 科学	「身体教育」から「運動の学習」、そして「身体的自由」の探求へ。規律訓練型体育のパラダイムを転換した最初で唯一のものである「楽しい体育」論。その学習指導論の可能性を改めて問い、これからの体育の諸課題に取り組む展望を示す。	
教 養 書		
こ れ ぞ の 書		
日 常 を 拓 く 知		
現 世 界 書		
社 会 学		

杉浦 宏 編

セミナール

現代デューイ思想の再評価

四六判並製／352頁
2,750円／2003年 国
978-4-7907-0995-4

最近のアメリカにおけるデューイ復興の動きに呼応して、教育思想、哲学・論理学、倫理学・心理学、社会科学、価値論・科学論、宗教論・芸術論、ポストモダニズム、フェミニズム等の分野ごとにデューイの思想を検証し、新時代への展望を試みる。

鈴木 秀人 著

変貌する英国パブリック・スクール——スポーツ教育から見た現在

A5 判上製／266頁
2,530円／2002年 国
978-4-7907-0933-6

『トム・ブラウンの学校生活』に見られるように伝統的に重視されてきた課外のスポーツ活動。いっぽうで、周辺に追いやられる体育の授業。スポーツをめぐる二つの教育実践を分析視点に、変わりゆく英国エリート学校のリアルな姿を鮮やかに描き出す。

中山 兼芳 編

学ぶ人

児童英語教育を学ぶ人のために

四六判並製／360頁
2,530円／2001年 国
978-4-7907-0904-6

こころ豊かな国際人の育成、総合的学習の一環としての英語指導に向けて、明確な理論や多様な実践例を公開しつつ、小学校英語教育のあり方や具体的授業の進め方について二つの指針を示す。学校・塾などで英語教育にかかわる人々の必携書である。

岩田 純一・河嶋 喜矩子 編

学ぶ人

新しい幼児教育を学ぶ人のために

四六判並製／352頁
2,310円／2001年 国
978-4-7907-0897-1

豊かな育ちを願い、家庭や地域との連携に注目した保育環境の理論的模索や現場の貴重な実践記録を通して21世紀に人間らしく生きる力を育む幼児教育を構想する。21世紀の幼児教育／生きる力を育むために／豊かな育ちを支えるために／付録資料

杉本 厚夫 編

学ぶ人

体育教育を学ぶ人のために

四六判並製／360頁
2,530円／2001年 国
978-4-7907-0832-2

わが国の近代化の過程で生まれた体育教育は、近代的身体とエトスの形成に力を注いできた——身体の意味とは何か。近代という時代とは何だったのか。「近代」が目指した「身体」のゆくえを探りながら、体育教育の歩みとこれからを考える。

杉浦 宏 編

セミナール

日本の戦後教育とデューイ

四六判並製／368頁
3,080円／1998年
978-4-7907-0735-6

戦後50年を経過した今日、その間のわが国の教育状況を回顧しつつ、デューイの教育思想・実験が日本の戦後教育にどのような影響を及ぼし、どのように修正・批判・継承されてきたかを検証、21世紀の日本の教育がめざすべき方向を考える。

心 理



M. チクセントミハイ 著／浅川 希洋志 監訳／須藤 祐二・石村 郁夫 訳

クリエイティビティ——フロー体験と創造性の心理学

A5 判並製／488頁
3,520円／2016年
978-4-7907-1690-7

ノーベル賞級巨匠たちが仕事や生活を語り、それを伝説の心理学者が分析。天才たちの人生から抽出される、「！」の瞬間を呼び込む処方箋。「すべての作り手に対するこのうえない激励」斎藤環氏。茂木健一郎氏・金井壽宏氏推薦。8カ国語に翻訳。

H. ガードナー、M. チクセントミハイ、W. デイモン 著／大森 弘 監訳／安室憲一・梅野巨利・山口隆英・西井進剛 訳

グッドワークとフロー体験——最高の仕事で社会に貢献する方法

A5 判並製／328頁
3,080円／2016年
978-4-7907-1679-2

市場の圧力や技術革新によって急激に変化する職場環境、先行きが見えない将来、どう働けばいいの？ 質の高い仕事と社会的責任を両立させる〈グッドワーク〉こそ解決策！ ジャーナリズムと遺伝学の現場から得たサバイバル術を指南。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェン
ダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 思 哲
教 学 学

歴
史

日本
文学

外国語
文学

環
境

自然
科学

教
養
書

こころ
の
書

日常を
拓く知

世界
思想

社
会
学

政治 法律	村澤 和多里 監修／杉本 賢治 編	
	ひきこもる心のケア——ひきこもり経験者が聞く10のインタビュー	
経 済	四六判並製／192頁 1,980円／2015年 978-4-7907-1665-5	ひきこもりとは何か？ひきこもりのベテランである中年男性が、支援機関職員、心理学者、精神科医、ケースワーカーなど支援のプロと語りあう！ジャーナリストのルボでも経験者の体験談でもないひきこもり問題への第三のアプローチ。中井久夫氏推薦。
社 会	坂本 真士・大平 英樹 編	
マ ス コ ミ ニ エ ー	心理学論文道場——基礎から始める英語論文執筆	
ジェ ン ダ ー	A5 判並製／276頁 3,080円／2013年 978-4-7907-1605-1	査読者が英語論文の極意を伝授！論文の発想法、投稿先の選び方、執筆ツールの作り方、査読者の着眼点……。国際誌で投稿・査読経験の豊富な著者が、技術のノウハウから精神の構えまで秘伝を開陳。ゼロから始めて英語論文の採択を勝ち取ろう！
人 類 学	小西 行郎・遠藤 利彦 編	
民 俗 学	赤ちゃん学を学ぶ人のために	
教 育	四六判並製／324頁 2,640円／2012年 国 978-4-7907-1570-2	科学的な目で赤ちゃんを観察し、発達のしくみを解明し、育児や保育の現場に活かす赤ちゃん学。赤ちゃん学の全体像が体系的にわかり、赤ちゃんと接する際のポイントが身につく、決定版入門書。
心 理	梶田 淑一・溝上 慎一 編	
宗 教 哲 学	自己の心理学を学ぶ人のために	
歴 史	四六判並製／280頁 2,530円／2012年 国 978-4-7907-1560-3	心理学は「私」をどう研究してきたか？社会心理学、人格心理学、認知心理学、発達心理学、青年心理学、心理臨床・精神分析にまたがる自己研究。各分野における自己論について、理論的な流れを古典からレビューし、最先端の理論を解説する。
日 本 文 学	M. チクセントミハイ 著／大森 弘 監訳	
外 国 文 学	フロー体験入門——楽しみと創造の心理学	
環 境 学	四六判並製／264頁 2,530円／2010年 978-4-7907-1479-8	フロー体験とは、チャレンジとスキルが釣り合う状況でものごとに没入する体験。それは生活にわくわくする楽しみをもたらし、人生を充実させる。本書はフロー体験を日常生活のあらゆる場面に適用するためのポジティブで実践的な解説書である。
芸 術	白井 利明・下村 英雄・川崎 友嗣・若松 養亮・安達 智子 著	
自 然 科 学	フリーターの心理学——大卒者のキャリア自立	
環 境 学	四六判並製／240頁 2,420円／2009年 978-4-7907-1433-0	若者の生きづらさはどこからくるのか？彼らの考え方がいけない？価値観と収入の関係は？23歳〜39歳の8336人の調査で、非正規雇用から正社員へと移行するプロセスと条件を明らかにし、フリーター支援のための提言をおこなう。
教 養 書	澤田 瑞也 著	
こ の 世 界	感情の発達と障害——感情のコントロール	
こ の 世 界	四六判並製／192頁 2,090円／2009年 国 978-4-7907-1427-9	感情の発達とコントロールのメカニズムを解明し、豊かな感情を生きるために必要な共感的かわりについて考察。さらに、さまざまな感情の障害への介入と予防方法を提示。子どもの感情を扱いかねている親、保育士、教師必読の書。
日 常 を 拓 く 知	M. チクセントミハイ 著／大森 弘 監訳	
世 界 思 想 書	フロー体験とグッドビジネス——仕事と生きがい	
社 会 学	四六判並製／312頁 2,530円／2008年 978-4-7907-1351-7	学生からビジネスリーダーまで必読の書！フロー（楽しみ）を体験することで、仕事は自己実現と社会貢献の場となりうる。幸福と成功へ導くビジネスとは何か、豊富なデータと世界のトップ企業リーダー39人へのインタビューから読み解く。
ベ ジ ン ス	岡田 努 著	
	現代青年の心理学——若者の心の虚像と実像	
	四六判並製／202頁 2,090円／2007年 978-4-7907-1291-6	今どきの若者は変わったのか？友人関係、アイデンティティ、フリーター・ニートと自分さがし、恋愛、援助交際、ストーカーなどについて、心理学の知見を駆使し、最新データを示しながら、現代を生きる青年の3つのタイプを浮き彫りにする。

廣中 直行 著

心理学へのスタディガイド

四六判並製／208頁
1,980円／2007年
978-4-7907-1246-6

心理学って、どんなもの？ 心理学を勉強すると何がわかる？ これらをわかりやすく説明し、心理学の勉強のコツを伝授。これから学ぶ人はもちろん、最初でつまずいた人も、勉強がスラスラ進み、もっと楽しくなる！ 心理学を学ぶ人必携の書。

R. C. マンネル、D. A. クリーバー 著／速水 敏彦 監訳

レジャーの社会心理学

A5 判上製／392頁
3,300円／2004年
978-4-7907-1048-6

社会心理学的理論や研究法を適用し、人々のレジャーの心理を体系立てて説明する、本邦初の本格的な研究書。レジャーにおけるパーソナリティや動機づけの役割から、メンタルヘルスやウェルビーイングへの影響も視野に入れた包括的な著作。

播磨 俊子・佐藤 真子・澤田 瑞也 編

学ぶ人

カウンセリングを学ぶ人のために

四六判並製／352頁
2,090円／2003年
978-4-7907-1010-3

「話す―聴く」ことを根幹にした心理療法であるカウンセリングにおいて、カウンセラーの果たす専門的な「聴く」役割とは何か。ありのままの自分の心に向き合うという心理的に守られた場を、クライアントに提供する力をつけるための導入書。

M. チクセントミハイ 著／今村 浩明 訳

ゼミナール

フロー体験 喜びの現象学

四六判並製／378頁
2,670円／1996年
978-4-7907-0614-4

幸福、喜び、楽しさ、最適経験などの現象学的課題の本質を、心理学、社会学、文化人類学、進化論、情報論などを駆使し、原理的、総合的に解明した労作。アメリカで3つの出版文化団体の選定図書に指定され、日本語のほか世界30カ国語で出版。

間場 寿一 編

学ぶ人

社会心理学を学ぶ人のために

四六判並製／288頁
1,980円／1986年
978-4-7907-0296-2

社会心理学は第二次大戦後に驚異的發展を遂げた学問である。本書は、最新の研究成果をとり入れ、社会学的立場を明確に打ち出しつつ社会心理学の理論や問題領域を検討し、かつ世代・教育・宗教・労働・社会病理等の現代的重要問題を分析する。

哲学・思想・宗教



大谷 栄一・川又 俊則・猪瀬 優理 編

基礎ゼミ (電子版あり)

基礎ゼミ 宗教学 [第2版]

A5 判並製／196頁
2,090円／2024年
978-4-7907-1792-8

祭りや墓参りなどの身近な宗教体験から、宗教による被災者支援や政教分離まで、アクティブラーニングで学べる好評入門書の改訂版。資料を読み、仲間と議論し、自分の意見をワークシートに整理することを通じて、宗教情報リテラシーを身につける。

頭木 弘樹・横道 誠 著

(電子版あり)

当事者対決！ 心と体でケンカする

四六判並製／176頁
1,870円／2023年
978-4-7907-1783-6

生きづらさの往復インタビュー。発達障害の当事者と潰瘍性大腸炎の当事者が、互いを取材して考えた、それぞれが抱える苦悩と、それぞれにしか見えない世界。心と体はどちらがどうつらい？ ふたりの当事者が、議論をたたかわせてケンカする！

安井 邦夫 著

現代論理学 [新装版]

A5 判並製／224頁
2,640円／2021年
978-4-7907-1755-3

論理学は、哲学や数学基礎論だけでなく、情報理論、計算機科学、電子工学、数理言語学でも不可欠。現代論理学の基本的なトピックを選び、命題論理学、述語論理学、形式的数論、帰納的関数、不完全性定理について概説する定番テキストの新装版。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェン
ダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 教 哲
教 学

歴
史

日本文学
日本文学

外国語
芸術

環境
自然科学

教養
選書

こころの
叢書

日常を
拓く知

世界思想
現代理論

社会
ベジナス

政治 法律	松元 雅和・井上 彰 編	
経 済	人口問題の正義論	
社 会	A5 判上製／264頁 3,960円／2019年 978-4-7907-1725-6	どれくらいの人口規模が理想的なのか？ どのような人口政策が正しいのか？ 哲学、倫理学、経済学がそれぞれ進めてきた知の蓄積を結集して体系化した、最良のガイド。哲学的基礎から、生殖と家族計画、世代間正義、移民・外国人労働者問題まで。
マ ス コ ミ ニ エ ー	加賀 裕郎・高頭 直樹・新 茂之 編	
ジェ ン ダ ー	学ぶ人	
人 類 学	プラグマティズムを学ぶ人のために	
民 俗 学	四六判並製／280頁 2,640円／2017年 978-4-7907-1698-3	プラグマティズムの発想を多角的に理解できる入門書。従来の哲学に大転回をもたらしたプラグマティズム。主唱者パース、ジェイムズ、デューイの思索の要点と、新たな展開を通覧し、教育学、民主主義論など現代の哲学的諸問題との接続を解説。
教 育	井上 順孝 編	
心 理	学ぶ人	
宗 教 哲 学	宗教社会学を学ぶ人のために	
歴 史	四六判並製／296頁 2,420円／2016年 978-4-7907-1682-2	ウェーバー、デュルケム、ジンメル等の古典的理論、日本の民俗宗教や新宗教の研究成果、隣接する人類学・心理学から最新の認知科学・進化生物学までの知見を整理し、複雑化する現代の宗教と社会、宗教と文化の関係を解きほぐす。豊富なデータ収載。
日 本 文 学	内山 勝利 編	
外 国 文 学	学ぶ人	
環 境 学	プラトンを学ぶ人のために	
自然 科 学	四六判並製／312頁 2,530円／2014年 978-4-7907-1635-8	「哲学の原点」ともいえるプラトン哲学の基本的特色に照明を当て、その「対話」による方法と多面にわたる思想の全体的な見取図を提示するとともに、「現代」との接点を展望する。巻末に基礎的で有用な「文献案内」を付けて読者の便宜に資する。
芸 術	船木 亨 著	
環 境 学	差異とは何か——〈分かること〉の哲学	
環 境 学	四六判上製／362頁 3,190円／2014年 978-4-7907-1630-3	〈分かる〉ために、古代人は分類し、近代人は組み立ててきた。しかしその経験の底では、時間・言語・感覚の数多の差異が豊穡にざわめいている。差異自身を思考する「差異の哲学」は、生の復権を目指して〈分かること〉の真の仕方を探究する。
環 境 学	松嶋 健 著	
環 境 学	電子版あり	
環 境 学	プシコ ナウティカ——イタリア精神医療の人類学	
環 境 学	A5 判上製／484頁 6,380円／2014年 978-4-7907-1625-9	なぜ精神病院を廃絶したのか？ 精神病院から地域への移行で何が生じたか。地域精神保健サービスの現場でいま何が行なわれているのか。イタリア精神医療の歴史と現状を展望し、「人間」を中心にすえた、地域での集合的な生のかたちを描く。
環 境 学	水地 宗明・山口 義久・堀江 聡 編	
環 境 学	学ぶ人	
環 境 学	新プラトン主義を学ぶ人のために	
環 境 学	四六判並製／418頁 2,970円／2014年 978-4-7907-1624-2	三世紀から六世紀にかけて多彩な「プラトン主義者たち」によって展開されたネオプラトニズム。古代最高かつ最後の形而上学であり、西洋神秘主義思想の源流ともなっているその思想の概要を、充実したコラム15編を織り込みつつ詳しく解説する。
環 境 学	行安 茂 編	
環 境 学	イギリス理想主義の展開と河合栄治郎——日本イギリス理想主義学会設立10周年記念論集	
環 境 学	A5 判上製／382頁 3,960円／2014年 国 978-4-7907-1612-9	十九世紀イギリスの政治、社会、教育、宗教をはじめ幅広い社会改革の原動力となったイギリス理想主義を再検討すると同時に、日本においてその思想を精力的に紹介し、多くの学生や知識人に多大な影響を及ぼした河合栄治郎の足跡を詳しくたどる。
環 境 学	福吉 勝男 著	
環 境 学	福沢諭吉と多元的「市民社会」論——女性・家族・「人間交際」	
環 境 学	四六判上製／258頁 4,180円／2013年 国 978-4-7907-1604-4	近代日本の形成主体として、福沢諭吉は女性と男性を対等に位置づけていた。「citizen＝市民」の訳語を日本で最初に用い、自立した個人から成る市民社会をめざした福沢と、哲学者ヘーゲルの「市民社会」論における共通点を読み解く。

野家 啓一 監修／林 永強・張 政遠 編

日本哲学の多様性——21世紀の新たな対話をめざして

A5 判上製／254頁
2,970円／2012年
978-4-7907-1579-5

世界に広がりつつある日本哲学と、中国や韓国などの東アジアの哲学、そして西洋哲学とが交差するところに「同化」と「異化」が生じ、それぞれの伝統から新たな知の地平が拓かれる——その可能性を多角的に描き出した意欲的論文集。

宮原 勇 編

学ぶ人

ハイデガー『存在と時間』を学ぶ人のために

四六判並製／350頁
2,530円／2012年
978-4-7907-1573-3

二十世紀の最重要哲学書『存在と時間』を解き明かす——新資料や新研究を取り入れつつ、従来とは異なった観点から解説した研究入門書。初学者にとって理解のネックになりそうな概念を正確かつ簡潔に捉え、独自の視点から深く掘り下げて詳説。

有福 孝岳・牧野 英二 編

学ぶ人

カントを学ぶ人のために

四六判並製／434頁
2,750円／2012年 国
978-4-7907-1562-7

今日、カント研究は欧米や東アジア文化圏で新たな展開を見せている。カントの理論哲学、実践哲学、美学、目的論、政治哲学、法哲学、歴史哲学、宗教論、人間学等と諸科学や現代哲学との対話・対決を通してその歴史的・現代的意義を探る意欲作。

八木 久美子 著

ゼミナール

グローバル化とイスラム——エジプトの「俗人」説教師たち

四六判並製／264頁
2,530円／2011年
978-4-7907-1534-3

衛星放送やインターネットなど、新たなメディアの爆発的な普及は、イスラムをどう変えたか。十四世紀にわたるイスラムの歴史を持つ国、エジプトを舞台に、普通のムスリムがグローバル化の波にどう対応してきたかをいきいきと伝える。

岡田 勝明 著

自己を生きる力——読書と哲学

四六判上製／246頁
2,090円／2011年
978-4-7907-1534-3

「自己」を問うことは「孤独」を問うことだ。孤独な自己を生きることをの核心を求めて、夏目漱石、遠藤周作、三島由紀夫、上田閑照、竹内敏晴、山崎正和、一過の代表的著作を読み進め、「自己存在」の「生」はどこに安心を得るのかを究明する。

戸田山 和久・出口 康夫 編

学ぶ人

応用哲学を学ぶ人のために

四六判並製／380頁
3,080円／2011年
978-4-7907-1527-6

哲学、現場へ——気鋭の執筆陣が、長年培われてきた「哲学的問い」と「知のツウ」を手には、既存の学問の枠を破り、時代の「旬」のトピックに敢然と立ち向かう。全二八章からなる、日本初（発）「応用哲学」のマニフェスト、ここに登場。

ジェームズ・レイチェルズ 著／古牧 徳生・次田 憲和 訳

倫理学に答えはあるか——ポスト・ヒューマンイズムの視点から

A5 判上製／302頁
2,750円／2011年
978-4-7907-1519-1

進化の観点から人間の尊厳を徹底的に否定し、メタ倫理から応用倫理まで、宗教・平等・安楽死・動物等について自在に論じたレイチェルズ渾身の論文集。鋭い視点と透徹した論理が正しい哲学的思考へと導く。大学のゼミのテキストとしても最適。

伊藤 徹 編

ゼミナール

作ることの日本近代——一九一〇-四〇年代の精神史

四六判並製／310頁
2,750円／2010年 国
978-4-7907-1495-8

物を作り人を作る力とは何か。近代化のかたちの根源に向かって、夏目漱石・柳宗悦・萬鉄五郎・高田保馬・小原國芳・三木清・中井正一・保田與重郎・堀口捨己などを取り上げ、分野を横断しつつ「作ること」の視点から日本の近代化を再検討する。

鏡味 治也 著

ゼミナール

キーコンセプト 文化——近代を読み解く

四六判並製／228頁
2,090円／2010年
978-4-7907-1493-4

ドイツ、フランス、イギリス、アメリカ、日本——国や時代によって異なる意味を持つ「文化」概念。その変遷をたどり、ネイション、伝統、民族概念との関係を一望のもとに照らしだすことで、近代という時代の特徴をあぶりだす。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学
芸
術

環
境
科
学
自
然
科
学

教
養
選
書

こ
の
と
の
み
ら
い
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
思
想
叢
書

社
会
学
ベ
シ
ン
ス

政治 法律	山川 偉也 著	
	ギリシア思想のオデュッセイア	
経 済	A5 判上製／382頁 4,180円／2010年 〔圖〕 978-4-7907-1481-1	
	ホメロス、ヘシオドスをはじめ、主としてソクラテス以前の古代ギリシアの思想家たちを、著者独自の切り口で自由闊達に論究する。半世紀にわたるギリシア思想研究の蓄積を踏まえて縦横に語る「炉辺漫談」。著者自身によるスケッチも多数収録。	
社 会	亀喜 信 著	
	ハンナ・アレント——伝えることの人間学	
メ ディ ア ミ ニ ミ ス	四六判並製／222頁 1,760円／2010年 〔圖〕 978-4-7907-1448-4	
	人々は自己を伝え合うことによって個として生きることができる。個を否定する全体主義と闘ったアレントの思想を、「伝える存在」としての「人間論」として読み解き、その根底にある〈人間を肯定する意志〉から、公共性の意味をとらえなおす。	
ジ ェ ン ダ ー	落合 仁司 著	
	数理神学を学ぶ人のために	
人 類 学	四六判並製／154頁 2,200円／2009年 〔圖〕 978-4-7907-1441-5	
	神が無限であるとすれば、神を無限集合にたとえることができる。無限集合は無限でありながら限界を有する。そのとき神は神でありながら苦しむ。神が人の苦しみを共に苦しみ、人の死を共に死ぬことを数学的に弁明する。それが数理神学である。	
教 育	棚次 正和 著	
	祈りの人間学——いきいきと生きる	
心 理	四六判並製／184頁 2,200円／2009年 〔圖〕 978-4-7907-1440-8	
	〈人間の自然本性〉と〈宗教経験の原点〉、この二つの視点が交差する地平に立って著者が提案する新たな生き方と人間観とは？ いきいきと生きるためにはどうすればよいか。——「祈り」という切り口から「人間学」の再構築を試みた注目の書。	
宗 教 思 想 哲 学	ケネス・W. グッドマン 編著／板井 孝太郎 監訳	
	医療 IT 化と生命倫理——情報ネットワーク社会における医療現場の変容	
歴 史	四六判並製／274頁 2,200円／2009年 〔圖〕 978-4-7907-1386-9	
	コンピュータは医療現場をどのように変革したか——個々人の医療情報が次々と電子化され、網の目のようなネットワーク上を飛び交う「生命情報社会」の到来を目前にして、医療 IT 化に伴って生じてくる倫理的諸問題に鋭く切り込んだ注目の書。	
日 本 文 学	外川 昌彦 著	
	宗教に抗する聖者——ヒンドゥー教とイスラームをめぐる「宗教」概念の再構築	
外 国 文 学	A5 判上製／318頁 4,180円／2009年 〔圖〕 978-4-7907-1382-1	
	インドとバングラデシュを超えて人びとに支持される聖者ラロンのあり方を通して、近代の「宗教」概念を問い直す。宗教的なもののえたいの知れなさを読み解き、様々な対立や混乱を回避するための対話の可能性を探る、渾身のエスノグラフィー。	
環 境 科 学	間瀬 啓允 編	
	宗教多元主義を学ぶ人のために	
教 養 書	四六判並製／334頁 2,200円／2009年 〔圖〕 978-4-7907-1376-0	
	ブルーリズム（多元主義）の時代に宗教はどうあるべきか。宗教理解にはパラダイム変換をもたらし、未来世代には行動指針「アジェンダ21」を提示する宗教多元主義とは、どのような思想か。その基本的な考え方をさまざまな角度から検証する。	
こ こ の 世 界	中才 敏郎・美濃 正 編	
	知識と実在——心と世界についての分析哲学	
日 常 生 活	四六判並製／310頁 2,860円／2008年 〔圖〕 978-4-7907-1367-8	
	「心は世界をどう見るか」——世界という実在、そのなかで生きるわれわれの心、言語、価値、そしてこれらについてのわれわれの知識（科学）。哲学の永遠の諸テーマをめぐって分析哲学の立場から鋭く切り込んだ、本格的哲学論集である。	
世 界 思 想 書	平子 義雄 著	
	公共性のパラドックス——私たちこそ公共精神の持ち主	
社 会 学	四六判並製／244頁 1,650円／2008年 〔圖〕 978-4-7907-1344-9	
	いま日本で幸福だと感じる人が少ないのは、本来、人間のためにあったはずの公共性が、制度やシステムとして逆に人間を支配しているからだ。公共性のありかを人間の精神活動に求め、それが人間という社会的存在の幸福と直結していることを説く。	

上枝 美典 著

ゼミナール

「神」という謎〔第二版〕——宗教哲学入門

四六判並製／304頁
2,200円／2007年 国
978-4-7907-1253-4

「神」の存在を信じなくても信仰が持てる? 「自由」の概念に潜む宗教的な意味とは? 宗教について、楽しく学びながら、自分の頭で考えてみたい貴方に贈る。分析的宗教哲学の入門書として好評を博した旧版に新たに二章を追加した待望の改訂版。

住原 則也 編

グローバル化のなかの宗教——文化的影響・ネットワーク・ナラロジー

四六判上製／260頁
1,980円／2007年 国
978-4-7907-1231-2

ゆらぎ、適応し、創造する宗教の姿とは。深化するグローバル化のなかで宗教はどのように変化しているのか。伝統宗教から新宗教、さらに宗教経営学やスピリチュアリティ、ナラロジー（奈良学）まで、具体的な事例をもとに多様な視点から考察。

山田 邦男 著

〈自分〉のありか

四六判並製／308頁
2,090円／2006年 国
978-4-7907-1209-1

「自分探し」に答えはあるのか? 西田幾多郎、V・E・フランクル、エーリッヒ・フロム、東井義雄、金子みすず、禅仏教といった古今東西の人物・思想をたどりつつ、現代の精神状況について考察し、自己をめぐる根底的な問題を明らかにする。

滝澤 武人 著

ゼミナール

イエスの現場——苦しみの共有

四六判並製／276頁
2,090円／2006年 国
978-4-7907-1200-8

貧しい者、弱い者、罪ある者など当時の最底辺者・被差別者たちと共に生きたイエスの日常は、貧困と飢餓、病氣と障害、差別と抑圧にまみれていた。そうした「現場」に徹底してこだわったイエスの「真実の生」を、福音書に即して明らかにする。

J. W. ハイジック 編

日本哲学の国際性——海外における受容と展望

A5 判上製／366頁
3,080円／2006年 国
978-4-7907-1179-7

フランス語、英語、スペイン語、イタリア語、ドイツ語そして中国語という六つの言語圏で「日本哲学」がどのように受容されてきたかを概観し、歴史的資料の紹介と将来への展望を交えつつ、「日本哲学」研究上の様々な問題点を浮かび上がらせる。

富田 恭彦 著

観念説の謎解き——ロックとパークリをめぐる誤読の論理

四六判上製／252頁
2,420円／2006年 国
978-4-7907-1156-8

ロックの「観念説」はなぜ誤読されるに至ったのか。ロックの観念はヴェールではなく、感覚や心像だけが観念と呼ばれたわけでもない。捏造されたロック像をクワイン流自然主義の視点から解体し、パークリの観念論の論理の歪みを明らかにする。

大橋 良介 編

学ぶ人

ドイツ観念論を学ぶ人のために

四六判並製／348頁
2,530円／2006年 国
978-4-7907-1156-8

現代の英・独・仏語圏の哲学における「ドイツ観念論」像を提示し、理性・倫理・自然・芸術・歴史・宗教といったドイツ観念論の主要問題につきその系譜と展開を辿る。またフィヒテ・ヘーゲル・シェリングの主要著作20余点の詳細な解説を付す。

中川 純男・加藤 雅人 編

学ぶ人

中世哲学を学ぶ人のために

四六判並製／300頁
2,200円／2005年 国
978-4-7907-1143-8

古代ギリシアを継承し、近世哲学の母胎となった中世哲学。その豊かな可能性を解明すべく、神と人間、心と記号、認識と存在、超越と実存、自然と宇宙といった視点から、中世思想に新たな光を照射する。巻末に年表、人名小事典、用語集を付す。

新田 孝彦・蔵田 伸雄・石原 孝二 編

学ぶ人

科学技術倫理を学ぶ人のために

四六判並製／306頁
2,090円／2005年 国
978-4-7907-1135-3

今日、科学技術の安全性の確保と、その使用をめぐる人間の自律的選択の可能性が問われている。科学技術の知の構造と社会的位相を明らかにしつつ、専門家としての科学技術者の役割を問い直し、市民に開かれた新しい科学技術のあり方を追求する。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
ィ
ー

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学
教
学

歴
史

日
本
文
学
日
本
語

外
国
文
学
外
国
語

環
境
学
自
然
科
学

教
養
書
選
書

こ
の
と
き
の
み
ら
い
の
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
学
叢
書

社
会
学
ベ
シ
ン
ス

48

船木 亨 著

〈見ること〉の哲学——鏡像と奥行

四六判上製／312頁
2,860円／2001年 国
978-4-7907-0914-5

鏡像はなぜ左右の向きで逆転するのか。網膜は湾曲した平面であるにもかかわらず、奥行のある立体的な世界を見ることができるのはなぜか——視空間に開いたパラドックスの裂け目から〈見ること〉の本質を探ろうとする、現象学的空間論の試み。

北岡 武司 著

ゼミナール

カントと形而上学——物自体と自由をめぐる

四六判並製／250頁
2,530円／2001年
978-4-7907-0878-0

弱くてもろい存在者であるにもかかわらず、人間はその内なる純粋理性により、自由の地平で死を超え時間を超えて成長することができる。「星のきらめく天空」の下で人間が自由であることの意味を徹底追究したカントの形而上学的思惟を追跡する。

加茂 直樹 編

学ぶ人

社会哲学を学ぶ人のために

四六判並製／340頁
2,200円／2001年 国
978-4-7907-0836-6

家族制度や教育問題から国家・地球環境にいたるまで、混迷する現代社会がかかえる重要な諸課題に正面から立ち向かい、それらの相互関連的な把握と総合的な解決をめざす。21世紀の現代社会を全体として捉えようとする哲学の新たな可能性を追求。

中 敬夫 著

メース・ド・ビラン——受動性の経験の現象学

A5 判上製／426頁
8,250円／2001年
978-4-7907-0859-9

ビランの哲学は通常、「意志の哲学」「努力の哲学」などと称される。だが本書は、そうしたビラニズムが、実は、その意志的能動性の根底に〈受動性の経験〉を置く一つの現象学的存在論であることを明らかにし、従来のビラニズム観の転回を図る。

新田 孝彦 著

ゼミナール

入門講義 倫理学の視座

四六判並製／288頁
2,200円／2000年
978-4-7907-0801-8

本書で紹介する三〇の「例題」に代表されるような日常生活の中で浮かび上がってくる素朴な問いを倫理的考察へと導くことにより、現実的諸問題と倫理学説との架橋を図り、「倫理的に考える」ためのヒントを与える、新機軸の倫理学入門書。

岡田 勝明 著

ゼミナール

フィヒテと西田哲学——自己形成の原理を求めて

四六判並製／214頁
2,090円／2000年 国
978-4-7907-0801-8

前期西田哲学に及ぼしたフィヒテの影響についてはしばしば指摘されるが、両者の後期思想をも視野に入れた比較検討はこれまでほとんどなされてこなかった。本書は、両者の最終的到達点まで見通した上でなされた、初めての包括的研究書である。

加茂 直樹 著

ゼミナール

社会哲学の現代的展開

四六判並製／268頁
2,640円／1999年 国
978-4-7907-0757-8

法と道徳、医療技術と生命倫理、環境問題、あるいは教育、政治、性といった、現代社会が抱えるさまざまな問題に長年取り組んできた社会哲学者が提示する、現代人へのメッセージ。ほかに医療、環境、教育等をテーマとする講演やエッセイも収録。

常俊 宗三郎 編

学ぶ人

日本の哲学を学ぶ人のために

四六判並製／312頁
2,530円／1998年
978-4-7907-0714-1

西田幾多郎、田辺元、和辻哲郎、九鬼周造、三木清、植田寿蔵、西谷啓治、波多野精一——近代日本の代表的な哲学者8人の主著を取り上げ、西洋的ロゴスとの出会いと対決のなかから生まれたそれぞれの思想的営為の結晶を明らかにする本格的論考。

加藤 尚武・加茂 直樹 編

学ぶ人

生命倫理学を学ぶ人のために

四六判並製／368頁
2,530円／1998年
978-4-7907-0690-8

クローン人間・代理母・精子売買等々、先端医療が突きつける問題に人間はどう対処すべきか。インフォームド・コンセント、パターナリズム、パーソン論といった基本的概念とその問題点を徹底分析することにより生命倫理学の現在と未来を展望する。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
エ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学
芸
術

環
境
科
学
自
然
科
学

教
養
の
選
書

こ
の
世
の
み
ら
い
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
思
想
叢
書

社
会
学
ベ
シ
ン
ス

政法 法律	米澤 有恒 著		ゼミナル
	芸術を哲学する——現代美学批判		
経 済	四六判並製／276頁 2,420円／1997年 978-4-7907-0661-8		内容の点でも形式の点でも、今日ほど芸術が多様な形態をとって存在している時代はない。そうした百家争鳴の観がある現在の芸術状況を俯瞰し、なぜそのようなになったのかを主として芸術哲学の立場から考察、学としての美学の可能性を追究する。
社 会	内井 惣七 著		ゼミナル
	科学哲学入門——科学の方法・科学の目的		
メ デ ィ ア	四六判並製／286頁 2,456円／1995年 978-4-7907-0558-1		正統的科学哲学と新科学哲学との対決を見直し、科学の認識と実践、発見と確証、客観性と主観性、連続性と断絶といった科学哲学の諸問題を体系的に見渡す、待望の本格的入門書。科学の歴史的展開をふまえつつ、科学の方法と目的について考える。
ジ ェ ン ダ ー	宇都宮 芳明・熊野 純彦 編		学ぶ人
	倫理学を学ぶ人のために		
人 類 学	四六判並製／288頁 2,082円／1994年 978-4-7907-0523-9		本書はまず倫理学の課題と形成過程を踏まえた上で、行為と規範、人格と自由、自己と他者、理性と物神といった倫理学の基本問題を新たな視点から捉え直し、正義論・生命倫理・環境倫理・近代化論等、倫理学が直面する現代的諸問題とも対決する。
教 育	井上 順孝 編		ゼミナル
	現代日本の宗教社会学		
心 理	四六判並製／270頁 2,082円／1994年 978-4-7907-0514-7		近現代の日本社会に焦点を当て、宗教が社会の中に現われる姿を豊富な資料・データを活用して紹介。欧米の宗教社会学理論をそのまま日本の現象にあてはめて理解するのではなく、日本特有の現象に即した理論の必要性をも説く（付「文献解説」）。
宗 教 哲 学	金子 晴勇 著		ゼミナル
	聖なるものの現象学——宗教現象学入門		
歴 史	四六判並製／248頁 2,082円／1994年 978-4-7907-0492-8		「無神論とニヒリズムの時代」といわれる現在、宗教は世俗化が進行し、その生命が枯渇する危機に直面している。本書は、こうした宗教の本質を「聖なるものの経験」に求め、宗教的生の根源を現象学的方法によって解明しようとする試みである。
外 国 語	池田 善昭 著		ゼミナル
	システム科学の哲学——自己組織能の世界		
環 境 学	四六判並製／220頁 2,082円／1991年 978-4-7907-0406-5		社会科学、人間科学、生命科学、物質科学のそれぞれの根底に共有されている「自己組織能の世界」——本書は、機械論的システム論の批判を通じて近代科学と哲学のパラダイムの転換をはかり、科学と形而上学との新たな接点をさぐる試みである。
環 境 学	塚崎 智・加茂 直樹 編		ゼミナル
	生命倫理の現在		
こ の と の み ら い	四六判並製／288頁 2,025円（近刊） 978-4-7907-0353-2		生命工学と医療技術の発達をもたらした生命倫理に関わる諸問題は、現代社会の重要な論争的テーマとなっている。本書は、生命倫理の思想的背景と生命科学の基本的考え方にふれながら、医療に関する倫理的諸問題を哲学・倫理学の立場から考察する。
日 常 を 拓 く 知	歴 史 		
社 会 学	井野瀬 久美恵 著		近刊（電子版あり）
	奴隷・骨・ブロンズ——脱植民地化の歴史学		
ヘ ー リ ン グ ス	四六判並製 2025年（近刊） 978-4-7907-1797-3		なぜ突然その過去がよみがえるのか？ 奴隷制を追及するBLM運動。アイルランド移民の軌跡を物語る遺骨。欧米の博物館を揺るがすベニン・ブロンズ。過去につながる今を問う「知の脱植民地化」の最前線へ！

松田 ヒロ子 著

(電子版あり)

沖縄の植民地的近代——台湾へ渡った人びとの帝国主義的キャリア

A5 判上製／272頁
4,180円／2021年
978-4-7907-1754-6

沖縄にとって〈植民地〉とは何だったのか？——琉球併合以来、日本人による差別と偏見に苦しんだ沖縄の人びとは、植民地支配下の台湾でどのように生きたのか。支配—被支配の間を往復した人びとの経験から、沖縄の近代と日本帝国主義を再考する。

今江 秀史 著

京都発・庭の歴史

四六判並製／232頁
2,640円／2020年
978-4-7907-1743-0

先入観をぶっ飛ばし、庭の見方を変える旅へ！ 文化財保護に長年携わってきた哲学研究者が、平安から現代までの千年をガイド。見た目や美しさだけではなく、知られざる使われ方に注目し、庭の本性を浮き彫りにする。

江上 綏・道明 三保子・ヤマンラール水野 美奈子 著

織り上げられた動物たちと花々——横浜ユーラシア文化館蔵二作品の美術史的・文化史的考察

B5 判並製／136頁
6,380円／2017年
978-4-7907-1702-7

横浜ユーラシア文化館が収蔵する、江上波夫が集めた2点の染織品を、表現内容、技法と素材、関連する文化史的環境の観点から研究し、その特性を総合的に紹介する。2作品のカラー写真25葉と、関連する128葉のカラー写真を掲載した労作。

佛教大学歴史学部 編

歴史学への招待

A5 判並製／272頁
1,980円／2016年
978-4-7907-1687-7

それぞれの時代に、人びとはどう生きていたのか。過去の出来事に学び、現在への、そして未来への洞察力を養おう。日本でただひとつ、歴史学部をもつ佛教大学の教員が、総力をあけて、高校生を、一般読者を、歴史的世界の魅力へと誘う。

前川 玲子 著

亡命知識人たちのアメリカ

四六判上製／420頁
5,060円／2014年
978-4-7907-1623-5

一九三〇年代、ナチスに追われた亡命知識人たちは大恐慌に揺れるアメリカに辿り着いた。第二次世界大戦から冷戦、赤狩り、ベトナム戦争——激動の二〇世紀アメリカ史と、難しい選択を迫られた知識人たちの個人史との結節点を切り取った意欲作。

飯田 操 著

忠犬はいかに生まれるか——ハチ公・ポビー・パトラッシュ

四六判上製／310頁
3,190円／2013年 図
978-4-7907-1595-5

日本の近代国家形成とハチ公物語の生成、十九世紀の大英帝国世界支配と動物愛護運動の中で生まれるポビー、ウィーダ作『フランダーズの犬』のパトラッシュと二面性。《忠犬》に生まれ変わる背景を日英文化比較や社会・文化史の視点から探る。

野村 真理 著

ホロコースト後のユダヤ人——約束の土地は何処か

四六判上製／200頁
2,640円／2012年 図
978-4-7907-1575-7

ホロコーストからイスラエル建国に至る事情は、現在日本において正確に知られていないと言いきれない。本書ではホロコーストとイスラエルのほごまにある問題、国際社会の責任を明らかにし、現在の中東問題の歴史的な理解に寄与することをめざす。

染田 秀藤・関 雄二・網野 徹哉 編

アンデス世界——交渉と創造の力学

A5 判上製／466頁
4,290円／2011年 図
978-4-7907-1554-2

歴史学・人類学・考古学の立場から、アンデス世界とそれにまつわる言説の創出・発展・変容過程で生じた多様なコンフリクトの真相に迫り、その歴史的意味を論じる。海外研究者7名を含む第一線の研究者と新進気鋭の若手研究者による画期的な試み。

小辻 梅子・山内 淳 編

ゼミナール

二つのケルト——その個性と普遍性

四六判並製／298頁
2,530円／2011年
978-4-7907-1538-2

「ヨーロッパ民族の原像」とも言われるケルトの民が住むイギリス諸島とフランスのブルターニュ。このいわゆる〈島のケルト〉と〈大陸のケルト〉の歴史や伝統、神話や言語・文学、また音楽や自然観をとらえて、文化の普遍性と個性性をさぐる。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
エ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

環
境
学

政治 法律	山田 由美子 著	
経 済	原初バブルと《メサイア》伝説——ヘンデルと幻の黄金時代	
社 会	四六判上製／412頁 2,860円／2009年 978-4-7907-1422-4	原初バブル（南海泡沫事件）はどのように発生し、いかなる余波を伴ったのか——ド イツ・ハノーファーの王位継承工作要員としてイギリスに送り込まれた音楽家ヘンデ ルの活動を通して事件の真相を究明し、《メサイア》作曲家の真像を甦らせる。
メ ディ ア	小田 康徳 編	学ぶ人
ジェ ン ダ ー	公害・環境問題史を学ぶ人のために	
人 類 学	四六判並製／296頁 2,200円／2008年 978-4-7907-1361-6	明治以降の日本における公害問題・環境問題の通史的な把握をめざしつつ、代表的な 事件を考究し、諸問題が日本の国家の制度や社会のシステム、人間の意識、学問のあ り方などに与えた多様な影響を注視する。画期的な座右の史書である。
教 育	関 雄二・染田 秀藤 編	
心 理	他者の帝国——インカはいかにして「帝国」となったか	
宗 教 哲 学	A5 判上製／396頁 3,960円／2008年 国 978-4-7907-1325-8	“帝国”と名づけたのは誰か——近世ヨーロッパ史観に基づくインカ社会解釈は、再 生産と再解釈を繰り返しつつ様々な影響を及ぼし続けている。本書では、錯綜する 「帝国」像の生成過程や利用実態を解体、人類学的「帝国」分析の一例を示す。
歴 史	野崎 京子 著	
日 本 文 学	強制収容とアイデンティティ・シフト——日系二世・三世の「日本」と「アメリカ」	
外 国 語	四六判並製／242頁 2,530円／2007年 国 978-4-7907-1274-9	戦争中の数年間、社会から追い出され隔離された日系人の体験——その傷痕は今も完 全に消えてしまったわけではない。時代のほざまで生きた世代の証言を記録し「歴史 の記憶」としてとどめ、その意味について考察する。
環 境	平体 由美 著	
環 境	連邦制と社会改革——20世紀初頭アメリカ合衆国の児童労働規制	
環 境	A5 判上製／256頁 3,850円／2007年 国 978-4-7907-1265-7	合衆国における社会改革とはまず地域を単位とした運動であり、これを連邦大でイメ ージすることは難しい——連邦制が人々の意識や行動にどのような影響を与えている か、児童労働規制を通じて論じる。2008年度アメリカ学会清水博賞受賞。
環 境	泉森 皎 著	学ぶ人
環 境	河内の古道と古墳を学ぶ人のために	
環 境	四六判並製／298頁 2,420円／2006年 国 978-4-7907-1202-6	大阪平野東南部に伝わる古道（東高野街道等）を通して、古市古墳群や百舌鳥古墳群、 終末期古墳や古代寺院を考古学的に究明しながら人・物・文化の流れを解明する。写 真・地形図を多数収載、河内考古・歴史略年表や博物館・資料館案内を付載。
環 境	小林 道憲 著	セミナー
環 境	古代日本海文明交流圏——ユーラシアの文明変動の中で	
環 境	四六判並製／278頁 2,090円／2006年 国 978-4-7907-1202-2	文明があって出会いがあるのではなく、出会いがあって文明は生成してくる——本書 は「交流」をキーワードに、古代日本文明の形成過程を、日本海とユーラシア大陸の 〈文明交流圏〉というネットワークのなかで捉えようとする意欲的試みである。
環 境	武藤 脩二・入子 文子 編著	
環 境	視覚のアメリカン・ルネサンス	
環 境	四六判上製／302頁 2,420円／2006年 978-4-7907-1160-5	広くヨーロッパの伝統をふまえながら、ポーからウォートンにいたるアメリカン・ル ネサンス期ならびにその前後の時代の作家たちと、建築・絵画・紋章・演劇など広義 の視覚芸術との関係をさぐり、想像力を通してことばと図像の戯れを読み解く。
環 境	染田 秀藤・篠原 愛人 監修／大阪外国語大学ラテンアメリカ史研究会 訳	
環 境	ラテンアメリカの歴史——史料から読み解く植民地時代	
環 境	四六判並製／332頁 2,640円／2005年 国 978-4-7907-1127-8	現代のラテンアメリカ諸国が直面するさまざまな問題の原点は植民地支配体制の確立 期に求められる——膨大な数に上る史料の中から、項目ごとに訳出する価値のある史 料を厳選して紹介する本邦最初の試み。〔付：参考文献一覧・関連年表／地図〕

泉森 皎 編

学ぶ人

日本考古学を学ぶ人のために

四六判並製／304頁
2,090円／2004年
978-4-7907-1062-2

日々新聞紙上を飾る遺跡の発掘情報は、古代へと我々の多様な想像力をかき立てるものである。考古学の歴史と現状、旧石器・縄文・弥生・古墳の各時代から飛鳥時代に至る考古学的文化を、写真・図版を多数添えて俯瞰する分かりやすい入門書。

河原林 直人 著

ゼミナール

近代アジアと台湾——台湾茶業の歴史的展開

四六判並製／250頁
2,310円／2003年 国
978-4-7907-1020-2

日本植民地期の台湾において、台湾人が能動的かつ自立的に国際経済活動を展開した領域として「茶貿易」がある。本書は、この日本の手の届かなかった部分で活動した台湾人「茶商」たちの実態を解明することで、近代台湾史像に再考を迫る。

金 文吉 著

津田仙と朝鮮——朝鮮キリスト教受容と新農業政策

A5 判上製／250頁
2,530円／2003年 国
978-4-7907-0976-3

明治初期の日本において、農学者、教育家、キリスト者として活躍した津田仙。その人物と業績をたどり、安宗洙と李樹廷という二人の朝鮮人とのかわりを中心に、彼が朝鮮の近代化と日朝友好の文化交流に果たした役割を探る。著者渾身の意欲作。

世界思想社編集部 編

瀧川事件——記録と資料

B5 判上製／868頁
11,000円／2001年 国
978-4-7907-0883-4

時代の流れに抗し、研究の自由・大学自治を護ろうとした人々の記録。昭和8年当時の朝日新聞による新聞記事を中心に、『刑法読本』『京大事件』など復刻書籍をあわせて収載。他にも研究論文、大学新聞など豊富な資料で事件の全貌に迫る。

生田 滋・岡倉 登志 編

ゼミナール

ヨーロッパ世界の拡張——東西交易から植民地支配へ

四六判並製／246頁
2,090円／2001年
978-4-7907-0854-4

ヴァスコ・ダ・ガマのインド航路発見による東西交易の開始は、その後のアジア・アフリカ史に大きな影響を与えた。本書は、東西交易開始からアジア・アフリカにおける植民地形成、そして解放に至る歴史を「ヨーロッパの衝撃」の側面より探る。

奈良大学文学部世界遺産を考える会 編

学ぶ人

世界遺産学を学ぶ人のために

四六判並製／308頁
2,090円／2000年 国
978-4-7907-0842-1

普遍的価値を有する地球規模での人類の文化遺産と自然遺産を、国際社会全体の任務として保全・保護しようとする世界遺産条約の精神に則り、英知を結集し総合的に調査・研究・保存するための〈世界遺産学〉の創造を目指した先駆的成果である。

日本語・日本文学



森 まゆみ 著

(電子版あり)

京都不案内

四六判並製／248頁
1,760円／2022年
978-4-7907-1774-4

京都を暮らすように旅する——市民運動のやり過ぎから免疫低下でがんになった。治療の後、体にいいことをするため京都へときどき転地。気功をし、映画を見、銭湯に入り、ごはんを食べて語り合う。観光客の集まる古都とは違う何かが見えてくる。

桑島 秀樹 著

(電子版あり)

司馬遼太郎 旅する感性

四六判並製／240頁
2,310円／2020年
978-4-7907-1739-3

日本各地や朝鮮半島に日本人の祖形を探り、アイルランドやオランダ、そしてアメリカに文明の起源をたずねた司馬遼太郎。『街道をゆく』をつらぬく独自の感性を解き明かし、行き詰まった現代社会のその先まで見晴らす、新たな歴史風景論。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学
学

歴
史

日
本
文
学
日
本
語

外
国
文
学
外
国
語
芸
術

環
境
学
自
然
科
学

教
養
み
ら
い
選
書

こ
の
と
き
の
み
ら
い
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
思
想
叢
書

社
会
学
ベ
ジ
ン
ス

政治 法律	新村 恭 著	新辞苑はなぜ生まれたか——新村出の生きた軌跡
経済	四六判上製／240頁 2,530円／2017年 978-4-7907-1703-4	【三浦しをん氏推薦！】「偉大にしてチャーミング！『新辞苑』編者・新村出先生の多岐にわたる業績だけでなく、恋愛や生活をも知ることができ、胸キュンしました。なんと魅力的なお人柄！」没後50年、初の伝記。膨大な資料から祖父の素顔に迫る。
社会	飯島 洋 著	虚構の生——堀辰雄の作品世界
メディア マスコミ	四六判上製／272頁 4,400円／2016年 978-4-7907-1676-1	外国文学の方法に学び、日常空間から独立した世界を構築した堀辰雄。「聖家族」「風立ちぬ」「かげろふの日記」「ほととぎす」「菜穂子」「ふるさとびと」を比較文学的に考察し、フィクションに普遍的な「生の本質」を追求した創造の軌跡を辿る。
ジェンダー	柴田 勝二 著	夏目漱石「われ」の行方
人文学 民俗学	四六判上製／384頁 4,180円／2015年 978-4-7907-1654-9	格闘する知性の軌跡の追究。青年期に選り取った英文学への疑念を掘り下げつつ「東洋」という居場所を見出す漱石。それは緊迫する二十世紀初頭の国際関係の中で「日本」と「西洋」という「非我」をととも相対化する「われ」の在り処だった。
教育	鈴木 貞美 著	日本文学の論じ方——体系的研究法
心理	四六判並製／240頁 2,420円／2014年 国 978-4-7907-1637-2	北京・清華大学での連続講義をもとにした、国際的に活躍する第一人者が明かす日本近現代文学研究の奥義。作品と概念、思潮、作者…と、ひとつひとつの考察を着実に進め、体系的に理解する方法を伝授する、未来の研究者への「知」のバトン。
宗思想 教哲学	土屋 忍 編	武蔵野文化を学ぶ人のために
歴史	四六判並製／374頁 2,750円／2014年 978-4-7907-1634-1	かつて武蔵野は海沿いを果てに、関八州までを指したが、さらに範囲を彼方へと拡げることもあった。古代からの武蔵野の記憶を探り、今の武蔵野を見つめるとき、紋切り型の武蔵野イメージから解き放たれ、懐かしくも未知だった武蔵野と出会う。
日本語 日本文学	原田 香織 著	現代芸術としての能
外国語 芸術	四六判並製／256頁 2,310円／2014年 978-4-7907-1610-5	世阿弥生誕六五〇年の時間。能の世界は演劇としての伝統を守りながらも、世阿弥の理想とする世界に変化を遂げている。国内外の美術・彫刻・舞台芸術に多大な影響を与え続ける能、その現状と取り組み、新たな可能性を貴重な写真と共に探索する。
環境 自然科学	木田 章義 編	国語史を学ぶ人のために
教養 選書	四六判並製／342頁 3,190円／2013年 国 978-4-7907-1596-2	日本語の歴史、発音や文法の各分野の現在の水準を明らかにし、これからどのように研究してゆくべきか概説する。国文学的研究の資料として古典籍を分析するための主要な方法である国語学の、最新学説に基づく教科書。付・国語史関連年表
こどもの みらい	渡邊 澄子 著	男漱石を女が読む
日常を 拓く知	A5 判上製／412頁 4,400円／2013年 国 978-4-7907-1591-7	法的には男女平等社会となって久しいが、現在に至ってもなお女性差別が現前することを思い合わせると、夏目漱石の新しさが際立つ。女性の人権確立を切望する著者が漱石文学を女の視点からジェンダー論として読み、漱石の平等主義を検証する。
世界思想 書	岩津 航 著	死の鳥からの旅——福永武彦と神話・芸術・文学
社会 ベジンス	四六判上製／232頁 3,520円／2012年 978-4-7907-1580-1	虚無に向かって、忘却に逆らって歌うこと。東西の神話、ベックリーンの絵画、シベリウスの音楽、ボードレールの文学などを共鳴させる福永武彦最後の長篇『死の鳥』。「魂の死」をめぐるこの小説を、トボスを通じて開かれた世界として読み直す。

林 和利 編

学ぶ人

能・狂言を学ぶ人のために

四六判並製／306頁
2,530円／2012年
978-4-7907-1559-7

ユネスコの無形文化遺産に登録された能楽に、国際的な関心が高まっている。能・狂言の歴史、作者と作品、伝書や演技、扮装や舞台にいたるまで、懇切な概説によって学びへの第一歩を支援する。最新の研究成果を反映させた本格的入門書。

武久 堅 著

ゼミナール

平家物語・木曾義仲の光芒

四六判並製／288頁
2,860円／2012年
978-4-7907-1552-8

平家物語の中で平清盛と共に屹立する人物、一一五四年から八四年に至る義仲の三十余年の生涯が放つ、ひたむきで純朴な一条の光を、信濃・北陸・京洛・琵琶湖畔にわたる足跡を辿りつつ夢と野望と破綻と挫折の壮絶な時の中、虚実の狭間に追う。

佐々木 瑞枝 著

学ぶ人

実践日本語教育を学ぶ人のために

四六判並製／282頁
2,420円／2011年
978-4-7907-1542-9

外国人に日本語を教える三〇年になる著者が、日本語教育の指導現場を公開する！——初級・中級・上級それぞれの指導法を「授業展開例」「授業のポイント」などにフォーカスして実践的に解説する。実践の背後に確かな理論があるユニークな一冊。

鈴木 健一・鈴木 宏子 編

学ぶ人

和歌史を学ぶ人のために

四六判並製／344頁
2,530円／2011年 国
978-4-7907-1533-7

万葉・古今・新古今から、近世の歌、近代短歌（啄木・晶子・子規等）までの三百七十余首を鑑賞し、日本の古典和歌の歴史を俯瞰すると同時に、和歌の情報に満ちあふれる本書は日本語・文学・文化学習にとって不可欠な座右の書となるであろう。

秋澤 互・川村 裕子 編

学ぶ人

王朝文化を学ぶ人のために

四六判並製／288頁
2,310円／2010年
978-4-7907-1488-0

艶やかに着飾る女房たちが遊び、日記や物語を書いた貴族の邸宅はどのようなものか。冠婚葬祭から音楽、美術、スポーツ、都大路を行き交う人々のファッションなど日常の些事にいたる、多様で尽きない好奇心に応える王朝文化の小百科。

糸井 通浩・半沢 幹一 編

学ぶ人

日本語表現学を学ぶ人のために

四六判並製／288頁
2,640円／2009年 国
978-4-7907-1403-9

日本語表現学とは、日本語表現の機構を体系的に明らかにしようとする、古くて新しい、ありふれていそうで実は画期的な学問である。人間関係も含め、日本語によって表現するということのすべてを対象とする、懐の深い研究の世界を紹介する。

和田 博文 編

ゼミナール

戦後詩のポエティクス 1935～1959

四六判並製／328頁
2,640円／2009年 国
978-4-7907-1403-9

荒地派を中心に第一次戦後派の詩の世界を、『LUNA』『LE BAL』『純粹詩』などの一次資料を通して読み解く。戦後詩を「戦後」に閉じ込めるのではなく、戦前の都市モダニズム詩の継承と切断として捉え直す試み。基本資料の図版とガイドも充実。

山崎 國紀 著

思索する湯川秀樹——日本人初のノーベル賞受賞者の天才論

四六判上製／224頁
2,530円／2009年 国
978-4-7907-1395-1

人文系への湯川秀樹の貴重な「思索」に初めて照明をあてる。啄木や荘子等について真摯に語る天才論を軸に、漱石や紫式部等の文学、そして哲学、宗教、倫理、教育、戦争、平等への「思索」を掘り起こし、精細に分析した画期的湯川論である。

久保 朝孝・外山 敦子 編

端役で光る源氏物語

四六判並製／276頁
2,530円／2009年 国
978-4-7907-1384-5

これまで見逃されていた〈端役〉に焦点を当て、端役論の視点から各場面を読み直すことによって、物語の陰影・迫真性・生動感を浮き彫りにする。多様な端役が存在によって、『源氏物語』がますます光り輝く作品であることが明らかになる。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェン
ダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 思 哲
教 学 学

歴
史

日本
文学

外国
文学

環
境
科学

環
境
科学

教
養
書

こ
の
世
の
もの

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社

社
会
学

小峯 和明 編

学ぶ人

今昔物語集を学ぶ人のために

四六判並製／360頁
2,750円／2003年 国
978-4-7907-0967-1

今や世界文学と称するに値する『今昔物語集』の研究の最前線に立ち、過去・現在・未来への展望を視野に収めつつその深奥に分け入る。味読の追しるべに、また学習のためのアシスタントとして幅広い関心に対応した斬新かつ画期的な入門書である。

青木 直子・尾崎 明人・土岐 哲 編

学ぶ人

日本語教育学を学ぶ人のために

四六判並製／266頁
1,980円／2001年 国
978-4-7907-0891-9

日本語教育の歴史的・社会的位置づけの考察に始まり、応用言語学、心理学、教育学、異文化コミュニケーション論などの視点から日本語教師の仕事を再検討する。多言語化する日本社会において日本語教師をめざす人々のための新しい日本語教育論。

植垣 節也・橋本 雅之 編

学ぶ人

風土記を学ぶ人のために

四六判並製／340頁
2,530円／2001年 国
978-4-7907-0887-2

風土記を読んだあとで、古事記・日本書紀・万葉集を読みなおすと、異なった新鮮な古代社会像が見えてくる。ここに、国語国文学・国史学・地理学などの最前線にある若い研究者が協力して、新しい風土記世界を示現してみせる。

井上 敏幸・上野 洋三・西田 耕三 編

学ぶ人

元禄文学を学ぶ人のために

四六判並製／292頁
2,420円／2001年 国
978-4-7907-0830-7

「三」の時代としての元禄期。三代目の朝廷・幕府、三都の成立、三教一致思想の実質化、そして三文豪の活躍など、十七世紀の日本の文学や文化を問い直すことにより二十一世紀におけるその情況の活性化を促そうとする意欲的論考の集成である。

渡邊 澄子 編

学ぶ人

女性文学を学ぶ人のために

四六判並製／292頁
2,090円／2000年 国
978-4-7907-0830-8

ジェンダーの言説と文化の構造を分析する視点を抜きにした現代社会・文化、思想の分析・批評はありえない——性差への想像力・理解力・洞察力を培い、新しい文学と生の可能性について考える最も適切なテキストとして、女性文学を読む。

浅野 洋・芹澤 光興・三嶋 譲 編

学ぶ人

芥川龍之介を学ぶ人のために

四六判並製／314頁
2,530円／2000年 国
978-4-7907-0805-6

《芥川龍之介》を自明のものとしな——この確認から出発した本書は、各論稿の個性を主張するにとどまらず、一方が他方を補完したり、逆に批判し合う体の、一種の有機性をもつ構造体となっており、かつ芥川研究の現在をすべく照射する。

廣庭 基介・長友 千代治 著

学ぶ人

日本書誌学を学ぶ人のために

四六判並製／208頁
2,090円／1998年 国
978-4-7907-0710-3

伝統的で多種多様な和本の調査には相応の知識と技術を必要とする。その手がかりを得るため図版に基づきわかりやすく解説した初めて通読できる書誌学の本。書誌学とは何か／書物の歴史と形態／書物の種類／書物の大きさ／書物の各部位の名称

安森 敏隆・上田 博 編

学ぶ人

近代短歌を学ぶ人のために

四六判並製／336頁
3,080円／1998年 国
978-4-7907-0705-9

明治から昭和前期までの近代短歌の歩みを振り返りながら日々の暮らしの中で短歌を楽しむ人々、創作する人々、そして研究する人々に、最適な道しるべを提供する。巻末に名歌集・歌論・記念館の各案内、年譜を併載し本書活用の便宜を図った。

大槻 修・神野藤 昭夫 編

学ぶ人

中世王朝物語を学ぶ人のために

四六判並製／350頁
2,860円／1997年 国
978-4-7907-0669-4

平安王朝から鎌倉そして室町期へと、延々と書き継がれた“貴公子と姫君の恋物語”。物語研究における未開な分野への新たな一歩を標すべく、その全容解明に敢然と挑む。系統的に配された13編の論考、その最終章には詳細な参考文献を収載する。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェン
ダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗思哲
教 学 学

歴
史

日本語
日本文学

外国語
外国文学
芸術

環境
自然科学

教養
選書

こころの
叢書

日常を
拓く知

世界思想
現代思想

社会
ベジナス

政治 法律	犬養 孝 著		ゼミナール
	万葉の歌人 高橋虫麻呂		
経 済	四六判上製／272頁 2,090円／1997年 978-4-7907-0664-9	孤愁を抱き、美の世界を構築した自己陥穽の人・高橋虫麻呂。大阪大学文学部における名講義の記録などをもとに、この万葉きってのロマンティスト虫麻呂への不変の思念を説き明かす。犬養万葉学の要諦を成す、待望久しい高橋虫麻呂論である。	
社 会	阪口 弘之 編		学ぶ人
メディア マスコミ	近世演劇を学ぶ人のために		
ジェンダー	四六判並製／348頁 2,805円／1997年 国 978-4-7907-0640-3	浄瑠璃や歌舞伎の各時代的特徴、史的展開、さらに近世文化としての特質などの把握を考慮しつつ、斬新で啓蒙的であると同時に、最新の研究成果を十全に盛り込む。――近世演劇史をめぐる／歌舞伎研究の歩みと展望／近世演劇の芸態とその周辺	
人 類 学	久保 朝孝 編		学ぶ人
教 育	王朝女流日記を学ぶ人のために		
心 理	四六判並製／308頁 2,456円／1996年 978-4-7907-0612-0	女たちは現し世をいかに生き、いかに書いたか。王朝女流日記の読みの地平を大胆に、しなやかに切り拓く。〔執筆〕三角洋一・長谷川政春・後藤祥子・高橋亨・平田喜信・室伏信助・原岡文子・伊井春樹・久保朝孝・中野幸一	
宗 教 思 想 学	島津 忠夫 編		学ぶ人
	新古今和歌集を学ぶ人のために		
	四六判並製／338頁 2,082円／1993年 国 978-4-7907-0585-7	新古今の表現の解明に向けて、表現論序説を巻頭に、次章で藤原俊成・西行・藤原定家・慈円・藤原良経・藤原家隆・後鳥羽院の歌風の位置付け、第三章では連歌・俳諧・現代短歌への影響を考察し、第四章で注釈書・研究書を研究史とともにみる。	
歴 史	伊井 春樹 著		学ぶ人
日本文学	源氏物語を学ぶ人のために		
	四六判並製／284頁 2,082円／1993年 978-4-7907-0448-5	平安貴族社会の実相や内外出典の説明、万治3年版（1660）『源氏物語』挿絵をふんだんに添えて、母恋と予言とをモチーフにする54帖全編を隈なく見渡し、わかりやすく作品論・紫式部論を展開しつつ『源氏物語』味読への道を示唆する。	
外国文学 芸術	玉村 文郎 編		学ぶ人
環境 自然科学	日本語学を学ぶ人のために		
	四六判並製／322頁 2,082円／1992年 978-4-7907-0440-9	世界的な日本語熱の高まりが見られる現在、日本語を客観的かつ対照的に分析し、その諸性質を平易に解説した、新しい日本語学の入門書。本書は、現代日本語の研究と教育をめざす人々に、日本語学全般にわたる基本的知識を提供するものである。	
教養 選書	徳川 宗賢・真田 信治 編		学ぶ人
こ の こ の こ の	新・方言学を学ぶ人のために		
日常 を 拓 く 知	四六判並製／300頁 2,082円／1991年 978-4-7907-0387-7	日本語のバラエティーの中で地域差だけが目立っていた時代は終わった。本書は、現代社会の多様性を反映して、地域差のほか性差、年齢差、職業差、階層差、さらには場面差等の観点を含む社会言語学的視座に立った「社会方言学」の入門書である。	
世界思想社 現代学書	外国語・外国文学・芸術		
社会 ベ ジ ン ス			
阿部 万里江 著／輪島 裕介 訳			
ちんどん屋の響き――音が生み出す空間と社会的つながり			
A5 判並製／296頁 3,850円／2023年 978-4-7907-1780-5		通り抜ける音が、巷の情動に響きわたる――数十年の停滞のち再起した、路上の巡回広告業ちんどん屋。大阪の路地裏、震災後の仮設住宅、脱原発集会など、様々な場に集う情緒、力、関係が、〈ヒビキ〉によってあらわになる。初のちんどん屋研究書。	

小倉 孝誠 編

学ぶ人 (電子版あり)

批評理論を学ぶ人のために

四六判並製／320頁
2,860円／2023年
978-4-7907-1776-8

構造主義、脱構築批評からフェミニズム批評、ポストコロニアル批評、そしてメディア批評、エコクリティシズムまで。20世紀後半から現代までの理論を幅広く学び、具体的な作品分析を通して批評のプロセスも体感できる入門書。

矢萩 多聞・つた 著

美しいってなんだろう？

四六変型判※／256頁
1,980円／2022年
978-4-7907-1771-3

魚の骨、道ばたの石、焼けた画集……あらゆるものは美しさを隠しもっている。じつと見つめ、耳をすまし、デザインすれば、いのちがやどる。装丁家と小学生の娘が交わした、世界のひみつを探る13の対話。※仮フランス装

今村 純子 著

(電子版あり)

映画の詩学——触発するシモース・ヴェイユ

四六判上製／308頁
2,970円／2021年
978-4-7907-1758-4

『となりのトトロ』『リトアニアへの旅の追憶』『阿賀に生きる』『東京物語』『ニュー・シネマ・パラダイス』……映画という具体的な芸術に沈潜するとき、ヴェイユの思想はどう生きられるのか。己の詩をもつ人々が放つ美の閃光を読みとく。

榎木 野衣・京都市京セラ美術館 編

平成美術——うたかたと瓦礫 (デブリ) 1989-2019

B5 変型判上製／232頁
3,500円／2021年
978-4-7907-1751-5

現代美術を総括！ 14作家の70点を写真200枚でカラー掲載。榎木の平成美術論、平成美術史カラー年表 (731項目、図版77点)、赤坂真理・立岩真也・片山杜秀の平成論。切って貼ると完成するブックカバー型ポストカード15枚付。デザイン・松本弦人

塚田 健一 著

(電子版あり)

エイサー物語——移動する人、伝播する芸能

四六判上製／272頁
3,080円／2019年
978-4-7907-1729-4

「大切なことは生きていると実感できる瞬間であり、それを与えてくれるのがエイサーなのだ」——沖縄の盆踊りであったエイサーが、いまや日本全土に広がっている。芸能伝播の現場で何が起きているのか。エイサーを踊り、歌い、伝えた人々の物語。

中筋 朋 著

フランス演劇にみるボディワークの萌芽——「演技」から「表現」へ

A5 判上製／240頁
3,850円／2015年
978-4-7907-1659-4

自然主義を唱えたゾラ、自由劇場の創設者アントワーズ、演劇雑誌を主宰したジュリアン、象徴主義演劇の可能性を示したメーテルランク。見えない「生」に取り憑かれた人々の演劇論や戯曲を通して、現代演劇の源となった俳優訓練術の萌芽を描く。

辻 裕子 著

ジョン・ミルトンの思想と現代

四六判上製／262頁
3,850円／2014年
978-4-7907-1642-6

女性擁護の聖書解釈により近代の女性観・結婚観に多大な影響を与え、自然環境保全、環境倫理を示唆、言論出版の自由の危機に対峙し、平和愛好者・近代哲学の先駆者で全人教育の理想を説くミルトンに熱く共感する著者渾身の現代日本への警鐘。

小倉 孝誠 編

学ぶ人

十九世紀フランス文学を学ぶ人のために

四六判並製／320頁
2,970円／2014年
978-4-7907-1639-6

革命後のフランス。小説・詩・演劇の世界は刷新され、作家たちはこぞって自伝・日記や旅行記を書いた。激動する社会の中で新たな思想が生まれ、ジャーナリズムの発達が文芸批評を促した。時代と社会の産物としての文学を鮮やかに描きだす。

高谷 修 著

ギリシア・ローマ文学と十八世紀英文学——ドライデンとボープによる翻訳詩の研究

A5 判上製／356頁
6,930円／2014年 国
978-4-7907-1632-7

17～18世紀イギリス。詩人たちは英語表現の可能性を追い求め、ギリシア・ローマ文学の英語による再創造を試みた。古典の正確な理解を基に、原典と英訳を比較検討し、新古典主義時代の詩人、ドライデンとボープの翻訳詩の特質を究明する。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学

環
境
学

環
境
学

教
養
の
こ
の
こ
の

こ
の
こ
の

こ
の
こ
の

日
常
を
知
る

世
界
思
想
社

社
会
学

政治 法律	中 良子 編 災害の物語学	災害の記憶を語り継ぎ、小さくても声を上げ、歴史に残す。その記録の営みに文学がいかに、自由に、関わっていくか、それが災害の物語学。自然災害・環境破壊・疫病から超常現象まで、アメリカ的想像力の結晶である災害表象の諸相を解明する。
経 済	四六判上製／336頁 3,850円／2014年 国 978-4-7907-1622-8	
社 会	塚田 健一 著 アフリカ音楽学の挑戦——伝統と変容の音楽民族誌	
メディア コミュニケーション	A5 判上製／424頁 6,380円／2014年 978-4-7907-1617-4	南部アフリカのサバンナの民ルヴァレと、西アフリカの熱帯雨林の民ファンティ。二つの文化にまったく異なるアプローチ——構造分析的アプローチと社会史のアプローチ——を適用し、音楽研究の方法論的な刷新を促す第一人者からの挑戦。
ジェンダー	小田中 章浩 著	ゼミナール
人類学 民俗学	フィクションの中の記憶喪失	
教育	四六判並製／238頁 2,310円／2013年 978-4-7907-1602-0	天国か地獄か？ 小説、演劇、映画、漫画、アニメ、コンピュータ・ゲーム等に現れる記憶喪失。十九世紀における登場から現在生み出される多様な表象文化の中の記憶喪失モチーフの展開と機能を扱った、類を見ない斬新なフィクション論の誕生。
心理	大池 真知子 著 エイズと文学——アフリカの女たちが書く性、愛、死	
宗 教 哲 学	A5 判上製／320頁 4,180円／2013年 国 978-4-7907-1600-6	小説、自伝・評伝や聞き書き、メモリーブックの実践など広義の文学実践において、アフリカの女たちが HIV／エイズとともに生きながら語る物語を読む。分析を通して人々が日々経験する性と愛と死をたどり、エイズ時代の文学の意味を考察する。
歴 史	井桁 貞義・井上 健 編 チューホフの短篇小説はいかに読まれてきたか	
日本語 日本文学	四六判並製／258頁 2,420円／2013年 978-4-7907-1585-6	世界と人間との真実を凝視し、書きつくした作家チューホフ。その短篇小説の特質、魅力を存分に浮かび上がらせつつ、今日に至るまで世界各国の文学、特に日本の作家たちに与えてきた幾重もの影響の波動を、さまざまな角度から精緻に読み解く。
外国語 外国文学 芸術	植田 祐次 編 ヴォルテールを学ぶ人のために	学ぶ人
環境 自然科学	四六判並製／266頁 2,420円／2012年 978-4-7907-1578-8	戦争に代表されるような人間のもたらす「悪」と対峙し、狂信に起因する宗教上の不寛容や不正を痛烈に批判して「寛容」を説いたヴォルテール。哲学コント、歴史著作、社会批評、そして書簡等を通してその思想を紹介し、後世への影響をたどる。
教養 選書	東浦 弘樹 著 フランス恋愛文学をたのしむ——その誕生から現在まで	
こどもの 文芸	四六判並製／288頁 2,530円／2012年 978-4-7907-1569-6	いつの時代も文学は、恋に生きる「おろかしき面白い人」を描いてきた。『トリスタンとイゼル』から古典悲劇、ファム・ファタル小説、そして現代小説『人生は短く、欲望は果てなし』まで、フランス恋愛文学珠玉の二十篇を読み解く。
日常を 拓く知	塩谷 清人 著 ダニエル・デフォーの世界	
世界思想社 ベジンス	A5 判上製／480頁 5,060円／2011年 国 978-4-7907-1547-4	イギリスの近代化の渦中で貿易業、ジャーナリスト、政治スパイ、『ロビンソン・クルーソー』などの小説家として活躍したダニエル・デフォー（1660-1731）の本格的評伝。初紹介の原典を含め膨大な資料によって彼の全貌が浮かび上がる。
社会 ベジンス	植木 照代 監修／山本 秀行・村山 瑞穂 編 アジア系アメリカ文学を学ぶ人のために	学ぶ人
	四六判並製／464頁 3,080円／2011年 978-4-7907-1539-9	アジア系移民150年の歴史にちりばめられた文学的遺産——新たな潮流・新しい作家・作品・理論を紹介するとともに国・民族・文化の境界がボーダーレス化・トランスナショナル化・ハイブリッド化してゆく21世紀の新たな観点から捉え直す。

木原 善彦 著

ピンチョンの『逆光』を読む——空間と時間、光と闇

四六判並製／204頁
2,200円／2011年 国
978-4-7907-1531-3

フロンティアが消滅したアメリカと世界大戦へと突き進むヨーロッパを舞台に、〈偶然の仲間〉の冒険、トラヴァース一家の復讐が交錯する物語『逆光』。ポストモダン文学の巨人ピンチョンの千ページを超える傑作の訳者が贈る、ひとつの創造的注釈書。

東浦 弘樹 著

晴れた日には『異邦人』を読もう——アルベール・カミュと「やさしい無関心」

四六判上製／216頁
2,530円／2010年 国
978-4-7907-1489-7

僕は幸福だったし、いまでもそうだ——ムルソーの最後の叫びは何を意味するのか？『異邦人』が投げかける本質的な4つの問いを中心に、カミュの想いをときあかす。変えられないものに意味を与え、和解を可能にする文学の豊かな力が見えてくる。

浜田 邦裕 著

多言語学習の練習帖

四六判並製／180頁
1,980円／2010年 国
978-4-7907-1477-4

「知ること」は、われらを自由にする！ みなさんは、語学の勉強が好きですか。なぜ、語学を勉強するのでしょうか。多くの言語に共通している文法書の目次項目をガイドに、たくさんの言語の「全体像」になじむための練習帖（付 練習問題）。

野口 祐子 編著

『サウンド・オブ・ミュージック』で学ぶ欧米文化

四六判並製／172頁
1,980円／2010年 国
978-4-7907-1460-6

映画『サウンド・オブ・ミュージック』に描かれたトラップ一家の物語から20世紀の激動の歴史を読む——歌と音楽、セリフと視覚・聴覚的演出をテキストとして読み解き、映画が20世紀欧米世界について何を教えてくれるかを解き明かす。

木村 護郎・クリストフ・渡辺 克義 編

学ぶ人

媒介言語論を学ぶ人のために

四六判並製／364頁
2,530円／2009年 国
978-4-7907-1425-5

異言語間コミュニケーションの多様な世界。異なる言語をもつ人々が出会うとき、どのような相互伝達がなされるか。異言語話者間の言語的な媒介に光をあて、世界各地のさまざまな形態を理論的・実証的に研究。媒介言語論の新たな地平を切り開く。

C. シールズ 著／内田 能嗣・惣谷 美智子 監訳

ジェイン・オースティンの生涯——小説家の視座から

四六判上製／240頁
2,530円／2009年 国
978-4-7907-1414-9

イギリス近代小説の伝統を確固たるものにしたJ. オースティン。ピュリッツァー賞作家C. シールズはオースティンの心の中に入り込む。そこで小説家同士の視線が同一化し、紡ぎ出された、単なる出来事の羅列に終わらない斬新な伝記である。

風呂本 武敏 編

学ぶ人

アイルランド・ケルト文化を学ぶ人のために

四六判並製／372頁
2,200円／2009年 国
978-4-7907-1402-6

ケルトの英雄伝説や妖精物語を糧とし、英国植民地、ジャガイモ飢饉、移民、さらに宗教紛争など、苦難の歴史を生き延びた国アイルランド。その豊饒なる文化と文学について、斯界を代表する執筆陣による、入門から今日的課題に至るまでの三十章。

桐山 恵子 著

境界への欲望あるいは変身——ヴィクトリア朝ファンタジー小説

四六判上製／232頁
2,530円／2009年 国
978-4-7907-1379-1

ワイルドとコレリが愛したロンドン。お姫さまが働き、ゴブリンが飛び回り、サタンが紳士に、紳士がサルになる……著名な作品のみならず、ベストセラー作家コレリの小説におけるファンタジー的諸相を読み解き、19世紀イギリスの虚実をあばく。

山本 秀行 著

アジア系アメリカ演劇——マスキュリティの演劇表象

四六判並製／304頁
2,640円／2008年 国
978-4-7907-1355-5

アジア系アメリカ人男性による演劇作品のマスキュリティ表象を通して、アジア系アメリカ人における人種、ジェンダー、セクシュアリティの交差、マスキュリティに依拠したアメリカニズム、およびアメリカ社会の問題点を浮き彫りにする。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
エ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学
学

歴
史

日
本
文
学
日
本
語

外
国
文
学
外
国
語
芸
術

環
境
学
自
然
科
学

教
養
書
選
書
こ
の
と
き
の
み
ら
い
の
書

こ
の
と
き
の
み
ら
い
の
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
学
叢
書

社
会
学
ベ
シ
ン
ス

政治 法律	武藤 脩二 著		ゼミナール
	ヘミングウェイ『われらの時代に』読釈——断片と統一		
経 済	四六判並製／268頁 2,090円／2008年 国 978-4-7907-1354-8	世界と人間の断片化の意識と統一への衝迫——十九世紀末モダニズムの潮流の中から生まれたこの名作の全作品を対象に、緻密なテキスト分析と文化的背景の研究を通して境界と越境の諸相を抽出、閉塞状況にある従来の解釈に新たな地平を切り開く。	
社 会	荒木 映子 著		ゼミナール
マ ス コ ミ ニ エ ー	第一次世界大戦とモダニズム——数の衝撃		
ジェ ン ダ ー	四六判並製／232頁 2,200円／2008年 国 978-4-7907-1341-8	十九世紀の猛烈な人口爆発から第一次世界大戦の大量死にいたる社会・文化現象を「数の衝撃（ショック）」という観点から読み解き、戦争詩とモダニスト詩との違い、さらにはパラダイムを喪失したポストモダニズム以降の時代状況を明らかにする。	
人 類 学	植田 祐次 編		ゼミナール
民 俗 学	フランス女性の世紀——啓蒙と革命を通して見た第二の性		
教 育	四六判並製／310頁 2,420円／2008年 国 978-4-7907-1336-4	フランス十八世紀は「女性の世紀」である。それまで「第二の性」とみなされていた女性たちが、自立した生を主張しはじめる。彼女たちはいかに生き、何をいかに表現したか、男性作家の作品にどう描かれたか——彼女らの肖像を重層的に再現する。	
心 理	清水 一嘉・小林 英美 編		ゼミナール
宗 教 哲 学	読者の台頭と文学者——イギリス一八世紀から一九世紀へ		
歴 史	四六判並製／224頁 2,090円／2008年 978-4-7907-1331-9	いかに読者の興味に訴え、読者を獲得するか！ 18世紀文学を支えたペイトロンの退場以後のロマン派文学における読書界を彩る人間模様や、イギリス近代出版の市場形成の過程を、具体的な文学現象を掘り起こしながら明らかにする。	
	田中 多佳子 著		
日 本 文 学	ヒンドゥー教徒の集団歌謡——神と人との連鎖構造		
外 国 語	A5 判上製／468頁 7,150円／2008年 国 978-4-7907-1309-8	地上に顕現した神々とともに遊び、信仰を表現する手段として伝承されてきた北インドの集団歌謡。その歌唱形式を、純粹に音楽として、さらに宗教儀礼として分析し、神と人、人との連鎖によって育まれた叡智を見いだす。第26回田邊尚雄賞受賞。	
芸 術	マリーズ・ブリュモン 著／三野 博司 訳		学ぶ人
環 境	『星の王子さま』を学ぶ人のために		
自 然 科 学	四六判並製／166頁 1,760円／2007年 国 978-4-7907-1292-3	『星の王子さま』を名作古典として読み、哲学や思想史、宗教、とくに物語論を駆使して、この名作の「神秘」のいくつかを明らかにするとともに、それを手がかりに、文学作品一般の読解方法についても解説する、「文学批評理論」の格好の入門書。	
教 養 書	浜田 邦裕 著		
こ の と の み ら い	現代音楽の練習帖		
こ の と の み ら い	四六判並製／152頁 1,760円／2007年 国 978-4-7907-1288-6	何かを論じようとするとき、どのような論点・視点があるか、どう考えてゆけばよいのか——ドビュッシーから、プレスリー、ビートルズ、クイーン、井上陽水、コブクロまで、現代の音楽を題材にその道筋を示し、論理的思考を練習する。	
日 常 を 拓 く 知	内田 能嗣・塩谷 清人 編		学ぶ人
世 界 思 想 社	ジェイン・オースティンを学ぶ人のために		
社 会 学	四六判並製／320頁 2,420円／2007年 国 978-4-7907-1276-3	〈結婚〉というテーマで日常生活を皮肉とユーモアを交えて淡々と描いた、イギリス小説史上に燦然と輝くジェイン・オースティンの文学の全貌を、日本での受容をはじめ、生涯、研究法、六大小説と断片の特色など珠玉の考察から明らかにする。	
ベ ジ ン ス	谷本 尚子 著		
	国際構成主義——中欧モダニズム再考		
	四六判上製／212頁 2,530円／2007年 国 978-4-7907-1247-3	ロシア構成主義と西側のアヴァンギャルドが出会い、大戦間にドイツおよび中欧各地で花開いた国際構成主義運動。それは現代の芸術理論にも多大な影響を及ぼした。造形芸術・デザイン・写真・映画などの作品分析を通して、その今日的意義を問う。	

渡辺 克義 編

学ぶ人

ポーランド学を学ぶ人のために

四六判並製／358頁
2,090円／2007年
978-4-7907-1245-9

近世～現代の歴史から、政治・経済、宗教、文学、エスペラント、音楽、美術、映画、日本における研究史まで、ポーランド研究のエッセンスがぎっしり詰まった「ポーランド学」総合入門書。あなたはどれだけポーランドについて知っていますか？

児玉 実英・杉野 徹・安森 敏隆 編

学ぶ人

二〇世紀女性文学を学ぶ人のために

四六判並製／356頁
2,530円／2007年
978-4-7907-1240-4

戦争の時代と称される二〇世紀に、日本をはじめ、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、アフリカにおいて封建的束縛からの解放や政治・経済的な自立、男性との共生などを模索した女性作家たち。その文学的営為についての世界的な潮流を俯瞰する。

小川 順子 著

「殺陣」という文化——チャンバラ時代劇映画を探る

A5 判上製／410頁
4,620円／2007年
978-4-7907-1236-7

人を斬る、その残酷な所作の美しさとは——映画の草創期から現代に至るまで、無数の観客が銀幕の上で繰り広げられるチャンバラ（殺陣）に酔いしれた。時代劇映画における殺陣の歴史から身体運用、日本文化研究の新たな展開へと広がる壮大な試み。

竹内 博・長町 充家・春日 明夫・村田 利裕 編

学ぶ人

アート教育を学ぶ人のために

四六判並製／334頁
2,090円／2005年
978-4-7907-1121-0

人間形成に大きな影響を与える青年期のアートを指導する指導者の望ましい資質と能力を問いつつ、教育計画から新指導内容、その背景をなす実践的な教育哲学や発達への見識など、教育実践に必要なとされる内容に光をあてるチャレンジの書である。

奈倉 洋子 著

セミナー

日本の近代化とグリム童話——時代による変化を読み解く

四六判並製／296頁
2,530円／2005年
978-4-7907-1121-0

比較文化の視角から、教育や国語改革などにみる日本の近代化過程においてグリム童話の果たした役割を明らかにし、メルヒェンの具体的イメージを喚起する四十一一点の絵図をふまえつつ、時代の変遷に伴う話の変容とその起因を多角的に探る。

中岡 洋・内田 能嗣 編

学ぶ人

ブロンテ姉妹を学ぶ人のために

四六判並製／346頁
2,530円／2005年
978-4-7907-1105-6

シャーロット、エミリー、アン。『ジェイン・エア』『嵐が丘』をはじめとする想像力あふれるブロンテ姉妹の全作品を網羅する遠大な視野に立ち、生い立ちや取り巻く環境の特異性を観つつ、ブロンテ文学の特質を平易に説き明かす。

水野 信男 著

音楽のアラベスク——ウンム・クルスームの歌のかたち

A5 判上製／264頁
3,520円／2004年
978-4-7907-1069-1

アラブ世界の「永遠のディーヴァ（歌姫）」として人びとを魅了し続けるウンム・クルスームの歌声に宿るものは何か。エジプトの大歌手に魅せられた筆者が、アラブの感性と心性を秘めた「アラベスク」を通して、その歌に息づく情動に迫る。

「陶・山田光の世界」刊行会 編

陶・山田光の世界

A3 変型判／260頁
33,000円／2004年
978-4-7907-1019-6

宋窯を出で、「走泥社」と歩んだ、山田光。自己と他者を問いかける、深くひそやかな造形世界と言葉。2001年逝去までの主要作品を網羅。寄稿／木村重信、梅原猛、内山武夫、平野重光、宮永東山、伊藤均 解説／正村美里

松村 昌家 著

セミナー

十九世紀ロンドン生活の光と影——リージェンシーからディケンズの時代へ

四六判並製／286頁
2,200円／2003年
978-4-7907-0998-5

リージェンシー（摂政時代）のダンディの世界から、ディケンズ時代の煙突小僧の世界にいたるまで、十九世紀ロンドンのあらゆる種類・身分の人びとの生活の場に踏み込んで、そのありのままの生活風景や心情を多くの挿絵を援用しながら活写する。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学
思
想

歴
史

日
本
文
学
日
本
語

外
国
文
学
外
国
語
芸
術

環
境
科
学
自
然
科
学

環
境
科
学
自
然
科
学

教
養
書
選
書

こ
の
と
の
み
ら
い
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
思
想
叢
書

社
会
学
ベ
シ
ン
ス

政法 治律	宇野木 洋・松浦 恆雄 編		学ぶ人
	中国二〇世紀文学を学ぶ人のために		
経 済	四六判並製／360頁 2,860円／2003年 図 978-4-7907-0994-7	文学革命から革命文学、人民文学から商業主義へと推移する二〇世紀の中国文学。「制度としての文学」の視角や苦悩する作家達の「表現することの意味」を発見する過程に注目するなどした初学者から研究者までの問題意識を刺激する画期的な論議。	
社 会	植田 祐次 編		学ぶ人
マ ス コ ミ ニ エ ン ダ ー	十八世紀フランス文学を学ぶ人のために		
人 類 学	四六判並製／380頁 2,750円／2003年 978-4-7907-0975-6	近年における批評と研究の深化は作家レチフやサドなどの復権や再評価、古典の小説の新たな解釈を生み出した。本書では時に率直な疑問や見方を提示しつつ、フランス小説が市民権を獲得するに至る社会的メンタリティーの一端を測定する。	
教 育	内藤 道雄 編		学ぶ人
心 理	ドイツ詩を学ぶ人のために		
宗 教 哲 学	四六判並製／314頁 2,420円／2003年 978-4-7907-0973-2	中世・バロック時代に始まり、ゲーテから二度の世界大戦をへて現代にいたるまで、ドイツ語圏で活躍した個性豊かな詩人たちの多彩かつ強烈な詩業を余すところなく描き出すことにより、「ドイツ詩」に固有の特質をあざやかに浮かび上がらせる。	
歴 史	宮元 健次 著	日本の伝統美とヨーロッパ——南蛮美術の謎を解く	
日 本 文 学	四六判並製／244頁 2,200円／2001年 978-4-7907-0861-2	キリスト教伝来から鎖国に至る約六十年間、日本人はあらゆる西欧文化に接触した——。南蛮趣味からルネサンス・バロックの手法まで、茶室建築・桂離宮・日光東照宮など、桃山・江戸初期の伝統建築に隠された西欧の痕跡をさぐる。図版多数。	
外 国 文 学	渡邊 洋 著	比較文学的読書のすすめ	
環 境 学	四六判並製／254頁 2,090円／2000年 図 978-4-7907-0789-6	ツルゲーネフ『煙』、二葉亭四迷『浮雲』から開高健『パニック』まで、さまざまな小説ジャンルの中から代表例二〇を取り上げ、具体的読解を通して比較文学的観点に立って作品を読むことの意義を明らかにした、文学研究に必須の比較文学小説史。	
環 境 学	清水 一嘉 著	イギリス近代出版の諸相——コーヒー・ハウスから書評まで	
環 境 学	四六判並製／296頁 2,530円／1999年 図 978-4-7907-0789-9	若い詩人が文壇への足掛かりを掴んだコーヒー・ハウス、作家の執筆作品の内容にまで影響を与えた貸本屋、優れた詩人や作家を育成したリトル・マガジン、作品のあるべき姿を提示した書評等、18世紀から現代に至るイギリス出版界を活写する。	
環 境 学	寺崎 英樹・山崎 信三・近藤 豊 編	スペイン語の世界	
環 境 学	四六判並製／204頁 2,530円／1999年 978-4-7907-0764-6	全10章より成り、第一部「スペイン語の表情」では、音と文字、語彙、態、「～になる」を表現する動詞、叙法、第二部「スペイン語の風景」では、その誕生、方言、ラテンアメリカのスペイン語、日本人とスペイン語の出会い、西和辞書を扱う。	
環 境 学	田辺 保 編	フランス学を学ぶ人のために	
環 境 学	四六判並製／354頁 2,750円／1998年 図 978-4-7907-0721-9	どのような学問分野でも、いわゆる「タコ壺の中の学問」では閉鎖性と独善に陥りやすい。本書は、歴史、言語、芸術、文化、生活といった個々の領域を超えて、全体としての「フランス的なもの」を明らかにする〈新・フランス学〉の試みである。	
環 境 学	濱田 明・田淵 晋也・川上 勉 著	ダダ・シュルレアリスムを学ぶ人のために	
環 境 学	四六判並製／308頁 3,080円／1998年 図 978-4-7907-0713-4	世界史的規模で人間精神の新しい地平を切り開いた20世紀最大の前衛的文学・芸術運動＝ダダ・シュルレアリスムの全容をわかりやすく解説する小辞典。最新の年譜／充実した参考文献／索引（書名・作品・事項索引／人名索引）を付載する。	

環境・自然科学



浅川 千尋・有馬 めぐむ 著

動物保護入門——ドイツとギリシャに学ぶ共生の未来

四六判並製／160頁
1,980円／2018年
978-4-7907-1718-8

保護施設や法を歴史的に発展させてきたドイツと、五輪前の野犬保護成功で急速に制度を変革するギリシャ。一方、殺処分、動物実験など問題の改善が進みにくい日本。施設での保護か、地域での共生か？ 犬猫を中心に動物と人の望ましい関係を考える。

島 佐代子 著

カヤネズミの本——カヤネズミ博士のフィールドワーク報告

A5 判上製／112頁
2,420円／2014年
978-4-7907-1613-6

人と野生動物との共生への道しるべ。減少し続ける日本の草原や水辺など身近な自然を尋ね歩いて出会う小さな命、絶滅の危険度が高まるカヤネズミの生態を知ることから保護活動は始まる。愛くるしく健気なカヤネズミたちのカラー写真多数掲載！

和田 武 著・木村 啓二（第5章共同執筆）著

拡大する世界の再生可能エネルギー——脱原発時代の到来

A5 判並製／216頁
2,530円／2011年 国
978-4-7907-1543-6

ドイツ、デンマーク、アメリカ、インド、中国、東南アジア——今こそ諸外国の再生可能エネルギー事情に学び、原子力発電に依存する社会から持続可能なエネルギー社会への変革を！ 最新の研究成果に基づく未来づくりへの提言書。

真板 昭夫・石森 秀三・海津 ゆりえ 編

学ぶ人

エコツーリズムを学ぶ人のために

四六判並製／368頁
2,750円／2011年
978-4-7907-1543-6

エコツーリズムは単なる自然体験ツアーの代名詞ではない。世界同時多発的に普及し、観光にかかわるビジネス、地域・旅人の意識を大きく変えた「緑の観光革命」＝エコツーリズムを学び、あるいは地域で進めようとするすべての人に向けた入門書。

池谷 和信 編

セミナー

日本列島の野生生物と人

四六判並製／332頁
2,640円／2010年
978-4-7907-1471-2

シカ、イノシシ、トキ、アシカやアザラシ、そして山野の植物…様々な生物と人とはどのような関係を築いてきたのか。遺伝学、生態学、考古学、地理学、民俗学、文化人類学など学際的アプローチによって、両者の関係の過去・現在・未来を展望する。

真板 昭夫・河原 司 編

大覚寺大沢池 景観修復プロジェクト——古代と現代をむすぶ文化遺産

A5 判並製／224頁
2,860円／2009年
978-4-7907-1450-7

庭園としての美しさと同時に自然景観としての美しさも備えた自然系文化遺産・大覚寺大沢池の景観修復プロジェクト「ソウギョバスターズ」8年間の軌跡と成果、持続的保全と継承の仕組みづくりの試み。第3回日本観光研究学会・学会賞受賞。

和田 武 著

飛躍するドイツの再生可能エネルギー——地球温暖化防止と持続可能社会構築をめざして

A5 判並製／218頁
2,530円／2008年
978-4-7907-1346-3

先進地の事例からわれわれが学ぶべきことは？ 積極的な再生可能エネルギー普及策を実施し、飛躍的成果を挙げるドイツにおける市民の取り組み、それを推進・支援する国・自治体の政策、企業の活動を紹介し、持続可能な明るい未来を切り拓く。

秋道 智彌・黒倉 寿 編

人と魚の自然誌——母なるメコン河に生きる

四六判並製／294頁
2,530円／2008年
978-4-7907-1324-1

チベットに源を発し、インドシナ半島を貫く母なる大河。そこには1センチに満たないコイの仲間から、3メートルにもなるオオナマズまで、1200種を超える魚が棲むという。魚と人は、どんな関係を築いてきたのか。最新の調査をふまえて描く。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェン
ダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗思哲
教 学

歴
史

日本文学
日本文学

外国文学
芸術

環境
自然科学

教養
選書

こころ
の書

日常を
拓く知

世界
思想社

社会
学

政治 法律	井上 真 編	
経 済	四六判並製／272頁 2,090円／2006年 978-4-7907-1205-3	歩く、見る、聞く、話す。読む、書く、考える——研究と実践をどう橋渡しするのか。 開発と環境をどう調和させるのか。若いフィールドワーカーたちが、七転び八起きの 舞台裏を披露。現場に学びたい人、実践を志す人を熱い議論に誘う。
社 会	末原 達郎 著	
メ ディ ア マ ス コ ミ ニ	人間にとって農業とは何か	
ジ ェ ン ダ ー	A5 判上製／286頁 3,080円／2004年 国 978-4-7907-1092-9	地球の農業を知るために、私たちの食料を考えるために——人間は自然の中で農業を 生みだし、作物や家畜を育て、食料としてきた。市場経済化によって見えにくくなっ た本来の意味を、アフリカ、ヨーロッパ、日本の農業を取り上げて見つめなおす。
人 類 学	多田 道太郎 編	学ぶ人
教 育	環境文化を学ぶ人のために	
心 理	四六判並製／286頁 2,090円／2000年 国 978-4-7907-0810-0	人間とその周りを取り囲むものとしての環境について、環境文化の可能性（多田×河 合）、環境文化学入門（小関）をはじめ、著名論者が一般読書人にもわかりやすく、 専門家にとっても斬新なテーマで論じる。環境文化論の一つの基準となろう。
宗 教 哲 学	西田 利貞・上原 重男 編	学ぶ人
歴 史	霊長類学を学ぶ人のために	
日 本 語	四六判並製／394頁 2,640円／1999年 978-4-7907-0743-1	日本のサル学が生まれて半世紀——第一線で活躍する中堅・若手の研究者を結集し、 霊長類の生態、行動の進化、社会、の最新情報をわかりやすく提供する。サル学の最 前線を歩き、新たなスタンダードの誕生を告げる本（付「読書案内」）。
外 国 語		
環 境		
教 養 書		
ミ ラ イ の 書		
日 常 を 拓 く 知		
世 界 思 想 社		
社 会 学		

教養みらい選書



世界思想社という社名には、世界のあらゆる思想を受け止め、学問と教養を推進し、平和な世界を築くという、創業時の思いが込められています。その原点に立ち返り、「教養みらい選書」を創刊します。

教養というと、従来は一部のエリート、つまり支配層のものというイメージが強かったと思いますが、これからはもっと身近なものであるべきです。若い人が将来を切り開く助けになる、近未来の社会に生きる教養や知恵を身近なテーマから学ぶ本を発信していきます。

石黒 浩 著

(電子版あり)

《教養みらい選書 001》僕がロボットをつくる理由——未来の生き方を日常からデザインする

四六判並製／168頁
1,430円／2018年
978-4-7907-1708-9

ロボットや AI で私たちの生活はどう変わるか？ 衣食住から恋愛・仕事・創造の方法まで、ロボット研究の第一人者・石黒浩が、自身の経験や日々の過ごし方を交え、「新しい世界を拓く楽しさ」と人生を率直に語る。世界を変えるツボがここにある！

楢垣 立哉 著

(電子版あり)

《教養みらい選書 002》食べることの哲学

四六判並製／208頁
1,870円／2018年
978-4-7907-1711-9

ブタもクジラも食べるのに、イヌやネコはなぜ食べないのか？ 宮澤賢治「よだかの星」など食をめぐる身近な素材を、フランス現代哲学と日本哲学のマリアージュで独創的に調理し、濃厚な味わいに仕上げたエッセイ。食の隠れた本質に迫る逸品。

榎木 野衣 著

(電子版あり)

《教養みらい選書 003》感性は感動しない——美術の見方、批評の作法

四六判並製／208頁
1,870円／2018年
978-4-7907-1713-3

子供の絵はなぜいいの？絵はどうやって見てどう評価すればいい？美術批評家・榎木野衣は、どのようにつくられ、どんなふうに住して生きているのか？絵の見方と批評の作法を伝授し、批評の根となる人生を描く。著者初の書き下ろしエッセイ集。

岡田 暁生 著

(電子版あり)

《教養みらい選書 004》音楽と出会う——21世紀のつきあい方

四六判並製／208頁
1,870円／2019年
978-4-7907-1730-0

人生を変えるような音楽と出会うには？ ネット動画、AI による自動作曲、カリスマ不在、癒し音楽ブーム…近代西洋音楽史を専門とする著者が、21世紀固有の音楽現象に挑み、規格外の音楽とつきあう楽しさを自在に語る。著者おすすめの音楽も紹介。

谷口 忠大 著

(電子版あり)

《教養みらい選書 005》賀茂川コミュニケーション塾——ビブリオバトルから人工知能まで

四六判並製／240頁
1,870円／2019年
978-4-7907-1737-9

ビブリオバトルって何？コミュニケーションするロボットは創れる？ビブリオバトルの考案者にして人工知能の研究者が、既存の学問枠組みにとらわれずに、コミュニケーションの新しい視点を伝授。教授と高校生の対話によるライトノベル形式の入門書。

鷺田 清一 著

(電子版あり)

《教養みらい選書 006》二枚腰のすすめ——鷺田清一の人生案内

四六判並製／208頁
1,870円／2020年
978-4-7907-1742-3

どん底でも押し潰されずにもちこたえるための算段。読売新聞の人気連載「人生案内」から71の名問答を厳選。回答を裏打ちする人生作法「二枚腰のすすめ」は書き下ろし。付録は、自身の二枚腰の人生を描いた写真満載の自筆年譜と全著書リスト。

長谷川 真理子 著

(電子版あり)

《教養みらい選書 007》人、イヌと暮らす——進化、愛情、社会

四六判並製／200頁
1,870円／2021年
978-4-7907-1763-8

進化生物学者と心理学者の夫婦の家に、真っ白な可愛い子犬がやってきた。名前はキクマル。続いて、やんちゃな暴れん坊コギク、可愛いわがまま娘のマギー。3頭3様、個性の違う彼らと一緒に暮らして考えたことをつづる。科学×愛犬エッセイ。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェン
ダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗思哲
教 学

歴
史

日本語
日本文学

外国語
外国文学
芸術

環境
自然科学

教養みらい
選書
こころの
叢書

日常を
拓く知

世界思想社
現代思想叢書

社会学
ベジアンズ

政治 法律	磯前 順一 著		電子版あり
経 済	〈教養みらい選書 008〉居場所のなさを旅しよう		
社 会	四六判並製／190頁 1,870円／2023年 978-4-7907-1786-7	「友だちがいないやつは格好悪い」「居場所がないことは恥ずかしい」——そんなふう に悩むあなたへ。どこにも所属できない居心地の悪さについて、とことん考えてみよ う。アウトサイダーの思想を手がかりに世界を旅する一冊。詩人の斉藤倫氏推薦！	
マ ス コ ミ ア	宮本 匠 著		
ジ ェ ン ダ ー	〈教養みらい選書 009〉「みんな」って誰？——災間と過疎をのびのび生きる		
人 類 学	四六判並製／176頁 1,870円／2024年 978-4-7907-1794-2	人口減少と高齢化が進む社会で、災害に見舞われた地域は活力をどう取り戻したか。 「みんな」（＝空気）の力を知り、右肩下がりの時代を豊かに生きるための実践的ガイ ド。20年にわたる実践研究に基づき、組織と自分を変える新しい視点を提供。	
教 育			
心 理			
宗 思 哲 教 想 学			
歴 史			
日 本 語 日 本 文 学			
外 国 語 外 国 文 学 芸 術			
環 境 自 然 科 学			
こ じ も の み ら い 叢 書			
日 常 を 拓 く 知			
世 界 思 想 社 現 代 思 想 叢 書			
社 会 学 ベ ジ ン ス			

こどものみらい叢書



終戦より七十余年を経て、私たちをとりまく世界は大きく変化しています。こどもの生活や教育の問題については、長期的なヴィジョンと個別の適切な対応が必要にもかかわらず、長い混沌状態から抜け出せていません。

私たちには、前の世代から受け継いできたものをより豊かにして次の世代につたえていく責任があります。そのために、いま一度、私たちの行為が「こどもたちの幸せにつながるのか」という視点に立ち戻る必要があるのではないのでしょうか。

そこで当社では、さまざまな分野の専門家によるエッセイをとおして、こどもたちについてより深く理解すると同時に、こどもたちの生命と人権が尊重され、かれらが自由に未来を創造できる社会を考察しようと、本叢書を企画いたしました。

こどもは、一粒の小さな種子であり、遙かなる生命の歴史と叡智が詰まった贈り物です。また、こどもは芽を吹きはじめた一本の苗であり、みずから生きていく強い力をもっています。本叢書が、そんな可能性を秘めた小さな命を育む営みに少しでも寄与できればと願っています。

(創刊のことばより)

佐川 光晴 著

(電子版あり)

《こどものみらい叢書①》おいしい育児——家でも輝け、おとうさん！

四六判並製／128頁
1,430円／2018年
978-4-7907-1709-6

おとうさんが家事と育児をするのがあたりまえになってほしい。そうすれば世の中は変わる。主夫として二人の息子を育ててきた小説家が、固定観念を乗り越えた先にあ
る豊かな育児生活を提案。料理家・文筆家の高山なおみさん推薦！

山下 太郎 著

(電子版あり)

《こどものみらい叢書②》お山の幼稚園で育つ

四六判並製／152頁
1,540円／2018年
978-4-7907-1712-6

歩いての登園、森の探検遊び、俳句の素読などユニークな実践をするお山の幼稚園。
幼児教育は全ての教育の根っこと信じる園長が子ども達の無限の可能性を綴る。中川
李枝子氏推薦！「目の前の子ども一人一人がよくわかり、いっそういとおくなる」

片岡 佳美 著

(電子版あり)

《こどものみらい叢書③》子どもが教えてくれた世界——家族社会学者と息子と猫と

四六判並製／152頁
1,540円／2018年
978-4-7907-1721-8

それって大人の都合だよ——そんな視点があれば、大人も子どもも「～ねばならな
い」という呪縛から自由になれる。日常でのふとした疑問を、小学生の息子と猫と暮
らす家族社会学者と共に、じっくり考えてみませんか。社会活動家・湯浅誠さん推薦！

松崎 行代 著

(電子版あり)

《こどものみらい叢書④》遊びからはじまる

四六判並製／208頁
1,760円／2020年
978-4-7907-1746-1

子どもにとって生活は遊びそのもの。遊びは子どもの心とからだを丸ごと育てる。絵
本、紙芝居、人形劇、お絵かき、ごっこ遊び、感触遊び、料理、かたづけ、栽培…。
沢山の遊びを通して、子どもの育ちを見つめる。絵本作家・中川ひろたかさん推薦！

高石 恭子 著

(電子版あり)

《こどものみらい叢書⑤》子育ての常識から自由になるレッスン——おかあさんのミカタ

四六判並製／200頁
1,870円／2022年
978-4-7907-1756-0

「母とはこうあるべき」という「常識」がおかあさんの心を縛りつけている。大切な
のは、育てる側の心が自由で生き生きとしていること。社会と母親自身の「おかあさ
んのミカタ」を解きほぐし、別れを見すえた親子関係を考える。俵万智さん推薦！

中島 京子 著

(電子版あり)

《こどものみらい叢書⑥》ワンダーランドに卒業はない

四六判並製／214頁
1,760円／2022年
978-4-7907-1772-0

空想が日常の子ども時代、誰もが異世界へと旅する時間を持つ。物語に没頭する喜び
は、ずっとあなたを支えてくれる。本を開いて、自分の中の子どもに会いにいこう。
『クマのプーさん』から『ゲド戦記』まで——中島京子・初の児童文学エッセイ集。

政法
治律

経
済

社
会

マス
コミ

ジェ
ンダー

人類
学

教
育

心
理

宗思哲
教 学

歴
史

日本
文学

外国
文学

環
境

自然
科学

教養
書

こ
ど
も
の
み
ら
い
叢
書

日
常
を
知
る

世
界
思
想
社

社
会
学

政法
治律

経
済

社
会

メディア
コミュニケーション

ジェン
ダー

人類学
民俗学

教育

心理

宗 教
思想学

歴
史

日本語
日本文学

外国語
文学

環境
科学

教養
選書

子どもの
暮らし

日常を
拓く知

世界思想社
現代思想書

社会
学

日常を拓く知



全6巻

神戸女学院大学文学部総合文化学科 監修

くらしのなかの営みを取り上げ、生きる手ざわりをもとにした新しい知性を手に入れる！ 学問を日常の現場に連れ戻し、よりよき生き方を提唱するシリーズ。

大橋 完太郎 編

《日常を拓く知 1》知る・学ぶ

四六判並製／208頁
1,980円／2013年
978-4-7907-1603-7

知の可能性と大学の面白さを再発見！「知る」とは何か？ 何をどう学ぶべきか？ 哲学・文学から国際法・社会福祉学まで幅広い分野の人々が、座談会・エッセイ・学問の地図という3つの形式で、「学ぶこと」と「生きること」を結びあわせる。

河西 秀哉 編

《日常を拓く知 2》恋する

四六判並製／194頁
1,980円／2014年
978-4-7907-1621-1

人はなぜ〈恋する〉のか？ 〈恋する〉気持ちは時代や地域で変わるのか？ スタンダールの『恋愛論』から『ハチクロ』まで多彩な恋をとりあげ、対談・エッセイ・ブックガイドという3つの形式で「恋すること」と「生きること」を結びあわせる。

建石 始 編

《日常を拓く知 3》伝える

四六判並製／186頁
1,980円／2014年
978-4-7907-1633-4

言葉は何を伝えるのか？ 社会・文化と言語の関係とは？ 『全国アホ・バカ分布考』から『エースをねらえ！』まで多様な題材から言葉を見つめ直し、対談・エッセイ・ブックガイドの3つの形式で「伝えること」と「生きること」を結びあわせる。

景山 佳代子 編

《日常を拓く知 4》食べる

四六判並製／192頁
1,980円／2015年
978-4-7907-1648-8

人は何のために〈食べる〉のか？ 食をめぐるグローバルな問題とは？ 『エビと日本人』から『ブタがいた教室』まで食の多様なあり方をとりあげ、対談・エッセイ・ブックガイドの3つの形式で「食べること」と「生きること」を結びあわせる。

桐生 裕子 編

《日常を拓く知 5》旅する

四六判並製／184頁
1,980円／2015年
978-4-7907-1664-0

人はなぜ〈旅する〉のか？ 旅と旅行はどう違うのか？ 旅とはなにか？ 『ギルガメッシュ叙事詩』から『千と千尋の神隠し』まで古今東西の旅をとりあげ、対談・エッセイ・ブックガイドの3つの形式で「旅すること」と「生きること」を結びあわせる。

與那嶺 司 編

《日常を拓く知 6》支える

四六判並製／184頁
1,980円／2016年
978-4-7907-1673-0

支えるだけ／支えられるだけの人はいるのか？ スタインベック『ハツカネズミと人間』から『こんな夜更けにバナナかよ』まで多様な支え合いをとりあげ、対談・エッセイ・ブックガイドの3つの形式で「支えること」と「生きること」を結びあわせる。

日常を拓く知 古典を読む



全5巻
神戸女学院大学文学部総合文化学科 監修

時間や場所を超えて多くの人びとの心をとらえてきた古典を手がかりに、現代の「常識」を問いなおす。学問を日常の現場に連れ戻し、よりよい生き方を提唱するシリーズ第2弾！

景山 佳代子 編

〈日常を拓く知 古典を読む 1〉やさしさ

四六判並製／128頁
1,650円／2017年
978-4-7907-1704-1

その〈やさしさ〉、疑ってみませんか？——ボランティアは「偽善」なのか？ 傷つけないことがやさしさなのか？ 『旧約聖書』『バイドン』『緋文字』『たけくらべ』『母よ！殺すな』などの古典を手がかりに、やさしさの深遠に迫る。

北川 将之 編

〈日常を拓く知 古典を読む 2〉つよさ

四六判並製／128頁
1,650円／2018年
978-4-7907-1720-1

今を生き抜く〈つよさ〉を求めて——つよいリーダーは危ない？ 助けられないことが人を助ける？ 『キッチン』『べてるの家の「非」援助論』『わが闘争』などの古典から、現代のつよさのあり方を問いなおす。

笹尾 佳代 編

〈日常を拓く知 古典を読む 3〉さびしさ

四六判並製／120頁
1,650円／2019年
978-4-7907-1736-2

〈さびしさ〉におびえていませんか？——SNS にふりまわされるのはなぜ？ 本当に孤独な人は孤独を知らない？ ジンメル『社会学』や『ヨブ記』『明治大帝』『孤独な群衆』『哲学する民主主義』などの古典をたどり、さびしさとともにある生を考える。

栗山 圭子 編

〈日常を拓く知 古典を読む 4〉ゆたかさ

四六判並製／132頁
1,650円／2020年
978-4-7907-1745-4

あなたにとっての〈ゆたかさ〉とは？——格差はなぜ広がる？ 世界幸福度ランキング、日本は何位？ 『資本論』『方丈記』『イタリア絵画史』『科学』『苦海浄土』などの古典をとらえて、この世界のゆたかさを覗き込む。

奥野 佐矢子 編

〈日常を拓く知 古典を読む 5〉うつくしさ

四六判並製／126頁
1,650円／2021年
978-4-7907-1757-7

人はなぜ、〈うつくしさ〉を求めるの？——美が健康と結びつくのはなぜ？ 平安貴族は仕事ぶりのうつくしさにこだわる？ 『ヴェニスに死す』『王朝の貴族』『アイヌ神謡集』などの古典をひもとく、うつくしさの謎に触れてみる。

政治
法律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学
思
想

歴
史

日
本
文
学
日
本
語

外
国
文
学
外
国
語
芸
術

環
境
科
学
自
然
科
学

教
養
選
書
み
ら
い

こ
の
と
の
み
ら
い
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
思
想
叢
書

社
会
学
ベ
ジ
ン
グ
ス

政法
治律

経
済

社
会

メディア
コミュニケーション

ジェンダー

人類学
民俗学

教育

心理

宗
教
哲
学

歴
史

日本語
日本文学

外国語
外国文学
芸術

環境
自然科学

教養
選書

こどもの
暮らし
暮らし

日常を
拓く知

世界思想社
現代思想叢書

社会
ベジンス

世界思想社 現代哲学叢書



本叢書創刊の2011年という年は、日本人にとって忘れられない年となった。3月11日午後2時46分、マグニチュード9という巨大地震が東北・三陸地方を襲ったのである。それに伴う大津波が甚大な被害をもたらし、2万人に及ぶ死者・行方不明者を出した。それと同時に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故によって大量の放射能が放出され、その終息には長い年月を要するとされている。

こうした現実を前にして学問に何ができるのか。とりわけ哲学はその時代の人々の生き方を問うものでなければならぬ。多種多様な現代的諸問題と哲学はどのように格闘しているのか。本叢書はそうした哲学の「現場」をさまざまな角度・論点から紹介し、その最前線へと読者をいざなおうとする試みである。読者は著者と対峙することで、自らの思索を深めることができるであろう。本叢書がそのための一助となることを願ってやまない。

(創刊のことばより)

徳永 哲也 著

プラクティカル 生命・環境倫理——「生命圏の倫理学」の展開

四六判並製／272頁
2,200円／2015年
978-4-7907-1666-2

功利主義・義務論・徳倫理学という規範理論と、農と食、原発の是非など生命と環境を揺るがせる21世紀の現実を正面からクロスさせて論じ、「筋を通す」語りや解決へ向かう思考の土台となる「プラクティカル＝実践的」な生命圏倫理を提言。

木岡 伸夫 著

〈あいだ〉を開く——レンマの地平

四六判並製／210頁
1,980円／2014年 国
978-4-7907-1643-3

西田幾多郎の系譜上で独自の個性を放つ山内得立の思想に着目し、古代インドに発するもう一つの論理、レンマの地平を見極める。ロゴスの二元論に分断された人と自然、人との〈あいだ〉を回復し、生命と環境の危機から蘇生する道を切り拓く。

杉田 聡 著

「3・11」後の技術と人間——技術的理性への問い

四六判並製／254頁
2,090円／2014年
978-4-7907-1611-2

大震災を機に哲学が問うべきは、近代において理性が、技術・テクノロジーに依存する「技術的理性」に変貌したという事実である。原発をはじめとする技術問題を組上に載せて「技術的理性」の諸特質について論じ、その変革可能性を考察する。

安彦 一恵 著

「道徳的である」とはどういうことか——要説・倫理学原論

四六判並製／214頁
1,980円／2013年
978-4-7907-1609-9

カント、ムア、ロス、ヘア、ロールズ、ハーバマス、大庭健、永井均等の道徳説を検討し、併せて「利己」ということを突き詰めて考察、「功利主義」について新しい解釈を施しつつ、「義務論 vs. 帰結主義」という基本対立構図を基底的に問い直す。

徳永 哲也 著

ベーシック 生命・環境倫理——「生命圏の倫理学」序説

四六判並製／248頁
2,090円／2012年
978-4-7907-1606-8

妊娠中絶や人工生殖、安楽死や脳死・臓器移植等の生命倫理と、自然の権利、世代間倫理、地球全体主義という環境倫理の問題を踏まえつつ、いのちを守る身体（内的環境）と自然や地球（外的環境）の統合的な持続を考える「生命圏の倫理学」を提唱。

加茂 直樹 著

社会保障の哲学——日本の現状を把握し、未来を展望する

四六判並製／202頁
1,980円／2012年
978-4-7907-1576-4

年金、医療、保険、税制、雇用、格差、貧困、等々——国民的関心の高いこれらの現状はどうなっているか。日本の社会保障制度の歴史的展開をたどりつつ、各種資料を駆使してその現状と問題点を鋭く指摘、今後の社会保障のあるべき姿を展望する。

加藤 尚武 著

災害論——安全性工学への疑問

四六判並製／216頁
1,980円／2011年
978-4-7907-1541-2

「絶対安全」と言われたフクシマ原発事故の原因は、技術体系と責任制度のミスマッチにあった。技術の暴走はなぜ起こり、どうすれば止められるのか。原発事故の原因究明から復興の倫理まで、未来世代への責任という視点から原発問題を考える。

政 法
治 律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗 思 哲
教 想 学

歴
史

日 本 語
日 本 文 学

外 国 語
外 国 文 学
芸 術

環
境
自
然
科
学

教
養
み
ら
い
選
書

こ
じ
も
の
み
ら
い
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
現
代
學
叢
書

社
会
学
ベ
ジ
ン
ク
ス

政治
法律経
済社
会メディア
コミュニケーション

ジェンダー

人類学
民俗学教
育心
理宗 教
思想学歴
史日本語
日本文学外国語
外国文学
芸術環境学
自然科学教養
選書子どもの
暮らし
選書日常を
拓く知世界思想社
現代思想選書社会学
ベジタブル

社会学ベーシックス

全10巻＋別巻1
井上 俊・伊藤 公雄 編

社会学を学ぶ人にとってベーシックな文献を、各10ページでガイド。文献の概要と学説史的背景、現代的意義を整理し、著者のエピソードや人脈に触れ、さらにポイントとなる引用文も加えて立体的に編成しました。執筆陣は、気鋭の若手から著名な研究者まで、第一線で活躍中の方々。社会学および隣接する諸学がこれまで蓄積してきた知の財産目録をコンパクトに鳥瞰し、読者を本の森へと誘います。初学者はもちろん専門家まで幅広く活用していただけるシリーズです。

〈社会学ベーシックス 1〉

自己・他者・関係

四六判並製／272頁
2,200円／2008年 国
978-4-7907-1362-3

つながりの力学——ミクロ社会学の射程 ヴェーバーの『社会学の基礎概念』から、ハーバーマスの『コミュニケーション的行為の理論』まで、ミクロ社会学24の視点から社会を読み解く。

〈社会学ベーシックス 2〉

社会の構造と変動

四六判並製／270頁
2,200円／2008年 国
978-4-7907-1349-4

近代から現代へ——変貌する社会のゆくえ コントが「三状態の法則」を提示した論文から、バウマンの『リキッド・モダニティ』まで、24冊のガイドでマクロ社会学を鳥瞰する。

〈社会学ベーシックス 3〉

文化の社会学

四六判並製／292頁
2,200円／2009年 国
978-4-7907-1423-1

「意味」の誘惑——文化による拘束と解放 マリノフスキー『文化の科学的理論』から蓮實重彦『小説から遠く離れて』まで、人々がなぜ「意味」を求めてしまうのかについて探究する、文化の社会学26の名著解題。

〈社会学ベーシックス 4〉

都市的世界

四六判並製／270頁
2,200円／2008年 国
978-4-7907-1373-9

「自由」の光と影——都市空間を生きる パークらの『都市』からライアの『監視社会』まで、複雑化・巨大化する都市の諸相と人々の生のあり方をとらえる都市社会学の名著解題。

〈社会学ベーシックス 5〉

近代家族とジェンダー

四六判並製／270頁
2,200円／2010年 国
978-4-7907-1449-1

親密性のゆらぎ——多様化する〈生〉と〈性〉 アリエス『〈子供〉の誕生』からボーヴォワール『第二の性』、そして上野千鶴子『ナショナリズムとジェンダー』まで、ジェンダー・家族論の名著24冊。

〈社会学ベーシックス 6〉

メディア・情報・消費社会

四六判並製／260頁
2,200円／2009年 国
978-4-7907-1443-9

記号化する世界——主体と欲望の変容 マクルーハン『グーテンベルクの銀河系』から見田宗介『現代社会の理論』まで、近代から現代に至る社会の変貌を鮮やかに描き出す23の名著解題。

〈社会学ベーシックス 7〉

ポピュラー文化

四六判並製／248頁
2,200円／2009年 図
978-4-7907-1408-8

民衆のイマジネーション——夢と理想の織物 ホルクハイマー／アドルノ『啓蒙の弁証法』から鶴見俊輔『限界芸術論』『戦後日本の大衆文化史』まで、ポピュラー文化の多彩な模様を鮮やかに写しとる24の名著解題。

〈社会学ベーシックス 8〉

身体・セクシュアリティ・スポーツ

四六判並製／260頁
2,200円／2010年
978-4-7907-1456-9

〈からだ〉の社会学——生の基層へ モース『身体技法』からバトラー『ジェンダー・トラブル』、マーフィー『ボディ・サイレント』、ハーグリーヴス『スポーツ・権力・文化』まで、身体をめぐる社会の諸相を浮き彫りにする23の名著解題。

〈社会学ベーシックス 9〉

政治・権力・公共性

四六判並製／290頁
2,200円／2011年
978-4-7907-1520-7

正義と自由——あるべき社会の構想 モンテスキュー『法の精神』からベラー『心の習慣』『善い社会』まで、時代に鋭く切り込む社会構想をさまざまな視点から提示する26の名著解題。

〈社会学ベーシックス 10〉

日本の社会と文化

四六判並製／280頁
2,200円／2010年
978-4-7907-1486-6

比較と自省——アイデンティティの模索 柳田国男『明治大正史世相篇』、ベネディクト『菊と刀』、山崎正和『柔らかな個人主義の誕生』、ウォルフレン『日本／権力構造の謎』など、日本人のアイデンティティを読み解く名著27冊を解題。

〈社会学ベーシックス 別巻〉

社会学的思考

四六判並製／296頁
2,200円／2011年 図
978-4-7907-1525-2

Doing Sociology —— 〈社会〉を可視化する技法 マルクス、ヴェーバーからブルデュー、ベッカーまで、「社会学する」ための基本的な方法を提示する名著24冊を解題。付録：全巻目次／文献名索引／著者名索引／主題索引／執筆者索引

政 法
治 律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ュ
ニ
カ
ー

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗 思 哲
教 学 学

歴
史

日 本
本 語
文 学

外 国
外 国
文 学
語 学

環
境
学
自
然
科
学

教
養
の
選
書

こ
の
世
代
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
学
叢
書

社
会
学
ベ
シ
ッ
ク
ス

品切書目一覧

図：絶版
(電子版あり)：電子書店にて電子書籍を配信しています

盆栽の社会学——日本文化の構造 池井 望 (1978年)	セミ	零度の社会——詐欺と贈与の社会学 荻野 昌弘 (2005年)
言語学を学ぶ人のために 西田 龍雄 編 (1986年)	学ぶ人	社会空間の人類学——マテリアリティ・主体・モダニティ 西井 凉子・田辺 繁治 編 (2006年)
異文化の語り方——あるいは猫好きのための人類学入門 中川 敏 (1992年)	セミ	クリティカル・シンキングと教育——日本の教育を再構築する 鈴木 健・大井 恭子・竹前 文夫 編 (2006年)
家と村の社会学〔増補版〕 鳥越 皓之 (1993年)	セミ	イギリス文化を学ぶ人のために 小泉 博一・飯田 操・桂山 康司 編 (2004年)
民族紛争を生きる人びと——現代アフリカの国家とマイノリティ 栗本 英世 (1996年)	セミ	フランス中世文学を学ぶ人のために 原野 昇 編 (2007年)
芸術学を学ぶ人のために 太田 喬夫 編 (1999年)	学ぶ人	先住民の知識人類学——ニュージーランド=マオリの知と社会に関するエスノグラフィ 伊藤 泰信 (2007年)
社会問題の社会学——構築主義アプローチの新展開 中河 伸俊 (1999年)	セミ	アメリカ研究の理論と実践——多民族社会における文化のポリティクス 佐々木 隆 監修/和泉 真澄・趙 無名 編著 (2007年)
民俗宗教を学ぶ人のために 山折 哲雄・川村 邦光 編 (1999年)	学ぶ人	ジェンダー人類学を読む——地域別・テーマ別基本文献レビュー 宇田川 妙子・中谷 文美 編 (2007年)
交差する身体と遊び——あいまいさの文化社会学 松田 恵示 (2001年)		断酒が作り出す共同性——アルコール依存からの回復を信じる人々 葛西 賢太 (2007年)
彷徨えるナショナリズム——オリエンタリズム/ジャパン/グローバリゼーション 阿部 潔 (2001年)		人類学的思考の歴史 竹沢 尚一郎 (2007年)
キリスト教と現代——終末思想の歴史的展開 芦名 定道・小原 克博 (2001年)	セミ	風景の論理——沈黙から語りへ 木岡 伸夫 (2007年)
小説のナラトロジー——主題と変奏 北岡 誠司・三野 博司 編 (2003年)	セミ	ひきこもりの社会学 井出 草平 (2007年)
クイズ文化の社会学 石田 佐恵子・小川 博司 編 (2003年)	セミ	ジェンダーで学ぶ宗教学 田中 雅一・川橋 範子 編 (2007年)
ジンメルの社会学理論——現代的解読の試み 早川 洋行 (2003年)	セミ	所有と分配の人類学——エチオピア農村社会の土地と富をめぐる力学 松村 圭一郎 (2008年) 図 (電子版あり)
チョコレートの文化誌 八杉 佳穂 (2004年)		「中立」新聞の形成 有山 輝雄 (2008年)
社会学のフィールドワーク 好井 裕明・三浦 耕吉郎 編 (2004年)	セミ	〔新版〕ライフヒストリーを学ぶ人のために 谷 富夫 編 (2008年)
昭和作家の〈南洋行〉 木村 一信 (2004年)		ドラッグの社会学——向精神物質をめぐる作法と社会秩序 佐藤 哲彦 (2008年)
スポーツ・ボランティアへの招待——新しいスポーツ文化の可能性 山口 泰雄 編 (2004年)		自己形成の心理学——他者の森をかけ抜けて自己になる 溝上 慎一 (2008年) 図 (電子版あり)
生涯学習理論を学ぶ人のために 赤尾 勝己 編 (2004年)	学ぶ人	資料で読む教育と戦争——学生新聞を中心として 世界思想社編集部 編 (2008年)
ジェンダーで学ぶ文化人類学 田中 雅一・中谷 文美 編 (2005年)		『鉄腕アトム』の時代——映像産業の攻防 古田 尚輝 (2009年)
社会的コントロールの現在——新たな社会的世界の構築をめざして 宝月 誠・進藤 雄三 編 (2005年)		さわる文化への招待——触覚でみる手学問のすすめ 広瀬 浩二郎 (2009年)
「声」の有線メディア史——共同聴取から有線放送電話を巡る〈メディアの生涯〉 坂田 謙司 (2005年)		ポストドクター問題——科学技術人材のキャリア形成と展望 国立教育政策研究所・日本物理学会キャリア支援センター 編 (2009年)
立身出世主義〔増補版〕——近代日本のロマンと欲望 竹内 洋 (2005年)		日常人類学宣言！——生活世界の深層へ／から 松田 素二 (2009年)

天才の秘密——アスペルガー症候群と芸術的独創性

M. フィッツジェラルド / 井上 敏明 監訳 / 倉光 弘己・栗山 昭子・林 知代 訳 (2009年)

帝国とアジア・ネットワーク——長期の19世紀

龍谷 直人・脇村 孝平 編 (2009年)

ライブニッツを学ぶ人のために

学ぶ人

酒井 深・佐々木 能草 編 (2009年)

もっと知ろう!! わたしたちの隣人——ニューカマー外国人と日本社会

加藤 剛 編 (2010年)

ジェンダーで学ぶ言語学

中村 桃子 編 (2010年)

グローバルイゼーションと暴力——マイノリティーの恐怖

アルジュン・アパドゥライ / 藤倉 達郎 訳 (2010年)

ルソーを学ぶ人のために

学ぶ人

桑瀬 章二郎 編 (2010年)

パフォーマンス研究のキーワード——批判的カルチュラル・スタディーズ入門

高橋 雄一郎・鈴木 健 編 (2011年)

支援のフィールドワーク——開発と福祉の現場から

小國 和子・亀井 伸孝・飯嶋 秀治 編 (2011年)

フィールドワーカーズ・ハンドブック

日本文化人類学会 監修 / 鏡味 治也・関根 康正・橋本 和也・森山 工 編 (2011年)

現実批判の人類学——新世代のエスノグラフィへ

春日 直樹 編 (2011年)

(電子版あり)

ビザンツ貴族と皇帝政權——コムネノス朝支配体制の成立過程

根津 由喜夫 (2012年)

旧約聖書を学ぶ人のために

学ぶ人

並木 浩一・荒井 章三 編 (2012年)

生成する身体社会学——スポーツ・パフォーマンス／フロア体験／リズム

亀山 佳明 (2012年)

野生のエンジニアリング——タイ中小工業における人とモノの人類学

森田 敦郎 (2012年)

(電子版あり)

宗教とツーリズム——聖なるものの変容と持続

山中 弘 編 (2012年)

メディア文化とジェンダーの政治学——第三波フェミニズムの視点から

田中 東子 (2012年)

(電子版あり)

ポストモラトリアム時代の若者たち——社会的排除を超えて

村澤 和多里・山尾 貴則・村澤 真保呂 (2012年)

フィクション論への誘い——文学・歴史・遊び・人間

大浦 康介 編 (2013年)

グループ・ダイナミックス入門——組織と地域を変える実践学

ゼミ

杉万 俊夫 (2013年)

身体化の人類学——認知・記憶・言語・他者

菅原 和孝 編 (2013年)

ロボットの人類学——二〇世紀日本の機械と人間

久保 明教 (2015年)

(電子版あり)

人びとはなぜ満州へ渡ったのか——長野県社会運動と移民

小林 信介 (2015年)

(電子版あり)

参加型アクションリサーチ(CBPR)の理論と実践——社会変革のための研究方法論

武田 丈 (2015年)

(電子版あり)

現代スポーツを読む——スポーツ考現学の試み〔オンデマンド版〕

ゼミ

佐伯 年詩雄 (2018年)

瀧川幸辰刑法著作集

団藤 重光・中武 靖夫・竹内 正・木村 静子・
大野 真義・瀧川 春雄 編集委員 (全5巻)
(1981年)

第一巻

刑法読本

刑法総論

刑法各論

刑法史の成る断層面

第二巻

犯罪論序説 (改訂版)

増補 刑法各論

刑法講話

第三巻

刑事法判決批評 第一巻

刑事法判決批評 第二巻

陪審裁判

陪審法

第四巻〈論文集〉

〔犯罪論〕／〔刑罰論〕／〔刑法思想〕に関する諸論文

第五巻〈論文集〉

〔刑法および法律学〕／〔刑事裁判と人権〕／〔刑法理論と犯罪論〕に関する諸論文

刑法雑筆抄

刑法と社会抄

書名索引

* 品切書目を含む

書名索引

あ行

〈あいだ〉を開く	72
アイデンティティの音楽	29
愛と孤独のfolklore	30
アイルランド・ケルト文化を学ぶ人のために	61
赤ちゃん学を学ぶ人のために	42
芥川龍之介を学ぶ人のために	57
アジア系アメリカ演劇	61
アジア系アメリカ文学を学ぶ人のために	60
アジアの土壌汚染	5
遊びからはじまる〈こどものみらい叢書④〉	69
新しい幼児教育を学ぶ人のために	41
アート教育を学ぶ人のために	63
あのこと 京都の暮らし	21
アフリカ音楽学の挑戦	60
アフリカ社会を学ぶ人のために	33
アフリカ農民の経済	37
アフリカの王権と祭祀	36
アフリカの都市の世界	38
アフリカを学ぶ人のために	8
アボリジニ社会のジェンダー人類学	36
アメリカ研究の理論と実践	76
アメリカの国際観光経済	6
アラブ・イスラム社会の異人論	36
アンデス世界	51
イエスの現場	47
家と村の社会学〔増補版〕	76
イギリス近代出版の諸相	64
イギリス文化を学ぶ人のために	76
イギリス理想主義の展開と河合榮治郎	44
生きることの社会学	9
育児言説の社会学	11
「いじめ自殺」の社会学	12
「いじめ」のメカニズム	14
祈りの人間学	46
居場所のなさを旅しよう〈教養みらい選書 008〉	68
異文化コミュニケーションを学ぶ人のために	20
異文化の語り方	76
異文化の学びかた・描きかた	37
癒しの歴史人類学	37
医療IT化と生命倫理	46
医療社会学を学ぶ人のために	23
ヴォルテールを学ぶ人のために	60
ウサギの日本文化史	38
氏と戸籍の女性史	6
ウスビ・サコの「まだ、空気読めません」	9
美しいってなんだろう?	59
うつくしき〈日常を拓く知 古典を読む5〉	71
海を生きる技術と知識の民族誌	35
映画で日本文化を学ぶ人のために	28
映画の詩学	59

エイサー物語	59
エイズと文学	60
エコツーリズムを学ぶ人のために	65
エスノメソドロジーを学ぶ人のために	15
エチュードの青春志	29
おいしい育児〈こどものみらい叢書①〉	69
老いの人類学	37
王朝女流日記を学ぶ人のために	58
王朝文化を学ぶ人のために	55
応用哲学を学ぶ人のために	45
沖縄の植民地的近代	51
男漱石を女が読む	54
おもちゃと遊びのリアル	21
お山の幼稚園で育つ〈こどものみらい叢書②〉	69
オランダ流ワーク・ライフ・バランス	12
織り上げられた動物たちと花々	51
音楽と出会う〈教養みらい選書 004〉	67
音楽のアラベスク	63
「女の仕事」のエスノグラフィ	37

か行

海域世界の民族誌	36
介護ライフスタイルの社会学〔新版〕	12
〈外地〉日本語文学論	56
解放のソーシャルワーク	18
会話分析の方法	10
カウンセリングを学ぶ人のために	43
科学化する日常の社会学	13
科学技術倫理を学ぶ人のために	47
科学哲学入門	50
鏡と仮面	23
拡大する世界の再生可能エネルギー	65
「華人性」の民族誌	34
家族社会学を学ぶ人のために	15
家族はなぜ介護してしまうのか	10
家庭教育を学ぶ人のために	40
カナダ・イヌイットの食文化と社会変化	35
可能性としての国家誌	38
可能性としての文化社会学	14
『貨幣の哲学』という作品	20
「神」という謎〔第二版〕	47
神をつくる	34
仮面パフォーマンスの人類学	38
賀茂川コミュニケーション塾〈教養みらい選書 005〉	67
カヤネズミの本	65
「からだ」の社会学	17
河内の古道と古墳を学ぶ人のために	52
環境文化を学ぶ人のために	66
環境問題の科学社会学	14
観光開発と文化	37
観光経験の人類学	34

感情の発達と障害	42
感性は感動しない〈教養みらい選書 003〉	67
カントと形而上学	49
カントを学ぶ人のために	45
観念説の謎解き	47
管理される心	23
キーコンセプト 文化	45
技術者の姿	18
基礎社会学〔新訂第5版〕	8
基礎ゼミ 社会学	11
基礎ゼミ 社会福祉学	8
基礎ゼミ 宗教学〔第2版〕	43
基礎ゼミ 政治学	4
基礎ゼミ メディアスタディーズ	25
ギニア湾の悪魔	31
キャリアに活かす雇用関係論	6
旧約聖書を学ぶ人のために	77
教育社会学を学ぶ人のために〔新版〕	13
教育の3C時代	40
教育文化を学ぶ人のために	14
境界への欲望あるいは変身	61
強制収容とアイデンティティ・シフト	52
京都学を学ぶ人のために	21
京都語を学ぶ人のために	56
京都発・庭の歴史	51
京都不案内	53
虚構の生	54
ギリシア思想のオデュッセイア	46
ギリシア・ローマ文学と十八世紀英文学	59
キリスト教と現代	76
近世演劇を学ぶ人のために	58
近代アジアと台湾	53
近代家族とジェンダー〈社会学ベシックス5〉	74
近代性論再考	20
近代短歌を学ぶ人のために	57
クイズ文化の社会学	76
グッドワークとフロー体験	41
苦悩とケアの人類学	32
クリエイティビティ	41
クリティカル・シンキングと教育	76
グループ・ダイナミクス入門	77
グローバリゼーションと都市変容	14
グローバリゼーションと暴力	77
グローバル化時代の文化・社会を学ぶ	32
グローバル化とイスラム	45
グローバル化のなかの宗教	47
グローバル経済と中小企業	7
グローバル・コミュニケーション論	18
グローバル社会の異文化論	21
景気の回復が感じられないのはなぜか	6
芸術学を学ぶ人のために	76
芸術を哲学する	50
刑法各論	4

刑法総論〔新装版〕	4	みらい叢書③	69	死にゆく過程を生きる	11
計量社会学入門	11	子ども・学校・社会	40	死の島からの旅	54
ゲオルク・ジンメルと社会学	22	子どもたちがつくる町	9	司馬遼太郎 旅する感性	53
月経の人類学	31	子ども論を読む	21	〈自分〉のありか	47
結婚と死をめぐる女の民族誌	35	コミュニケーション・スタディーズ		自閉症が文化をつくる	8
言語学を学ぶ人のために	76	〔新版〕	9	資本主義を超えて	16
言語ゲームが世界を創る	34	コミュニケーション・メディア	29	社会学的思考〈社会学ベーシックス別	
言語コミュニケーション能力を育てる	40	これらの体育を学ぶ人のために	40	巻〉	75
		今昔物語集を学ぶ人のために	57	社会学的想像力のために	18
現実批判の人類学	77			社会学的フィールドワーク	76
源氏物語の乳母学	56	さ 行		社会空間の人類学	76
源氏物語を学ぶ人のために	58	災害の物語学	60	社会心理学を学ぶ人のために	43
原初バブルと《メサイア》伝説	52	災害論	73	社会政策を学ぶ人のために〔三訂〕	18
現代医療の社会学〔新版〕	12	罪刑法定主義〔新訂第二版〕	4	社会調査と権力	19
現代音楽の練習帖	62	差異とつながりの民族誌	35	社会的コントロールの現在	76
現代芸術としての能	54	差異とは何か	44	社会哲学の現代的展開	49
現代スポーツを読む	19	在日コリアンの宗教と祭り	37	社会哲学を学ぶ人のために	49
現代スポーツを読む〔オンデマンド		『サウンド・オブ・ミュージック』で		社会の構造と変動〈社会学ベーシッ	
版〕	77	学ぶ欧米文化	61	ス2〉	74
現代生殖医療	20	支える〈日常を拓く知6〉	70	社会の実存と存在	24
現代青年の心理学	42	サッカー狂の社会学	24	社会保障の哲学	72
現代デュエイ思想の再評価	41	サバンナの河の民	35	社会問題の社会学	76
現代日本の家族と社会保障	15	さびしさ〈日常を拓く知 古典を読む		ジャーナリズムと権力	28
現代日本の宗教社会学	50	3〉	71	ジャーナリズムの起源	28
現代日本の消費空間	21	サブカルチャーの社会学	23	ジャーナリズムの政治社会学	27
現代フランスを生きるジブシー	32	彷徨えるナショナリズム	76	十九世紀フランス文学を学ぶ人のため	
現代文化人類学の課題	35	さわる文化への招待	76	に	59
現代文化を学ぶ人のために〔全訂新		参加型アクションリサーチ (CBPR)		十九世紀ロンドン生活の光と影	63
版〕	12	の理論と実践	77	宗教社会学を学ぶ人のために	44
現代法学を学ぶ人のために〔第二版〕	5	「3・11」後の技術と人間	72	宗教多元主義を学ぶ人のために	46
		ジェイン・オースティンの生涯	61	宗教とツーリズム	77
現代メディアスポーツ論	28	ジェイン・オースティンを学ぶ人のた		宗教に抗する聖者	46
現代モンゴル遊牧民の民族誌	34	めに	62	宗教紛争と差別の人類学	36
現代論理学〔新装版〕	43	ジェンダー学を学ぶ人のために	30	集会的創造性	9
建築の哲学	48	ジェンダー人類学を読む	76	自由市場資本主義の再形成と動揺	6
元祿文学を学ぶ人のために	57	ジェンダーで学ぶ言語学	77	集団と組織の社会学	10
恋する〈日常を拓く知2〉	70	ジェンダーで学ぶ社会学〔第4版〕	7	十八世紀フランス文学を学ぶ人のため	
恋する文化人類学者	32	ジェンダーで学ぶ社会学〔全訂新版〕	11	に	64
公益学を学ぶ人のために	17			受動喫煙の環境学	13
公害・環境問題史を学ぶ人のために		ジェンダーで学ぶ宗教学	76	生涯学習理論を学ぶ人のために	76
		ジェンダーで学ぶ文化人類学	76	小説のナラトロジー	76
交換の社会学	20	ジェンダーで学ぶメディア論	25	少年非行の社会学〔新版〕	22
交換の民族誌	39	支援のフィールドワーク	77	昭和作家の〈南洋行〉	76
公共性のパラドックス	46	視覚とヴァーチャルな世界	20	昭和ノスタルジアとは何か	26
高校生たちのゆくえ	10	視覚のアメリカン・ルネサンス	52	食卓と家族	15
広告のクロノロジー	27	時間の人類学	33	女性文学を学ぶ人のために	57
交差する身体と遊び	76	自己意識の現象学	48	女性ホームレスとして生きる〔増補新	
広辞苑はなぜ生まれたか	54	嗜好品文化を学ぶ人のために	17	装版〕	9
構造的差別のソシオグラフィ	20	自己形成の心理学	76	初年次教育の現状と未来	40
構築主義の社会学〔新版〕	20	自己・他者・関係〈社会学ベーシッ		諸民族の音楽を学ぶ人のために	36
公文書管理と情報アクセス	13	ス1〉	74	所有と分配の人類学	76
「声」の有線メディア史	76	仕事の人類学	32	ジョン・ミルトンの思想と現代	59
国語史を学ぶ人のために	54	自己の心理学を学ぶ人のために	42	資料で読む教育と戦争	76
国際関係〔全訂版〕	4	自己の発見	14	知る・学ぶ〈日常を拓く知1〉	70
国際機構〔第四版〕	5	自己を生きる力	45	進化する初年次教育	39
国際協力を学ぶ人のために	7	思索する湯川秀樹	55	人口問題の正義論	44
国際構成主義	62	システム科学の哲学	50	新古今和歌集を学ぶ人のために	58
国際堀学を学ぶ人のために	13	自然概念の哲学的変遷	48	深刻化する土壌汚染	5
互助社会論	19	自然の現象学	48	震災とメディア	28
子育ての常識から自由になるレッスン		実践社会調査入門	18	震災の公共人類学	33
〈こどものみらい叢書⑤〉	69	実践日本語教育を学ぶ人のために	55	震災を生きぬく	11
古代日本海文明交流図	52	実践の医療人類学	38	人生時間割の社会学	17
国境を越えるアジアの家事労働者〔オ		質的調査法を学ぶ人のために	17	身体化の人類学	77
ンデマンド版〕	29	嫉妬と羨望の社会学	16	身体技法と社会学的認識	19
子ども歌を学ぶ人のために	56	児童英語教育を学ぶ人のために	41	身体・セクシュアリティ・スポーツ	
子どもが教えてくれた世界〈こどもの		「児童虐待」へのまなざし	15	〈社会学ベーシックス8〉	75

新プラトン主義を学ぶ人のために	44
新聞教育の原点	27
新・方言学を学ぶ人のために	58
ジメメル社会学を学ぶ人のために	17
ジメメルの社会学理論	76
心理学へのスタディガイド	43
心理学論文道場	42
人類学思考の歴史	76
人類学とは何か	35
随想	4
睡眠文化を学ぶ人のために	17
数理神学を学ぶ人のために	46
ストリートの歌	38
ストリートの精霊たち	31
スペイン語の世界	64
スポーツが愛するテクノロジー	9
スポーツ観戦学	15
スポーツと芸術の社会学	23
スポーツにおける抑制の美学	16
スポーツの魅惑とメディアの誘惑	27
スポーツ・ボランティアへの招待	76
住まいがつたえる世界の暮らし	11
生活をデザインする家庭教育	39
政策文化の人類学	38
生産マネジメント	7
政治・権力・公共性〈社会学ベーシックス9〉	75
青少年・若者の自立支援	15
生成する身体社会学	77
生態人類学を学ぶ人のために	39
『青鞥』を学ぶ人のために	30
聖なるものの現象学	50
生命倫理学を学ぶ人のために	49
生命倫理の現在	50
精霊たちのフロンティア	35
世界遺産学を学ぶ人のために	53
世界遺産と地域振興	18
世界システムという考え方	14
絶対無の哲学	48
説得コミュニケーション論を学ぶ人のために	16
ゼロからはじめる女性学	29
戦後詩のポエティクス 1935～1959	55
戦後新興紙とGHQ	27
戦後日本のなかの「戦争」	21
戦後日本のメディア・イベント	29
先住民の知識人類学	76
戦争の記憶と国家	4
先端医療の社会学	15
臓器移植の人類学	32
それでもなおユダヤ人であること	31

た 行

体育教育を学ぶ人のために	41
第一次世界大戦とモダニズム	62
大覚寺大沢池 景観修復プロジェクト	65
大学新入生ハンドブック	40
大学生入門〔3訂版〕	40
大学生 学びのハンドブック〔6訂版〕	39
大都市型産業集積と生産ネットワーク	6
瀧川事件	53
瀧川幸辰刑法著作集〈全5巻〉	77
多言語学習の練習帖	61

他者の帝国	52
ダダ・シュルレアリスムを学ぶ人のために	64
「殺陣」という文化	63
ダニエル・デフォーの世界	60
たばこ訴訟の法社会学	6
旅する〈日常を拓く知5〉	70
旅するモヤモヤ相談室	8
旅を生きる人びと	33
W杯サッカーの熱狂と遺産	21
多文化国家の先住民	37
食べる〈日常を拓く知4〉	70
食べることの哲学〈教養みらい選書002〉	67
誰が負を引きうけるのか	14
断酒が作り出す共同性	76
男性の「生き方」再考	30
地域戦略と自治体行財政	7
地域メディアを学ぶ人のために	28
チェーホフの短篇小説はいかに読まれたか	60
知識と実在	46
知識の理論〔第3版〕	48
知的所有権の人類学	31
忠大はいかに生まれるか	51
中国経済論	7
中国二〇世紀文学を学ぶ人のために	64
中国の改革开放30年の明暗	7
中世王朝物語を学ぶ人のために	57
中世哲学を学ぶ人のために	47
中東を学ぶ人のために	8
「中立」新聞の形成	76
チョコレート文化誌	76
著作権法要説〔第2版〕	5
ちんどん屋の響き	58
作ることの日本近代	45
伝える〈日常を拓く知3〉	70
津田仙と朝鮮	53
つよさ〈日常を拓く知 古典を読む2〉	71
鶴見俊輔と希望の社会学	22
帝国とアジア・ネットワーク	77
哲学の初源へ	48
『鉄腕アトム』の時代	76
テレビから学んだ時代	25
テレビ・コマースの考古学	26
テレビニュースの社会学	28
テレビのゆくえ	27
転回点を求めて	16
天才の秘密	77
ドイツ観念論を学ぶ人のために	47
ドイツ詩を学ぶ人のために	64
当事者対決! 心と体でケンカする	43
同意会の社会学	18
統治される人びとのデモクラシー	32
道徳教育を学ぶ人のために〔四訂〕	39
「道徳的である」とはどういうことか	72
動物保護入門	65
陶・山田光の世界	63
読者の台頭と文学者	62
読書教育を学ぶ人のために	12
都市移住の社会学	25
都市社会学を学ぶ人のために	9
都市の世界〈社会学ベーシックス4〉	61

図書館情報学を学ぶ人のために	74
都市を生きぬくための狡知	33
ドラッグの社会学	76
トランスポジションの思想〔増補版〕	34
トルコ絨毯が織りなす社会生活	33
奴隷・骨・ブロンズ	50
な 行	
夏目漱石「われ」の行方	54
21世紀の田舎学	16
二十一世紀の若者論	11
21世紀への橋と扉	22
二〇世紀女性文学を学ぶ人のために	63
日常からの文化社会学	20
日常人類学宣言!	76
日常の最前線としての身体	11
日本考古学を学ぶ人のために	53
日本語学を学ぶ人のために	58
日本語教育学を学ぶ人のために	57
日本語表現学を学ぶ人のために	55
日本社会学史への誘い	23
日本書誌学を学ぶ人のために	57
日本地名学を学ぶ人のために	56
日本哲学の国際性	47
日本哲学の多様性	45
日本のアヴァンギャルド	56
日本のエスニック・ビジネス	14
日本のエリート高校	24
日本の近代化とグリム童話	63
日本の社会と文化〈社会学ベーシックス10〉	75
日本の戦後教育とデュイ	41
日本の哲学を学ぶ人のために	49
日本の伝統美とヨーロッパ	64
日本の民謡を学ぶ人のために	38
日本文学の論じ方	54
日本・ベトナム関係を学ぶ人のために	6
日本列島の野生生物と人	65
二枚腰のすずめ〈教養みらい選書006〉	67
入門講義 倫理学の視座	49
ニュー空間の社会学	26
ニューレフト運動と市民社会	13
人間	17
人間にとって農業とは何か	66
妊娠と出産の人類学	33
認知社会学の構想	19
ネット時代のパブリック・アクセス	26
ネパールでカーストを生きぬく	32
能・狂言を学ぶ人のために	55
農山村の荒廃と空間管理	12
農地管理と村落社会	12
は 行	
媒介言語論を学ぶ人のために	61
廃棄物列島・日本	5
ハイデガー『存在と時間』を学ぶ人のために	45
はじめての社会調査	8
はじめてのメディア研究〔第2版〕	25
パフォーマンス研究のキーワード	77

端役で光る源氏物語	55
晴れた日には『異邦人』を読もう	61
犯罪論集	4
「反戦」のメディア史	28
ハンセン病療養所を生きる	10
ハンナ・アレント	46
比較文学的読書のすすめ	64
比較文化論	24
比較文明学を学ぶ人のために	24
ひきこもりと家族の社会学	10
ひきこもりの社会学	76
ひきこもる心のケア	42
被虐待児童への支援論を学ぶ人のために	19
非行のリアリティ	22
ビザンツ貴族と皇帝政権	77
人、イヌと暮らす〈教養みらい選書007〉	67
人と魚の自然誌	65
人びとはなぜ満州へ渡ったのか	77
批評理論を学ぶ人のために	59
飛躍するドイツの再生可能エネルギー	65
ピンチョンの『逆光』を読む	61
ヒンドゥー教徒の集団歌謡	62
不安定社会の中の若者たち	16
フィクションの中の記憶喪失	60
フィクション論への誘い	77
フィヒテと西田哲学	49
フィールドワークーズ・ハンドブック	77
フィールドワークへの挑戦	36
風景の論理	76
フェミニストカウンセリングの実践	30
フェミニズム・スポーツ・身体	30
福沢諭吉と多元的「市民社会」論	44
福祉社会のアミューズメントとスポーツ	15
福島原発事故の放射能汚染	5
ブシコ ナウティカ	44
不揃いな身体でアフリカを生きる	31
二つのケルト	51
風土記を学ぶ人のために	57
ブーバーを学ぶ人のために	48
ブライバシーのドラマトゥルギー	23
ブラクティカル 生命・環境倫理	72
ブラグマティズムを学ぶ人のために	44
ブラジル学への誘い	22
ブラジル学を学ぶ人のために	22
プラトンを学ぶ人のために	44
フランス演劇にみるボディワークの萌芽	59
フランス学を学ぶ人のために	64
フランス女性の世紀	62
フランス中世文学を学ぶ人のために	76
フランス恋愛文学をたのしむ	60
フリーターとニートの社会学	19
フリーターの心理学	42
プロセスが見えるメディア分析入門	27
フロア体験とグッドビジネス	42
フロア体験入門	42
フロア体験 喜びの現象学	43

ブロンテ姉妹を学ぶ人のために	63
文学社会学とはなにか	10
文化社会学界限	10
文化社会学への招待	22
文化人類学の思考法	31
文化人類学を学ぶ人のために	39
文化政策を学ぶ人のために	22
文化の社会学〈社会学ベーシックス3〉	74
紛争終結後のカンボジア	10
平家物語・木曾義仲の光芒	55
平成美術	59
ベーシック 生命・環境倫理	72
ヘミングウェイ『われらの時代に』読	62
変化を生きぬくブッシュマン	34
変身の社会学	24
変身する英国パブリック・スクール	41
ベンヤミンの迷宮都市	19
変容する現代社会とスポーツ	24
貿易論を学ぶ人のために〔新版〕	7
法学講義〔第2版〕	5
亡命知識人たちのアメリカ	51
法律用語を学ぶ人のために〔新版〕	5
僕がロボットをつくる理由〈教養みらい選書001〉	67
牧畜イスラーム国家の人類学	38
牧畜二重経済の人類学	36
母語教育という思想	62
『星の王子さま』を学ぶ人のために	62
ポストコロナルを生きる	33
ポストドクター問題	76
ポスト・モバイル社会	26
ポストモラトリウム時代の若者たち	77
ホップズから「支配の社会学」へ	16
ボディー・ポリティクス	30
ポピュラー文化〈社会学ベーシックス7〉	75
ホモ・アフエクトス	24
ボランティア学を学ぶ人のために	23
ポーランド学を学ぶ人のために	63
ホロコースト後のユダヤ人	51
盆栽の社会学	76
翻訳文学のあゆみ	56
本屋という仕事	25

ま 行

マイクロレジットの文化人類学	35
マヤ学を学ぶ人のために	37
マンガは越境する！	27
「満洲」経験の社会学	18
万葉の歌人 高橋虫麻呂	58
万葉民俗学を学ぶ人のために	56
ミクロ人類学の実践	36
南アジア社会を学ぶ人のために	34
〈見ること〉の哲学	49
民俗学を学ぶ人のために	39
民族関係と地域福祉の都市社会学	19
民俗宗教を学ぶ人のために	76
民族紛争を生きる人びと	76
「みんな」って誰？〈教養みらい選書009〉	68
武蔵野文化を学ぶ人のために	54
むらぶくり入門	9

メイキング文化人類学〔オンデマンド版〕	31
メディア学の現在〔新訂第2版〕	26
メディア教育宣言	25
メディア・情報・消費社会〈社会学ベーシックス6〉	74
メディアとコミュニケーションの文化史	26
メディアは社会を変えるのか	26
メディア文化とジェンダーの政治学	77
メディア文化を社会学する	27
メディア用語基本事典〔第2版〕	25
メディア・リテラシーの現在と未来	29
メース・ド・ピラン	49
もっと知ろう!! わたしたちの隣人	77
模倣から「科学大国」へ	17

や 行

躍動するフィールドワーク	66
やさしさ〈日常を拓く知 古典を読む1〉	71
野生のエンジニアリング	77
やっかいな問題はみんなで解く	8
誘惑する文化人類学	31
ゆたかさ〈日常を拓く知 古典を読む4〉	71
余暇学を学ぶ人のために	21
ヨーロッパ人類学の視座	33
ヨーロッパ世界の拡張	53

ら 行

ライフ・イベントの社会学〔新版〕	13
ライブニッツを学ぶ人のために	77
ライフヒストリーを学ぶ人のために〔新版〕	76
洛北岩倉と精神医療	13
ラジオの時代	28
ラテンアメリカの歴史	52
リスクの人類学	32
立身出世主義〔増補版〕	76
離別と共同養育	13
臨床国語教育を学ぶ人のために	56
臨床社会学を学ぶ人のために	23
臨床仏教学のすすめ	48
倫理学に答えはあるか	45
倫理学を学ぶ人のために	50
ルソーを学ぶ人のために	77
霊長類学を学ぶ人のために	66
零度の社会	76
歴史学への招待	51
歴史語りの人類学	34
レジャー・スタディーズ	12
レジャーの社会心理学	43
連邦制と社会改革	52
ローカルボクサーと貧困世界〔増補新装版〕	8
ロシア学を学ぶ人のために	24
ロボットの人類学	77
論点ハンドブック 家族社会学	16

わ 行

和歌史を学ぶ人のために	55
私は男でフェミニストです	29

「わたし」を生きる女たち	30
ワンダーランドに卒業はない〈こども のみらい叢書⑥〉	69

著訳編者名索引

あ 行

相田 豊	30	石原孝二	47	浮ヶ谷幸代	32	落合仁司	46
間場寿一	43	石村郁夫	41	宇田川 彩	31	小野恭靖	56
青木直子	57	石森秀三	65	宇田川妙子	32, 76	小野善邦	18
青柳まちこ	37	和泉真澄	76	内井惣七	50	小畑 郁	5
赤尾勝己	76	泉森 皎	52, 53	内田勝敏	7	表 真美	15
赤田光男	38	磯前順一	68	内田能嗣	61, 62, 63	恩田守雄	19
秋澤 互	55	井田憲計	6	内田 良	15		
秋道智彌	39, 65	板井孝老郎	46	内山勝利	44, 48		
阿久津昌三	36	市川光雄	39	宇都宮芳明	50	海津ゆりえ	65
浅川希洋志	41	一木 順	27	内海成治	7, 23	加賀裕郎	44
浅川千尋	65	市野澤潤平	32	宇野木 洋	64	鏡味治也	38, 45, 77
浅野 洋	57	逸村 裕	26	梅野巨利	41	柿本昭人	24
浅羽良昌	6	井出草平	76	江上 綏	51	景山佳代子	70, 71
芦名定道	76	糸井通浩	55, 56	エリクセン, T. H.	35	影山貴彦	27
東 賢太郎	32	伊藤公雄	7, 11, 30, 74	遠藤 薫	14	龍谷直人	77
安達智子	42	位藤紀美子	40	遠藤利彦	42	葛西賢太	76
新 茂之	44	伊東俊太郎	24	大井恭子	76	笠井賢紀	11
アバドゥライ, A.	77	伊藤高史	27	大池真知子	60	風戸真理	34
安彦一恵	72	伊藤 徹	45	大石泰夫	56	梶田淑一	42
阿部 潔	27, 76	伊藤明己	26	大石 裕	28	柏原全孝	9
阿部万里江	58	伊藤 守	26, 28	大浦康介	77	頭木弘樹	43
網野徹哉	51	伊藤泰信	76	大城房美	27	春日明夫	63
鮎川 潤	22	伊奈正人	18, 23	大阪外国語大学ラテンアメ		春日直樹	77
荒井章三	77	稲垣恭子	14, 40	リカ史研究会	52	春日井典子	12
荒木映子	62	大養 孝	58	太田喬夫	76	片岡佳美	69
荒木光彦	18	井上 彰	44	太田好信	31, 34	片桐新自	16
荒牧草平	10	井上 健	60	大谷栄一	43	片桐雅隆	14, 19, 23
有蘭真代	10	井上 俊	10, 12, 23, 74	大塚柳太郎	39	片瀬一男	13
有福孝岳	45	井上敏明	77	大槻 修	57	桂山康司	76
有馬めぐむ	65	井上敏幸	57	大野哲也	33	加藤 剛	77
有山輝雄	76	井上順孝	44, 50	大野真義	4, 5, 77	加藤久雄	4
アルドリック, D. P.	14	井上秀次郎	7	大野道邦	14	加藤尚武	49, 73
安藤文将	13	井上 真	66	大橋完太郎	70	加藤雅人	47
伊井春樹	58	井上摩耶子	30	大橋良介	47	ガードナー, H.	26, 41
飯嶋秀治	77	井上眞理子	15	大平英樹	42	金井 郁	6
飯島 洋	54	井野瀬久美恵	50	大村英昭	22, 23, 48	金澤孝彰	7
飯島 暢	4	猪瀬優理	43	大森 弘	41, 42	金山 勉	25, 26
飯田貴子	30	今江秀史	51	大森真紀	18	金子晴男	50
飯田剛史	37	今津孝次郎	17	大山小夜	11	神谷忠孝	56
飯田卓	32, 35	今村純子	59	岡井崇之	25, 26, 27	亀井伸孝	77
飯田 操	51, 76	今村浩明	43	岡倉登志	53	亀喜 信	46
家 正治	4, 5	居安 正	22	小笠原 真	23	亀山佳明	22, 24, 77
井川充雄	27	入江幸男	23	岡田晩生	67	加茂 陽	19
生田 滋	53	入子文子	52	岡田勝明	45, 49	加茂直樹	15, 49, 50, 72
池井 望	17, 76	煎本 孝	35	岡田 努	42	川上 勉	64
池田恵美子	30	岩崎信彦	16, 20, 22	岡原正幸	24	川崎友嗣	42
井桁貞義	60	岩田純一	41	岡部朗一	16	河嶋喜矩子	41
池田太臣	16	岩津 航	54	岡村圭子	21	川瀬 慈	31
池田光穂	38	岩本誠吾	4	小川さやか	33	川田 耕	9
池田善昭	48, 50	上枝美典	47, 48	小川順子	63	河西秀哉	70
池谷和信	65	植垣節也	57	小川博司	76	川橋範子	76
石井美保	31, 35	植木照代	60	小川雄平	7	河原和枝	20
石岡丈昇	8	上杉富之	20	小川 了	38	河原 司	65
石川 准	23	上田 博	57	荻野昌弘	19, 24, 76	川又俊則	43
石川 実	16	上田正昭	21	小國和子	77	川村邦光	76
石川良子	10	植田祐次	60, 62, 64	奥野佐矢子	71	川村裕子	55
石黒 浩	67	上野加代子	29	小倉孝誠	59	河本英夫	48
石田佐恵子	25, 76	上野 誠	56	尾崎明人	57	河原林直人	53
石戸教嗣	13	上野征洋	22	尾嶋史章	10	菅野 仁	17
		上野洋三	57	小田康徳	52	神野藤昭夫	57
		上原重男	66	小田中章浩	60	神林博史	11

か 行

木岡伸夫	72, 76	小林英美	62	末近浩太	8	竹前文夫	76
菊 幸一	17	小林道憲	52	末原達郎	66	竹山昭子	28
岸上伸啓	35	小原克博	76	菅原和孝	36, 77	田代志門	11
木田章義	54	駒川智子	6	杉浦 宏	41	多田道太郎	66
北岡誠司	76	小峯和明	57	杉田映理	7, 31	建石 始	70
北岡武司	49	小山修三	37	杉田 聡	72	立石裕二	14
北川将之	71	近藤 豊	64	杉野 徹	63	田所清克	22
北澤 毅	12, 17			杉万俊夫	77	田中耕一	19
北澤 裕	20			杉村和彦	16, 37	田中多佳子	62
木谷百花	8			杉本厚夫	40, 41	田中東子	25, 77
木下浩一	25	齋藤和枝	24	杉本賢治	42	田中雅一	31, 34, 36, 76
木下 衆	10	斎藤寿始子	38	杉本裕明	5	田中正隆	34
木原善彦	61	齋藤雪彦	9, 12	鈴木健一	55	田中美子	14
金 みんじょん	29	佐伯年詩雄	19, 40, 77	鈴木貞美	54	棚瀬孝雄	6
金 文吉	53	酒井 潔	77	鈴木清史	35	棚次正和	46
木村一信	13, 56, 76	酒井千絵	8	鈴木 健	16, 76, 77	田辺明生	32, 34
木村啓二	65	阪口弘之	58	鈴木智之	10	田辺繁治	76
木村護郎クリストフ	61	坂田謙司	76	鈴木七美	37	田辺 保	64
木村静子	4, 77	坂部晶子	18	鈴木秀人	41	谷 富夫	76
木村周平	32, 33	坂本真士	42	鈴木宏子	55	谷 泰	39
木村 汎	6	阪本俊生	23	鈴木裕之	32, 38	谷口忠大	67
許 海珠	7	佐川光晴	69	鈴木みどり	29	谷本尚子	62
京都市京セラ美術館	59	櫻井哲男	36	須藤祐二	41	谷本奈穂	27
桐山恵子	61	サコ、ウスビ	9	ストラウス、A. L.	23	田淵晋也	64
桐山孝信	4, 5	笹尾佳代	71	砂川誠司	25	田間泰子	30
桐生裕子	70	佐々木重洋	38	住田育法	22	玉井金五	18
グエン・ズイ・ズン	6	佐々木 隆	76	住原則也	37, 47	玉野和志	9, 18
草柳千早	11	佐々木信彰	7	世界思想社編集部		玉村文郎	58
串田秀也	15	佐々木瑞枝	55		39, 40, 53, 76	田村うらら	33
楠瀬佳子	30	佐々木能章	77	関 恒樹	36	田村紀雄	28
グッドマン、K. W.	46	左地亮子	32	関 雄二	51, 52	太郎丸 博	19
工藤保則	8, 11	佐藤哲彦	76	関口英里	21	団藤重光	77
久保明教	77	佐藤純一	15	関根康正	36, 77	チェ・スンボム	29
久保朝孝	55, 58	佐藤眞子	43	瀬沼克彰	21	近森高明	19
窪田幸子	36, 37	佐藤幸男	37	芹澤知広	37	チクセントミハイ、M.	41, 42, 43
窪田守弘	28	真田信治	58	芹澤光興	57	チザム、R. M.	48
熊野純彦	50	サビロ、G.	10	惣谷美智子	61	チャタジー、P.	32
倉島 哲	19	サマーズ、L.	6	副田義也	22	趙 無名	76
蔵田伸雄	47	澤田瑞也	42, 43	蘭田碩哉	21	廳 茂	20
倉光弘己	77	榎木野衣	59, 67	染田秀藤	51, 52	張 政遠	45
クリーパー、D. A.	43	椎野若菜	35			張 天新	18
栗本英世	76	シェクロフ、E. A.	10			塚崎 智	50
栗山昭子	77	塩谷清人	60, 62	平 英美	20	塚田健一	59, 60
栗山圭子	71	四日谷敬子	48	高井昌史	27	津金澤聰廣	29
クルーグマン、P.	6	重田眞義	17	高石恭子	69	次田憲和	45
黒倉 寿	65	嗜好品文化研究会	17	鷹木恵子	35	辻 裕子	59
黒田賢治	4	篠原愛人	52	高島國男	29	辻 美代	7
黒田浩一郎	12, 15, 23	柴田勝二	54	高田公理	17	つた	59
桑島秀樹	53	柴野昌山	15	高頭直樹	44	津田浩司	34
桑瀬章二郎	77	嶋田義仁	38	高乗秀明	40	津田正太郎	26
桑名 恵	7	島田良一	4	高橋三郎	40	津田正夫	26
ケラー、E. F.	30	島津忠夫	58	高橋雄一郎	77	土屋 忍	54
ゲーレン、A.	17	嶋守さやか	24	高谷 修	59	土屋貴志	15
小泉博一	76	清水一嘉	62, 64	瀧川春雄	77	筒井淳也	11
高野光平	26	清水 学	22	滝澤武人	47	常俊宗三郎	49
神戸女学院大学文学部総合文化学科	70, 71	下村英雄	42	田口哲也	26	常光 徹	38
古賀正義	10, 17	ジャコフバス、M.	30	田窪直規	26	デイモン、W.	41
国立教育政策研究所	76	シャトルワース、S.	30	田倉直彦	5	出口康夫	45
小谷 敏	11, 21	初年次教育学会	39, 40	竹内 正	77	寺崎英樹	64
児玉実英	63	白井利明	42	竹内 博	63	天童睦子	11, 29
小辻梅子	51	シールズ、C.	61	竹内 洋	76	東浦弘樹	60, 61
小寺正一	39	新熊 清	56	竹沢一郎	35, 76	道明三保子	51
湖中真哉	36	進藤雄三	20, 23, 76	武田公子	7	堂目卓生	8
小西行郎	42	神馬幸一	4	武田 丈	77	「陶・山田光の世界」刊行会	63
小林信介	77	新村 恭	54	竹中 均	8		
		新本万里子	31	武久 堅	55		
		数理社会科学会	11				

外川昌彦	46
土岐 哲	57
常田夕美子	33
時津 啓	25
徳川宗賢	58
徳永哲也	72
戸田五郎	4
戸山和久	45
富田美典	26
富田恭彦	47
富永茂樹	16, 22
富野幹雄	22
外山敦子	55
鳥越皓之	39, 76

な 行

内藤道雄	64
中 久郎	21
中 敬夫	48, 49
中 良子	60
仲尾友貴恵	31
中岡 洋	63
中川 理	31
中川加奈子	32
中川 敏	34, 39, 76
中川 淳	5
中川純男	47
中川輝彦	12
中河伸俊	20, 76
中才敏郎	46
中島京子	69
中筋 朋	59
中空 萌	31
中靖夫	77
中谷文美	12, 32, 37, 76
長友 淳	32
長友千代治	57
永野 咲	8
長町充家	63
長松奈美江	11
中村 彰	30
中村 治	13, 21
中村桃子	77
中村好孝	18
中山兼芳	41
奈倉洋子	63
並木浩一	77
浪田陽子	25
奈良大学文学部世界遺産を 考える会	53
難波功士	26, 27
難波博孝	40, 56
新部亭子	32
二階堂裕子	19
西井進剛	41
西井凉子	33, 76
西尾哲夫	36
西尾宣明	13
西川知亨	8
西阪 仰	10
西田耕三	57
西田龍雄	76
西田利貞	66
西村智朗	4
西村秀樹	16
西山けい子	24

西山哲郎	13
新田孝彦	47, 49
新田光子	40
新田義弘	48
日本ジェンダー学会	30
日本スポーツ社会学会	24
日本物理学会キャリア支援 センター	76
日本文化人類学会	77
日本余暇学会	21
根津由喜夫	77
野家啓一	45
野口祐子	61
野崎京子	52
野々山久也	16
野原 仁	25
野村真理	51

は 行

ハイジック, J. W.	47
芳賀 徹	21
橋本和也	34, 37, 77
橋本 茂	20
橋本純一	15, 28
橋本雅之	57
長谷川眞理子	67
畑 明郎	5
畠 佐代子	65
バックingham, D.	25
花岡永子	48
バーナッキ, B.	6
濱田 明	64
浜田邦裕	61, 62
浜本 満	31
早川洋行	17, 76
林 香里	25
林 和利	55
林 知代	77
速水敏彦	43
速水洋子	35
原田香織	54
原田隆司	11
原田隆史	26
原田 達	22
原野 昇	76
掃磨俊子	43
半沢幹一	55
ハンセン, A.	6
増垣立哉	67
樋口直人	14
久武綾子	6
日高勝之	26
平井孝典	13
平石善司	48
平子義雄	46
平体由美	52
広瀬浩二郎	76
廣中直行	43
廣庭基介	57
黄 順姫	18, 21, 24
フィッツジェラルド, M.	77
福井英次郎	4
福島崇宏	4
福田 晃	38
福岡良明	25, 28

福吉勝男	44
藤木庸介	11, 18
藤倉達郎	77
藤田真文	27
富士谷あつ子	21, 30
藤永芳純	39
藤原 翔	11
藤本和貴夫	24
佛教大学歴史学部	51
ブッシュネル, C.	10
船木 亨	44, 49
ブリュモン, M.	62
古川 誠	8
古田尚輝	76
古田元夫	6
古牧徳生	45
風呂本武敏	61
別府三奈子	28
宝月 誠	76
細谷昌志	20
ホックシールド, A. R.	23
堀 忠雄	17
堀井令以知	56
堀内かおる	39, 40
堀江 聡	44
堀口 正	7
堀林 巧	6
ホール, A.	30
本田 稔	4
本間 慎	5

ま 行

真板昭夫	65
前川玲子	51
前田啓一	6
牧田満知子	10
牧野英二	45
正村俊之	29
間瀬啓允	17, 46
町田光弘	6
松浦恆雄	64
松尾哲久	15
松尾昌樹	8
松尾光喜	16
松岡悦子	33
松崎行代	69
松下優一	10
松嶋 健	44
松田恵示	15, 21, 76
松田ヒロ子	51
松田素二	8, 9, 33, 36, 38, 76
松村圭一郎	31, 76
松村信夫	5
松村昌家	63
松元雅和	44
松本通晴	25
間瀬領吾	8
マヘシュヴァラナナダ, D.	16
丸本恵祐	25
丸山里美	7, 9
丸山淳子	34
マンネル, R. C.	43
三浦耕吉郎	20, 76
三木草子	30

三砂慶明	25
三嶋 譲	57
水越 伸	25
水地宗明	44
水野信男	36, 63
水野義之	23
水山光春	40
溝上慎一	42, 76
三谷はるよ	8
三井さよ	8
美濃 正	46
三野博司	62, 76
美馬達哉	30
宮下晋吉	17
宮原 勇	45
宮原浩二郎	24
三山峻司	5
宮元健次	64
宮本 匠	68
幸田和恵	7, 11
武藤脩二	52, 62
村上靖彦	9
村澤真保呂	77
村澤和多里	42, 77
村田利裕	63
村田陽平	13
村津蘭	31
村山瑞穂	60
室伏亜希	23
本浜秀彦	27
森 明子	33
森 まゆみ	53
森田敦郎	77
森本益之	4
森山 工	77

や 行

八木久美子	45
安井邦夫	43
八杉佳穂	37, 76
安松幹展	15
安室憲一	41
安森敏隆	57, 63
箭内 匡	37
柳澤伸司	27
矢萩多聞	59
山内 淳	51
山尾貴則	77
山折哲雄	76
山形浩生	6
山川偉也	46
山岸俊男	35
山口 修	24
山口隆美	41
山口裕子	34
山口泰雄	76
山口義久	44
山崎國紀	55
山崎吾郎	8, 32
山崎信三	64
山下太郎	69
山田邦男	47
山田信行	14
山田真茂留	10
山田由美子	52
山中茂樹	28

山中 弘	77	横道 誠	43			和田 武	65
山村高淑	18	好井裕明	15, 76			和田博文	55, 56
山本祥子	30	吉海直人	56			渡辺克義	61, 63
山本誠作	48	吉川康夫	30			渡辺 潤	9, 12, 29
山本 孝	7	吉澤健吉	26			渡邊澄子	54, 57
山元隆春	12	善積京子	13			渡邊大輔	11
山本秀行	60, 61	吉田金彦	56			渡辺武達	25, 26
ヤマンラール水野美奈子		吉田国光	12			渡邊 洋	64
	51	與那嶺 司	8, 70			渡辺裕一	8
湯浅陽一	14	米澤有恒	50				
行安 茂	44	米田佐代子	30				
横田恵子	18	米山俊直	39				

ら行

リーヴァー, J.	24
林 永強	45
レイチェルズ, J.	45

わ行

若松養亮	42
脇村孝平	77
和崎春日	38
鷺田清一	67
輪島裕介	58



ご注文について

- ◆お近くの書店でお求めください。店頭にない場合は、書店にお申し込みください。
取り寄せが可能です。
- ◆小社に直接ご注文の場合は、下記までご連絡ください。
小社ウェブサイトからもご注文になれます。
 - 代金引換（郵便）で送品いたします。お届け時に代金をお支払いください。
 - 1回のお届けにつき送料・手数料770円（消費税込）をご負担ください。
（本体価格合計が1万円を越す場合は無料）

〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56
TEL 075(721)6500 FAX 075(721)8707
振替 01000-6-2908
<http://sekaishisoshajp/>

